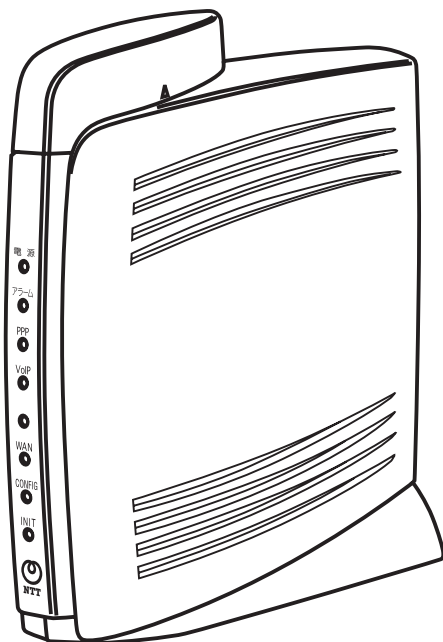


RT-200KI 取扱説明書

このたびは、RT-200KIをご利用いただきまして、まことにありがとうございます。

- 本商品は「ひかり電話」対応商品です。ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みの上、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。



安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書を紛失または損傷したときは、本書最終ページのお問い合わせ先窓口にご連絡願います。

本書中のマーク説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
 お知らせ 	この表示は、本商品を取り扱う上での注意事項を示しています。
 ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱う上で知っておくと便利な内容を示しています。

■お守りいただきたい内容を次の図記号で説明しています。

△ 記号は、注意事項を示しています。	
	
注 意	発火注意
	
感電注意	
○ 記号は、してはいけない内容を示しています。	
	
禁 止	火気禁止
	
風呂等での 使用禁止	分解禁止
	
水ぬれ禁止	ぬれ手禁止
	
接触禁止	
● 記号は、実行しなければならない内容を示しています。	
	
電源プラグ を抜け	

ご使用にあたってのお願い

本商品のご利用にあたって、当社のレンタル電話機がご不要となった場合は、局番なしの116番または当社の営業所等にご連絡いただければ、「機器使用料」は不要となります。

本商品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本商品は家庭環境で使用することを目的としていますが、本商品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- ご使用の際は取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品のTEL1ポート、TEL2ポートは、加入電話の仕様とは完全には一致していないため、接続される通信機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸脱したために生じた損害や、万一、本商品に登録された情報内容が消失してしまうこと等の純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。
- 本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担当者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 他社製品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。
- 内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のお問い合わせ先窓口へお申しつけください。
- 取扱説明書、ハードウェア、ソフトウェアおよび外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。
- 記載している画面はイメージを説明したものです。実際の画面と相違している場合がありますので詳細は本商品にてご確認ください。また、機能向上のため画面は予告なしに変更される場合があります。
- ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがありますのでご注意ください。
- 一部、光の具合によってはキズに見える部分があります。製造過程で生じることがあるものですが、構造上および機能上は問題ありません。安心してご使用ください。

Windows[®]、Windows Vista[®]は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Windows Vista[®]、Windows[®] 7はオペレーティングシステムです。

Windows[®] XPIは、Microsoft[®] Windows[®] XP Home Edition operating systemおよびMicrosoft[®] Windows[®] XP Professional operating systemの略です。

Internet Explorer[®]は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Adobe、Adobeロゴ、Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

Javaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

JavaScriptは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

Super AGは、Atheros Communications, Inc.の商標です。

らくらく無線スタート は、NECアクセステクニカ株式会社の商標です。

Mac、Macintoshは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。

その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

⚠ 警 告

設置場所

- **風呂、シャワー室への設置禁止**
風呂場やシャワー室などでは使用しないでください。
漏電して、火災・感電の原因となります。
- **水のかかる場所への設置禁止**
水のかかる場所で使用したり、水にぬらすなどして使用しないでください。
漏電して、火災・感電の原因となります。
- **本商品や電源アダプタ（電源プラグ）、電話機コードのそばに、水や液体の入った花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。本商品や電源アダプタ（電源プラグ）、電話機コードのモジュラープラグに水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。**
- **本商品や電源アダプタ（電源プラグ）、電話機コードを次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。**
 - ・ 屋外、直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーの近くなどの温度が上がる場所
 - ・ 調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所
 - ・ 湿気が多い場所や水・油・薬品などのかかる恐れがある場所
 - ・ ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所
 - ・ 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所
- **本商品に無線LANカードを装着してご利用の場合は、自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くに置かないでください。**
本商品からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となることがあります。



こんなときは

- **発煙した場合**
万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。電源アダプタ（電源プラグ）、電話機コードをそれぞれ抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



⚠ 警 告

● 水が装置内部に入った場合

万一、本商品やケーブル、モジュージャックの内部に水などが入った場合は、すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると漏電して、火災・感電の原因となります。



● 異物が装置内部に入った場合

本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



● 電源アダプタの取り扱い注意

付属の電源アダプタ以外を使用したり、付属の電源アダプタを他の製品に使用したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。



また、電源アダプタに物を載せたり、掛けたりしないでください。過熱し、火災・感電の原因となることがあります。



● 電源アダプタの設置の注意

電源アダプタは風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろなど）に設置しないでください。過熱し、火災や破損の原因となることがあります。



また、電源アダプタ本体を宙吊りに設置しないでください。電源プラグと電源コンセント間に隙間が発生し、ほこりによる火災が発生する可能性があります。

電源アダプタ（電源プラグ）は容易に抜き差し可能な電源コンセントに差し込んでください。

● 電源コードが傷んだ場合

電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。



● 電源コードの取り扱い注意

付属の電源コード以外を使用したり、付属の電源コードを他の製品に使用したりしないでください。火災・感電の原因となります。また、電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。火災・感電の原因となります。



重い物を載せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

⚠ 警 告

- **延長コード**
電源アダプタ（電源プラグ）のコードには、延長コードは使わないでください。火災の原因となることがあります。
- **破損した場合**
万一、落としたり、破損した場合は、すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- **異常音がしたり、キャビネットが熱くなっている場合**
本商品から異常音がしたり、キャビネットが熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。



禁止事項

- **たこ足配線の禁止**
本商品の電源コードは、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱・劣化し、火災の原因となります。
- **商用電源以外の使用禁止**
AC100 V (50/60 Hz) の商用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。
差込口が2つ以上ある壁などの電源コンセントに他の電気製品の電源アダプタ（電源プラグ）を差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災・感電の原因となります。
- **本商品は家庭用の電子機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。**
- **分解・改造の禁止**
本商品を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。



⚠ 警 告

● 内部には触らない

キャビネットをはずしたり、内部に触ったりしないでください。感電の原因となることがあります。点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご連絡ください。



● めらすことの禁止

本商品や電源アダプタ（電源プラグ）、ケーブル、モジュージャックに水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようご注意ください。漏電して火災・感電の原因となります。また、電話機コードのモジュラープラグがぬれた場合は、乾いても、その電話機コードを使わないでください。



● めれた手での操作禁止

ぬれた手で本商品や電源アダプタ（電源プラグ）、ケーブル、モジュージャックを操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。



その他のご注意

● 異物を入れないための注意

本商品やケーブル、モジュージャックの上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな貴金属を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



● 本商品の拡張カードスロットの上にコインなどの小さな物を置かないでください。

本商品の中に入った場合、火災・感電の原因となります。



● 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。



● 本商品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。電子機器や心臓ペースメーカなどが誤動作するなどの原因となることがあります。また、医療用電子機器の近くや病院内など、使用を制限された場所では使用しないでください。



● 本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。

人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生する恐れがあります。



安全にお使いいただくために必ずお読みください

⚠ 注 意

設置場所

● 火気のそばへの設置禁止

本商品やケーブル類、電源コード、電源アダプタを熱器具に近づけないでください。ケースやケーブルの被覆などが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



● 温度の高い場所への設置禁止

直射日光の当たる場所や、温度の高い場所（40℃以上）、発熱する装置のそばに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。



● 温度の低い場所への設置禁止

本商品を製氷倉庫など特に温度が下がる場所に置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。



● 湿度の高い場所への設置禁止

風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高い場所（湿度80%以上）では設置および使用はしないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。



● 油飛びや湯気の当たる場所への設置禁止

調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



● 不安定な場所への設置禁止

ぐらついた台の上や傾いた所、振動、衝撃の多い場所など、不安定な場所に置かないでください。
また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



● 本商品を逆さまに置かないでください。



⚠ 注 意

● 通風孔をふさぐことの禁止

本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使いかたはしないでください。

- ・ 横向きに寝かせる
- ・ 収納棚や本棚などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
- ・ じゅうたんや布団の上に置く
- ・ テーブルクロスなどを掛ける
- ・ 毛布や布団をかぶせる



● 横置き・重ね置きの禁止

本商品を横置きや重ね置きしないでください。横置きや重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



● 表面が熱に弱い場所には置かない

変色、変形する場合があります。ご注意ください。

● 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品やケーブルの内部に結露が発生し、火災・感電の原因となります。



● 屋外には設置しないでください。屋外に設置した場合の動作保証はいたしません。



● 塩水がかかる場所、亜硫酸ガス、アンモニアなどの腐食性ガスが発生する場所で使用しないでください。故障の原因となることがあります。



禁止事項

● 乗ることの禁止

本商品に乗らないでください。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。



● 運用中、本商品は発熱しますので、本商品には長時間触れないでください。低温やけどの原因となることがあります。



安全にお使いいただくために必ずお読みください

⚠ 注 意

電源

● プラグの取り扱い注意

電源アダプタ（電源プラグ）は電源コンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

電源アダプタ（電源プラグ）の金属部に金属などが触れると火災、感電の原因となります。



● 電源アダプタ（電源プラグ）の清掃

電源アダプタ（電源プラグ）と電源コンセントの間のほこりは、定期的（半年に1回程度）に取り除いてください。火災の原因となることがあります。

清掃の際は、必ず電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。



● 長期不在時の注意

長期間で使用にならないときは、安全のため必ず電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いてください。



● 拡張カードスロットの抜き差しは、本商品の電源を切った状態で行ってください。本商品および挿入したカードが故障することがあります。



● 本商品の電源アダプタ（電源プラグ）の抜き差しをする場合は、電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いたら、10秒以上空けてから差し込んでください。



⚠ 注 意

その他のご注意

- 移動させるときの注意

移動させる場合は、電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認の上、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



- 雷のときの注意

落雷の恐れのあるときは、電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いてご使用をお控えください。落雷時に、火災、感電、故障の原因となることがあります。雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり、周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。



- 火災・地震などが発生した場合、本商品の状態を確認し、異常が認められた場合には当社のサービス取扱所までご連絡ください。装置故障の恐れがあります。



- 本書にしたがって接続してください。

間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。



安全にお使いいただくために必ずお読みください

STOP

お願い

設置場所

- 本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のような場所の設置は避けてください。
 - ・ ほこりや振動が多い場所
 - ・ 気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
 - ・ ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場所
 - ・ 特定無線局や移動通信体のある屋内
 - ・ 盗難防止装置など2.4 GHz周波数帯域を利用している装置のある屋内
 - ・ 高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所
- 本商品を電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びている場所や電磁波が発生している場所に置かないでください。(電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など)
 - ・ 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります。(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります。)
 - ・ テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
 - ・ 放送局や無線局などが近く、雑音が大きいときは、本商品の設置場所を移動してみてください。
- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。
- 無線LANアクセスポイントと無線LAN端末の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。1m以上離してお使いください。
- 本商品とコードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。また、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、発信・着信が正しく動作しない場合があります。このような場合は、お互いを数メートル以上離してお使いください。
- 本商品の隙間から虫が入ると、故障の原因となることがあります。
 - ・ 厨房や台所などに設置するときは、虫が入らないようにご注意ください。

禁止事項

- 使用中は電源を切らない
設定変更中やバージョンアップ中の場合、回復不能な事故の原因となることがあります。
- 動作中にケーブル類が外れたり、接続が不安定になると誤動作の原因となり、大切なデータを失うことがあります。動作中は、コネクタの接続部には絶対に触れないでください。
- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 本商品は家庭用の電子機器として設計されております。本商品にパソコンなどの電子機器を非常に多く接続し、通信が集中した場合に、本商品が正常に動作できない場合がありますのでご注意ください。

日頃のお手入れ

- 本商品のお手入れをする際は、安全のため必ず電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて行ってください。
- 汚れたら、乾いた柔らかい布でふき取ってください。汚れのひどいときは、中性洗剤を含ませた布でふいた後、乾いた布でふき取ってください。化学ぞうきんの使用は避けてください。ただし、コネクタ部分はよくしぼった場合でもぬれた布では、絶対にふかないでください。ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、アルコールは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となることがあります。
- 本商品に殺虫剤などの揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール、粘着テープなどを長時間接触させないでください。変形や変色の原因となることがあります。

その他のお願い

- データの保管
故障や回線品質の低下によって、データ消失が発生するおそれがあります。本商品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データの保証は致しかねます。あらかじめ冗長性のあるシステム設計、バックアップなど構成してください。

目次

安全にお使いいただくために必ずお読みください	2
RT-200KIでできること	18
RT-200KIとは	18
特長	18
マニュアル構成／マニュアルの見かた	19
マニュアル構成	19
本書の見かた	20
詳細取扱説明書を見るには	21
詳細取扱説明書 概要	22
ご利用前の注意事項	23
ひかり電話をご利用いただく上での注意事項	23
電波に関するご注意	
(SC-32KI 取り付け時にお読みください)	24
無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意	
(SC-32KI 取り付け時にお読みください)	25
お客様情報に関するご注意	25

1 最初に確認する

セットを確認してください	1-2
各部の名前	1-4
セットアップする	1-7
セットアップの流れ	1-7

2 本商品を設置する

回線を接続する	2-2
Bフレッツ（ハイパーファミリータイプ ／マンションタイプ光配線方式）〔NTT東日本〕に接続する	2-2
Bフレッツマンションタイプ VDSL方式に接続する	2-4
Bフレッツマンションタイプ LAN配線方式に接続する	2-6
電源を入れる	2-8
本商品の電源を入れる	2-8
パソコンの電源を入れる	2-9

3 ひかり電話を利用する

電話をかけるには（発信）	3-2
電話をかける（発信）	3-2
相手がお話し中のとき	3-2
電話を受けるには（着信）	3-3
電話を受ける（着信）	3-3
内線通話をするには	3-4
内線通話	3-4
電話を転送するには（内線転送）	3-5
内線転送（外線通話から内線へ）	3-5
ひかり電話の付加サービスを利用するには	3-6
複数チャンネル（ダブルチャンネル）	3-6
マイナンバー／追加番号	3-7
キャッチホン	3-8
ナンバー・ディスプレイ	3-10
発信者番号通知	3-11
ひかり電話の設定をするには	3-12
端末設定画面	3-12
内線番号一覧	3-14
キャッチホン・ディスプレイ	3-15
一斉着信設定	3-16
個別着信設定	3-17
着信鳴り分け	3-18
モデムダイヤルイン	3-19
優先着信ポート設定	3-20
指定着信番号設定	3-21
ひかり電話のご利用例	3-22
電話とファクスを使い分けしたい！	3-22
事務所（店舗）の電話を自宅でも受けたい！	3-23
2世帯で電話を鳴り分けて使いたい！	3-24
IP端末（ひかりパーソナルフォンなど）を利用したい！	3-25
指定着信機能を利用して特定のアナログ端末で着信したい！	3-26
電話機（アナログ端末）からひかり電話の設定をする	3-27
電話機からひかり電話の設定をするには	3-27
ひかり電話で接続できる番号	3-32
ひかり電話で発信できる電話サービス	3-32
接続可否番号一覧	3-32

目 次

4 パソコンを設定する

設定の流れ	4-2
パソコンを設定する (Windows® 7/Windows Vista®の場合)	4-3
インターネットプロパティとネットワークの設定	4-3
ネットワークの設定を確認する	4-5
Webブラウザの設定	4-6
Webブラウザの設定を確認する	4-6
Webブラウザによる設定について	4-8
Web画面の各部の名称	4-8
設定したデータで運用するには	4-9
操作の流れ	4-10
パスワード設定	4-11
再起動	4-12
Webブラウザによる設定の終了	4-13

5 インターネットに接続する

かんたん設定	5-2
インターネット接続の確認	5-7
フレッツ・スクウェアへの接続	5-8

6 無線LANを利用する

無線LAN設定の流れ	6-2
本商品への無線LANカードの取り付け	6-3
パソコンへ無線LANカードの設定をする	6-4
インストール	6-4
本商品とパソコンの設定	6-6
インストール完了の確認	6-6
パソコンに装着した無線LANカードとの無線LANの設定をする (無線LAN簡単接続機能)	6-8
電話機から設定する	6-8
Webブラウザで設定する	6-10
ゲーム機との無線LANの設定をする (らくらく無線スタート)	6-12
電話機から設定する	6-12
Webブラウザで設定する	6-14
Windows® 7との無線LANの設定をする (手動接続)	6-17
電話機から無線LANの設定を変更する	6-19

7 バージョンアップする

本商品のバージョンアップ	7-2
バージョンアップ機能	7-2
バージョンアップの流れ	7-2

バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする	7-3
自動バージョンアップ機能	7-3
設定方法	7-4
バージョンアップお知らせ機能	7-6
バージョンアップ方法	7-7
当社ホームページからプログラムをダウンロードして	
バージョンアップする	7-12
バージョンアップ方法	7-12

8 故障かな？と思ったら

トラブルや疑問点がある場合	8-2
トラブルシューティング	8-7
装置状態表示（状態表示）を確認する	8-18
内線端末状態表示（状態表示）を確認する	8-24
通信の正常性を確認する	8-27
Pingを送信する	8-27

9 付録

パソコンのネットワーク設定	9-2
インターネットプロパティとネットワークの設定 (Windows® XPの場合)	9-2
ネットワークの設定を確認する (Windows® XPの場合)	9-4
ネットワークの設定 (Mac OS Xの場合)	9-5
ネットワークの設定を確認する (Mac OS Xの場合)	9-7
無線IP端末の設定をする	9-8
本商品の初期化について	9-9
Webブラウザによる初期化	9-9
RESETスイッチによる初期化	9-10
ひかり電話と他のサービスの同時利用について	9-11
「050IP電話」との同時利用方法	9-11
「フレッツのIP-VPNサービス」との同時利用方法	9-13
ASCIIコード表	9-14
索引	9-15
仕様	9-17

RT-200KIでできること

RT-200KIとは

本商品は、ひかり電話対応機器です。

Bフレッツの回線終端装置/VDSLモデムなどにつなぐことで、ひかり電話を利用することができると共に、複数のパソコンでインターネット接続もできます。本商品に対応した無線LANカードを取り付けることにより、無線LAN機能を利用することも可能です。

特長

● ひかり電話対応機器です

電話機能を内蔵し、ひかり電話を介して他のひかり電話や加入電話、携帯電話などと通話できます。

緊急通報（110/118/119）もご利用可能です。

● 複数の電話機を利用でき、ひかり電話の各種サービスに対応

キャッチホン、ナンバー・ディスプレイなどのひかり電話各種サービスに対応しています。

さらに複数チャンネル（ダブルチャンネル）、マイナンバー／追加番号の複数の電話機を利用するサービスにも対応し、これらをご契約になることで、2箇所の相手先との同時通話、内線通話、転送などの便利な機能を利用することができます。

● 映像通信に対応

ひかり電話で映像と音声通信を行うことができます。

● 無線LAN対応※

無線LANカードを取り付けたパソコンからインターネット利用が可能です。

● Bフレッツに対応

Bフレッツの各種サービスに対応しています。

● マルチセッション対応

2つ以上のPPPoEセッション（契約内容により最大5セッション）を同時に使用することが可能です。

● 複数台のパソコンを同時につなげます

複数台のパソコンから同時にインターネット利用が可能です。

● UPnP、Unnumbered接続等各種ルータ機能搭載

設定については詳細取扱説明書をご覧ください。

● バージョンアップ機能搭載

最新のファームウェア情報を確認した場合、電話機やWebブラウザによりお知らせします。自動的にバージョンアップを実行する設定も可能です。

ファームウェアのバージョンアップを行っていただくことにより本商品の機能を最新の状態に保つことができます。

※ 別途専用無線LANカード（SC-32KI）が、本商品側とパソコン側に必要です。

マニュアル構成／マニュアルの見かた

本商品のマニュアル構成とマニュアルの見かたについて説明します。

マニュアル構成

本商品の取扱説明書は下記のように構成されています。ご利用の目的に合わせてお読みください。

取扱説明書（本書）

RT-200KIの基本機能についての説明書です。

詳細取扱説明書（CD-ROMにPDFファイルで収録しています）

本書には記載されていないRT-200KIのより詳細な機能について解説しています。

※CD-ROMの操作方法について（詳細取扱説明書を見るには（●P21））

マニュアル構成／マニュアルの見かた

本書の見かた

本書は下記のように構成されています。

1 最初に確認する

最初に必ず確認していただきたいことについて説明しています。

2 本商品を設置する

本商品の設置方法と本商品の電源を入れたあとに確認する項目について説明しています。

3 ひかり電話を利用する

本商品に接続した電話機でひかり電話をご利用いただく方法について説明しています。

4 パソコンを設定する

本商品の設定は接続したパソコンから行います。ここでは本商品に接続するためにパソコン側で行う設定の手順について説明しています。
また、Webブラウザを使ってパソコンから行うことができる本商品の設定機能について概要を説明しています。

5 インターネットに接続する

本商品にパソコンを接続し、インターネットに接続するまでの手順について説明しています。

6 無線LANを利用する

本商品を無線LANのアクセスポイントとして利用する場合の設定について説明しています。

7 バージョンアップする

本商品を最新の状態にバージョンアップする方法について説明しています。

8 故障かな？と思ったら

本商品がうまく動かない、操作しても違う結果になるなど、お困りのときにお読みください。

9 付録

本商品の設定を行うパソコンのOSがWindows® 7およびWindows Vista®以外の場合のパソコンのネットワーク設定手順について説明しています。また、付録として本商品の初期化方法などについても記載しています。

詳細取扱説明書を見るには

本商品のより詳細な機能については、「RT-200KI 専用CD-ROM」に収録されている「詳細取扱説明書」をご覧ください。

■CD-ROMの取扱上・保管上の注意

1. ディスクは両面共、指紋、汚れ、キズ等を付けないように取り扱ってください。
2. ディスクが汚れたときは、メガネ拭きのような柔らかい布で内周から外周に向かって放射状に軽くふき取ってください。レコード用クリーナーや溶剤等は使用しないでください。
3. ディスクは両面共、鉛筆、ボールペン、油性ペン等で文字や絵を書いたり、シールなどを貼付しないでください。
4. ひび割れや変形、また接着剤等で補修したディスクは危険ですから絶対に使用しないでください。
5. 直射日光のあたる場所や、高温・多湿の場所には放置しないでください。
6. ディスクは使用後、元のケースに入れて保管してください。

●Windows® の場合

1 「RT-200KI専用CD-ROM」をCD-ROMドライブにセットする

メニュー画面が表示されます。

※「自動再生」画面が表示された場合は、[RT-200KI.exeの実行]をクリックしてください。また、「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「続行」をクリックしてください。

2 「詳細取扱説明書」をクリックする

●Mac OSの場合

1 「RT-200KI専用CD-ROM」をCD-ROMドライブにセットして、CD-ROMのアイコンがデスクトップに表示されたら、そのアイコンをダブルクリックする
CD-ROMの内容が表示されます。

2 「MANUAL」をダブルクリックする

3 「詳細取扱説明書」をダブルクリックする



お知らせ

- Adobe Readerをインストールされていない方や、詳細取扱説明書の内容が正常に表示できない方はメニュー画面の「Adobe Readerのインストール」をクリックして、インストールしてください。
- 設定や環境により、自動的に起動できない場合があります。その場合には、「コンピュータ」をダブルクリックしてコンピュータの内容を表示します。その中から、「RT-200KI専用CD-ROM」のアイコンをダブルクリックします。それでも起動しない場合は、RT-200KI.exeのアイコンを探してダブルクリックすると、起動します。

マニュアル構成／マニュアルの見かた

詳細取扱説明書 概要

詳細取扱説明書に記載されている項目は以下のとおりです。

1 こんなときにはこの設定にする

本商品のサービス機能を使うときの設定方法について説明します。
(音声・ビデオチャットを使用するには/その他)

2 本商品の設定画面

本商品のデータ設定、状態確認などの保守方法について説明します。Webブラウザを使用します。

かんたん設定やルータ、電話、無線LANなどの各種設定、状態表示、ログ表示などのメニューがあります。メニューをクリックすると各種Webブラウザ設定画面が表示されます。この章では画面単位で用途や操作方法について説明します。

付録：設定記入シート、用語集

ご利用前の注意事項

ひかり電話をご利用いただく上での注意事項

- 本商品の電源が入っていない場合は、ひかり電話をご利用になることはできません。
- 本商品の電源が切れた場合や再起動中、バージョンアップ中は、ひかり電話をご利用になることはできません。
- 本商品に接続している電話機のACR（LCR）機能や、0036、0039等の事業者識別番号自動付与機能が動作している場合、ひかり電話が使用できない場合があります。必ず電話機のACR（LCR）機能または、0036、0039等の事業者識別番号自動付与機能を無効にしてください。
- ひかり電話でファクスやアナログモデム通信を行った場合、あるいは音声ガイド等で通話中にプッシュ信号の入力が必要な場合は、通信に失敗することがあります。通信が失敗した場合でも、失敗するまでの通信に対して使用料金がかかります。
- 本商品は、ひかり電話や映像コンテンツの視聴などを同時に行い、本商品に負荷がかかった場合に、映像コンテンツの視聴に影響を及ぼす可能性があります。
- お客様のご利用環境によっては、ひかり電話の通話が安定しない可能性があります。
- 本商品のTEL1ポート、TEL2ポートは加入電話の仕様と完全には一致していません。電話機を本商品と接続する場合、電話機の一部機能をご利用いただけない場合があります。

ご利用前の注意事項

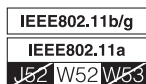
電波に関するご注意

(SC-32KI取り付け時にお読みください)

本商品※の使用周波数帯では、電子レンジや産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。

1. 無線LANカードをご利用になる場合は、本商品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本商品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかまたは電波の発射を停止した上、当社のお問い合わせ先窓口にご連絡頂き、混信回避のための処置などについてご相談ください。
3. その他、本商品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことがおきた場合には、当社のお問い合わせ先窓口へご連絡ください。

- 本商品は、日本国内でのみ使用できます。
- 次の場所では、電波が反射して通信できない場合があります。
 - ・強い磁界、静電気、電波障害が発生するところ(電子レンジ付近など)
 - ・金属製の壁(金属補強材が中に埋め込まれているコンクリートの壁も含む)の部屋
 - ・異なる階の部屋どうし
- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。
- 無線LANをご利用の場合、周囲の電波状態によっては、本商品の動作に影響の出る場合がありますので、ご了承ください。
- 本商品を5.2GHz帯で使用する場合、屋外で使用しないでください。法令により5.2GHz無線機器を屋外で使用することは禁止されているため、屋外で使用する場合は、あらかじめ5.2GHz帯の電波を無効にしてください。



W52 : 5.2GHz帯で使用可能なチャンネルはch36,ch40,ch44, ch48です。

- 本商品は、2.4GHz全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式としてDSSS方式およびOFDM方式を採用しており、与干渉距離は40mです。



- 2.4 : 2.4GHz帯を使用する無線設備を示す
- DS/OF : 変調方式を示す
- 4 : 想定される干渉距離が40m以下であること
- : 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避することを意味する

- 本商品は、技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
 - ・本商品を分解／改造すること
- 本商品は、他社無線LANカードやパソコン内蔵無線との動作を保証するものではありません。

※ここでは「本商品」とはSC-32KI取り付け時を示します。

無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意 (SC-32KI取り付け時にお読みください)

無線LANでは、LANケーブルを使用するかわりに、電波を利用してパソコン等と無線LANアクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

●通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、IDやパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報やメールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

●不正に侵入される

悪意ある第三者が無断で個人や会社内のネットワークへアクセスした場合、次のような危険にさらされる可能性があります。

個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）

特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流したり、不正にひかり電話を利用する（なりすまし）

傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）

コンピュータウイルスなどを流し、データやシステムを破壊する（破壊）

本来、無線LANカードや無線LANアクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行ってから製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、本商品を使用することをお奨めします。

お客様情報に関するご注意

- 本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内のデータが流出すると不測の損害を被る恐れがありますので、データの管理には十分お気をつけください。
- 各種のユーザ名（ID）、パスワードはお客様の大切な個人情報です。入力には必ずお客様自身で行ってください。
- 本商品を返却などされるときは、本商品を初期化して本商品内のデータを必ず消去してください。
- 本商品の初期化は、本書「付録」の「本商品の初期化について（P9-9）」に記載された初期化方法の手順にしたがって実施してください。

1 最初に確認する

この章では、付属品や各部の名称、お使いになる前に確認していただきたいことを説明します。

セットを確認してください	1-2
各部の名前	1-4
セットアップする	1-7

必要なものが
そろっているか
チェックしてね!

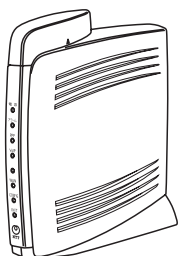


セットを確認してください

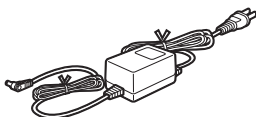
設置を始める前に、必要なものがそろっていることを確認してください。セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合などは、当社のお問い合わせ先窓口にご連絡ください。

●セットの内容

①RT-200KI (1台)



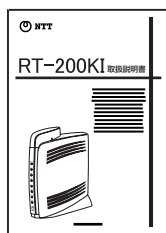
②ACアダプタ (1個)



③LANケーブル (1本/約1.5m/緑色)



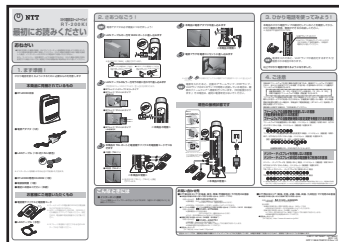
④取扱説明書 (本書1冊)



⑤RT-200KI 専用CD-ROM 詳細取扱説明書収録 (1枚)



⑥最初にお読みください (1枚)



● お客様にご用意いただくもの

<ひかり電話のご利用に必要なもの>

● 電話機



※電話機の電話回線ダイヤル種別は、「PB」に設定してご使用ください。電話回線ダイヤル種別が「DP」の場合、通常の発信や通話は問題なく行うことができますが、「Ⓢ」や「Ⓜ」を用いた電話機からの設定やいくつかの付加機能をご利用いただけません。

※ホームテレホンの内線電話機やISDN対応電話機などとはご利用できません。

※電話機コードもご準備ください。

● 開通のご案内

● 回線終端装置／VDSL モデムなど当社が設置した機器

<インターネット接続および、設定変更に必要なもの>

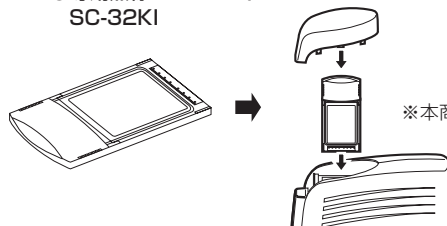
● LAN ポートを持ったパソコン

● プロバイダの設定情報



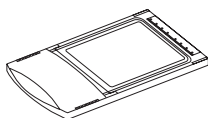
<パソコンとの無線 LAN 接続に必要なもの>

● 専用無線 LAN カード SC-32KI

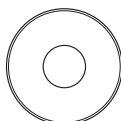


※本商品のカードスロットに装着して使用します。

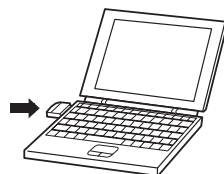
● 専用無線 LAN カード SC-32KI ※ 1



● SC-32KI 専用 CD-ROM (橙) ※ 2



● CardBus 対応の PC カードスロットを持った パソコン

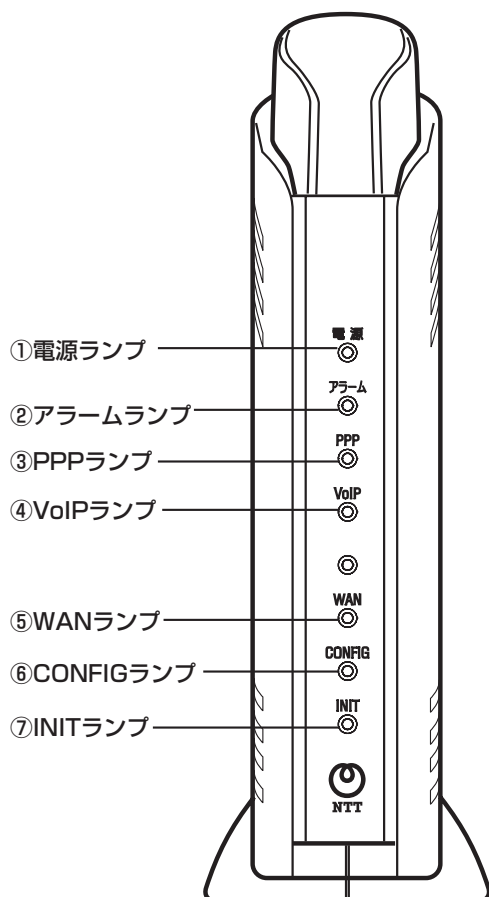


※ 1 無線LAN端末として使用するパソコンなどに装着して使用します。OSはWindows® 7、Windows Vista® SP2、およびWindows® XP SP3それぞれの32ビット日本語版に対応しています。64ビット (x64) 版OS、Mac OSには対応していません。

※ 2 最新のプログラムは「フレッツ簡単セットアップツール」にて取得してください。

各部の名前

●前から見た図



【ランプ表示】

ランプの名称	ランプのつき方(色)	本商品の状態
①電源ランプ	消灯	本商品に電源が入っていないとき（「トラブルシューティング」(●P8-7)）
	点灯（緑）	本商品に電源が入っているとき
②アラームランプ	消灯	正常な状態
	点灯（赤）	装置障害（「トラブルシューティング」(●P8-15)）
	点滅（赤）	装置障害 「無線LAN簡単セットアップ」に失敗したとき （「トラブルシューティング」(●P8-15)）
③PPPランプ	消灯	オフライン状態のとき（「トラブルシューティング」(●P8-8)）
	点灯（緑）	1セッション接続中
	点灯（橙）	2セッション以上接続中
④VoIPランプ	消灯	ひかり電話がご利用できない状態のとき（「トラブルシューティング」(●P8-8)）
	点灯（緑）	ひかり電話がご利用可能のとき
	点滅（緑）	ひかり電話で通話中／着信中／呼出中
⑤WANランプ	消灯	WAN回線がご利用できない状態のとき（「トラブルシューティング」(●P8-7)）
	点灯（緑）	WAN回線がご利用可能のとき
	点滅（緑）	WAN回線でデータ通信中
⑥CONFIGランプ	消灯	ひかり電話設定が未設定のとき
	点灯（緑）	ひかり電話設定が設定完了しているとき
	点滅（緑）	ひかり電話設定が設定中のとき（「トラブルシューティング」(●P8-9)） 「らくらく無線スタート」設定中のとき（「ゲーム機との無線LANの設定をする（らくらく無線スタート）」(●P6-12)）
	点灯（赤）	ひかり電話設定が失敗したとき（認証エラー） （「トラブルシューティング」(●P8-9)）
	点滅（赤）	ひかり電話設定が失敗したとき（その他のエラー）（「トラブルシューティング」(●P8-9)） 「無線LAN簡単セットアップ」設定中のとき（「パソコンに装着した無線LAN カードとの無線LAN の設定をする（無線LAN 簡単接続機能）」(●P6-8)、「ゲーム機との無線LAN の設定をする（らくらく無線スタート）」(●P6-12)）
⑦INITランプ	消灯	通常の状態
	点灯（赤）	初期設定状態（「トラブルシューティング」(●P8-8)）

※本商品の電源を入れたとき、全ランプが一度点灯します。

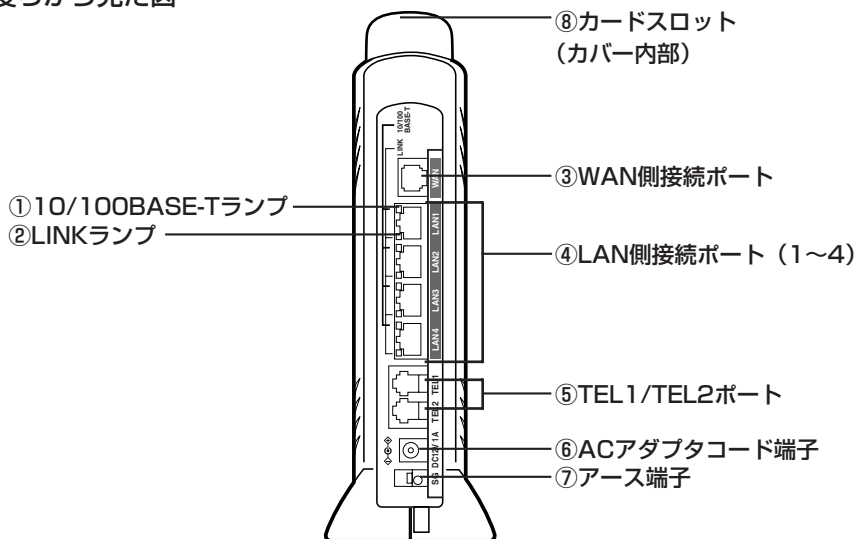
※バージョンアップ中はアラーム、PPP、VoIPランプが同時にゆっくりと点滅します。

※「無線LAN簡単セットアップ」が正常に設定されると、CONFIGランプが10秒ほど点灯（赤）します。

※節電機能動作時は、アラームランプ、PPP ランプ、VoIPランプ、CONFIGランプ、INITランプが消灯します。節電機能の詳細については詳細取扱説明書を参照してください。

各部の名前

●後ろから見た図



【ランプ表示】

ランプの名称	ランプのつき方(色)	本商品の状態
① 10/100BASE-T ランプ(4個)	消灯	10 Mbpsでデータ送受信可能のとき
	点灯 (緑)	100 Mbpsでデータ送受信可能のとき
② LINKランプ(4個)	消灯	LANがご利用できない状態のとき (「トラブルシューティング」(●P8-7))
	点灯 (緑)	LANがご利用可能のとき
	点滅 (緑)	LANでデータ通信中

【ポート名等】

名称	説明
③ WAN側接続ポート	回線終端装置/ VDSLモデム等のLANポートと接続します。
④ LAN側接続ポート(1~4)	パソコンのLANポートと接続します。
⑤ TEL1/TEL2ポート	電話機と接続します。
⑥ ACアダプタコード端子	ACアダプタを接続します。
⑦ アース端子	アースへ接続します。安全のためにアース線の接続をお勧めします。(※)
⑧ カードスロット	無線LANアクセスポイントとして利用する場合、無線LANカードを取り付けます。(「本商品への無線LANカードの取り付け」(●P6-3))

(※) アース線を取り付ける場合、線材はAWG18 (銅線の断面積0.8 mm²相当) 程度の軟銅線をご用意いただき、接続してください。

セットアップする

セットアップの流れを説明します。
ご利用になる機能に応じて、必要な手順の説明箇所をご参照ください。

セットアップの流れ

電話をかけたり 受けたりできる ようにする (STEP1)

本商品をBフレッツに接続し、電話機をつなげて通話ができるようにします。

接続に必要なものを確認します

「必要なものを確認する」(●P1-2)



接続の方法を確認します

- 「Bフレッツ (ハイパーファミリータイプ/マンションタイプ光配線方式) [NTT東日本] に接続する」(●P2-2)
- 「Bフレッツ マンションタイプVDSL方式に接続する」(●P2-4)
- 「Bフレッツ マンションタイプLAN配線方式に接続する」(●P2-6)



電話が使えるようになります

- 「電話をかけるには (発信)」(●P3-2)
- 「電話を受けるには (着信)」(●P3-3)
- 「内線通話をするには」(●P3-4)
- 「電話を転送するには (内線転送)」(●P3-5)
- 「ひかり電話の付加サービスを利用するには」(●P3-6)
- 「ひかり電話の設定をするには」(●P3-12)

パソコンの設定をする

- Windows® 7またはWindows Vista®をお使いの場合
「パソコンを設定する (Windows® 7/Windows Vista®の場合)」(●P4-3)
- Windows Vista®以外のOSをお使いの場合
「パソコンのネットワーク設定」(●P9-2)



Webブラウザの設定をする

- 「Webブラウザの設定」(●P4-6)



インターネットに接続する

- 「かんたん設定」(●P5-2)
- 「フレッツ・スクウェアへの接続」(●P5-8)



無線LANを利用する

本商品を無線LANアクセスポイントとした無線LAN機能をご利用になる場合は、本商品とパソコンに無線LANの設定を行います。
●「無線LANを利用する」(●P6-1)

インターネットや 無線LANを できるようにする (STEP2)

本商品に設定を行って、インターネットと無線LANを利用できるようにします。

セットアップする

バージョンアップ の設定をする (STEP3)

本商品の機能を最新の状
態に保つことができます。

バージョンアップ機能を利用する

- 「自動バージョンアップ機能を利用してバージョンアップする」(●P7-3)
- 「バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする」(●P7-6)

STOP お願い

- 本書に記載した機器の接続、およびインターネット接続は、なるべく当社よりお知らせしたひかり電話の開通日以降に実施してください。
ひかり電話開通日以前から本商品にてインターネット接続を行った場合は、ひかり電話開通日を過ぎても、ひかり電話がご利用いただけません。その場合には、本商品の電源を入れ直すことでご利用可能となります。また、マイナンバー／追加番号を追加されるなど、ひかり電話の契約内容を変更された場合においても、新契約での利用開始日に必ず電源を入れ直してください。
- ひかり電話の開通日以前にインターネット接続をご利用される場合は、機器を接続し、電源を入れたあと、本商品正面のCONFIGランプが赤点灯または赤点滅するまで、数分～20分程度お待ちいただいたのち、設定を行ってください。
- 「フレッツ接続ツール」をご利用になっていたお客様は、STEP2を行う前に、「フレッツ接続ツール」をアンインストールしてください。
- 以前に「まるごと設定ツール」でセットアップをされたお客様、「SC-32設定用ユーティリティ」以前のユーティリティをご利用のお客様およびSC-32KI以外の無線LANカードをご利用になっていたお客様は、無線LANの設定を行う前に無線LANカードのドライバ、ユーティリティをアンインストールして、あらためて以降のセットアップを行ってください。
- 最新の無線LANカードのドライバ、ユーティリティは当社ホームページから入手できます。ドライバ、ユーティリティおよび設定マニュアルを入手して設定を行ってください。

2 本商品を設置する

本商品の設置方法と、本商品の電源を入れたあとに確認することについて説明します。本章の内容を実施することにより、ひかり電話をご使用いただくことができます。

回線を接続する	2-2
電源を入れる	2-8

接続方法を確認し、設置しましょう



回線を接続する

ご利用の回線によって接続方法が異なります。

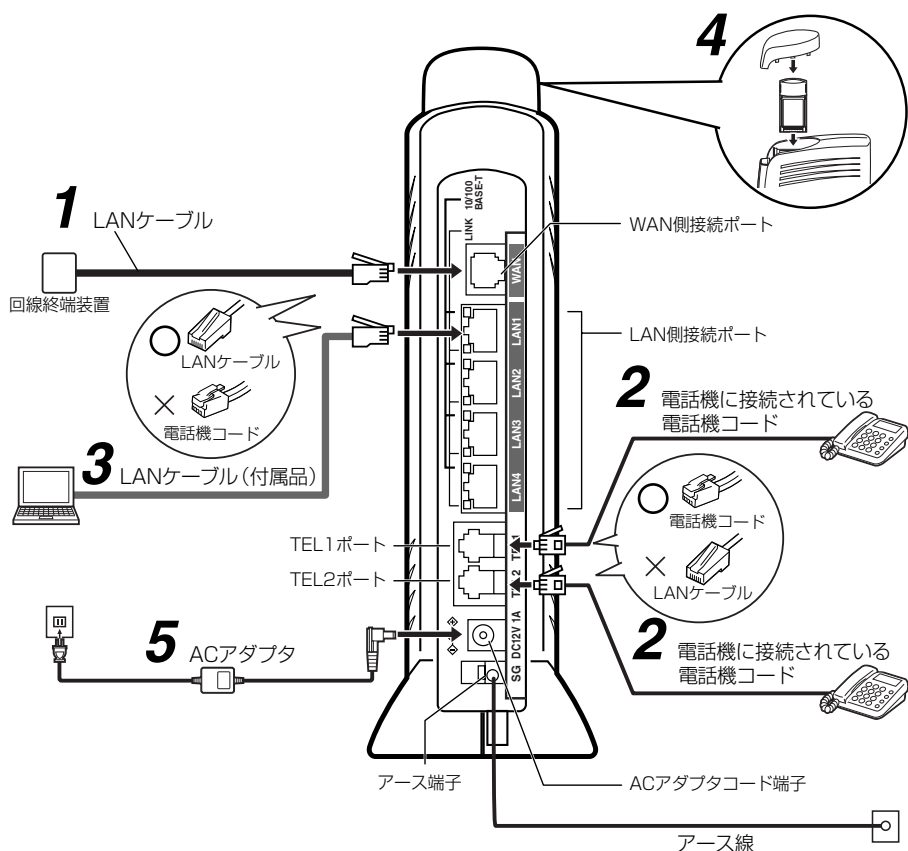
Bフレッツ（ハイパーファミリータイプ／マンションタイプ光配線方式）〔NTT東日本〕に接続する場合（●P2-2）

Bフレッツ マンションタイプ VDSL方式に接続する場合（●P2-4）

Bフレッツ マンションタイプ LAN配線方式に接続する場合（●P2-6）

Bフレッツ（ハイパーファミリータイプ／マンションタイプ光配線方式）〔NTT東日本〕に接続する

本商品は次のような構成で接続することができます。手順に従って接続してください。



1 回線終端装置と本商品を接続する

回線終端装置のLANポートと、本商品のWAN側接続ポートをLANケーブルで接続します。

2 電話機を接続する

本商品のTEL 1 ポートと電話機を、電話機に接続されている電話機コードで接続します。

※2台目の電話機をご利用の場合は、本商品のTEL2ポートと電話機を、電話機コードで接続します。

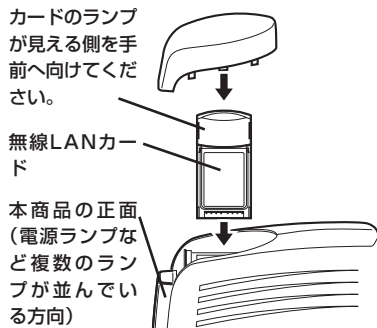
3 パソコンを接続する

本商品のLAN側接続ポートと、パソコンのLANポートをLANケーブルで接続します。

ストレートケーブルを使用して接続してください。

4 無線LANカードを取り付ける (無線LAN通信をする場合)

本商品のカードスロットに無線LANカード(SC-32KI)を取り付けます。



5 ACアダプタを接続する

ACアダプタを接続して本商品の電源を入れます。([「本商品の電源を入れる」] (P2-8))

STOP お願い

- 無線LANカードを取り付けるときや取り外すときには、必ず、本商品の電源を切ってから行ってください。
- 本商品と回線終端装置の間にルータを接続したご使用はできません。
- 本商品と電話機は、電話機コードで直接接続してください。お客様による分配、および延長アダプタ等を使用した接続をしないでください。



ワンポイント

- ひかり電話の設定を変更せずに、ひかり電話のみをご利用の場合はパソコンを接続する必要はありません。



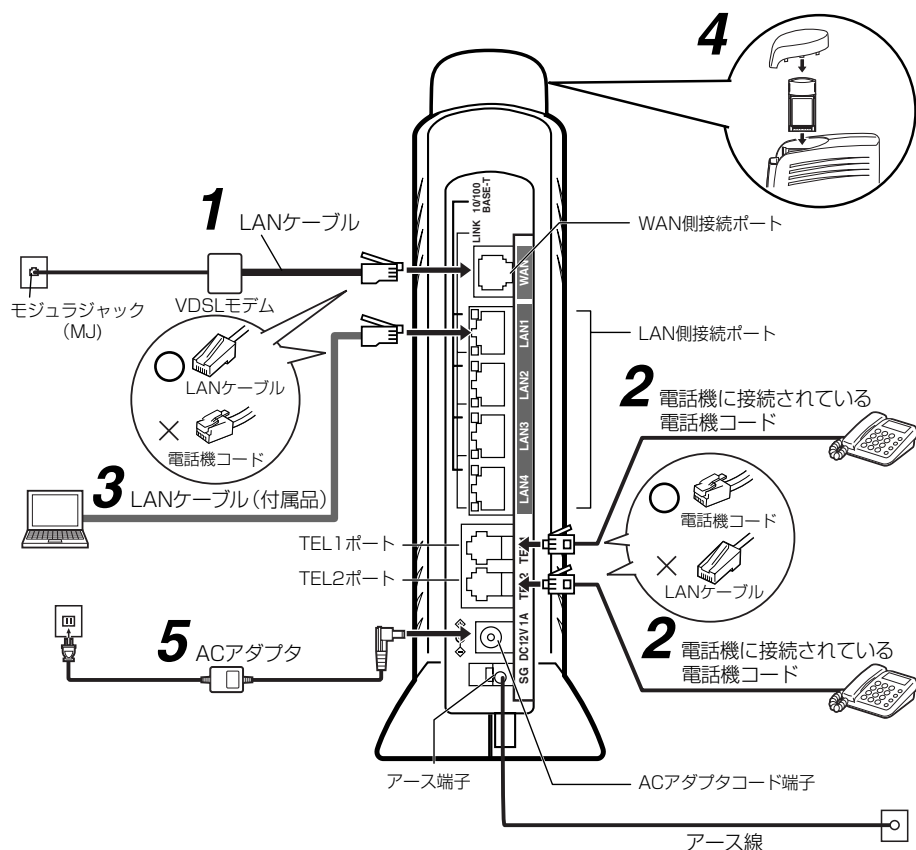
お知らせ

- 無線LANカードは正しい向きで取り付けてください。誤った方向で取り付けると無線LANカードやカードスロットが破損する可能性があります。

回線を接続する

Bフレッツマンションタイプ VDSL方式に接続する

本商品は次のような構成で接続することができます。手順に従って接続してください。



※安全のためアース線の接続をお勧めします。

1 VDSLモデムと本商品を接続する

VDSLモデムのLANポートと、本商品のWAN側接続ポートをLANケーブルで接続します。

※VDSLモデムの設定方法は各VDSLモデムの説明書を参照してください。

2 電話機を接続する

本商品のTEL1ポートと電話機を、電話機に接続されている電話機コードで接続します。

※2台目の電話機をご利用の場合は、本商品のTEL2ポートと電話機を、電話機コードで接続します。

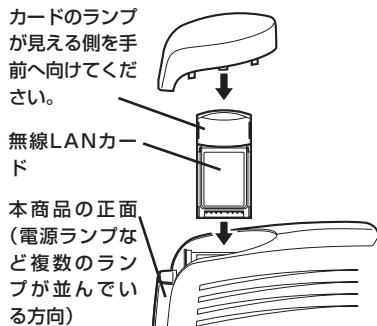
3 パソコンを接続する

本商品のLAN側接続ポートと、パソコンのLANポートをLANケーブルで接続します。

ストレートケーブルを使用して接続してください。

4 無線LANカードを取り付ける (無線LAN通信をする場合)

本商品のカードスロットに無線LANカード(SC-32KI)を取り付けます。



5 ACアダプタを接続する

ACアダプタを接続して本商品の電源を入れます。([「本商品の電源を入れる」] (P2-8))

STOP お願い

- 無線LANカードを取り付けるときや取り外すときには、必ず、本商品の電源を切ってから行ってください。
- 本商品とVDSLモデムの間にルータを接続したご使用はできません。
- 本商品と電話機は、電話機コードで直接接続してください。お客様による分配、および延長アダプタ等を使用した接続をしないでください。



ワンポイント

- ひかり電話の設定を変えずに、ひかり電話のみをご利用の場合はパソコンを接続する必要はありません。



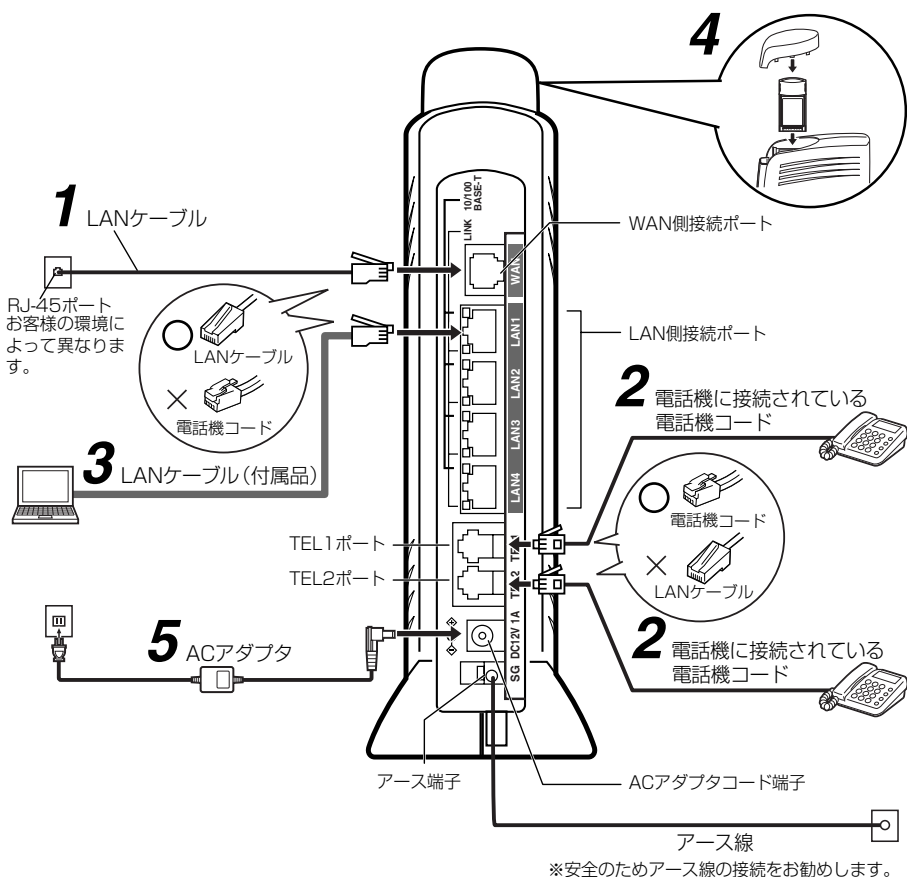
お知らせ

- 無線LANカードは正しい向きで取り付けてください。誤った方向で取り付けると無線LANカードやカードスロットが破損する可能性があります。

回線を接続する

Bフレッツマンションタイプ LAN配線方式に接続する

本商品は次のような構成で接続することができます。手順に従って接続してください。



1 お客様のお部屋にあるRJ-45ポートと本商品を接続する

お客様のお部屋にあるRJ-45ポートと本商品のWAN側接続ポートを、LANケーブルで接続します。

2 電話機を接続する

本商品のTEL 1 ポートと電話機を、電話機に接続されている電話機コードで接続します。

※2台目の電話機をご利用の場合は、本商品のTEL2ポートと電話機を、電話機コードで接続します。

3 パソコンを接続する

本商品のLAN側接続ポートと、パソコンのLANポートをLANケーブルで接続します。

ストレートケーブルを使用して接続してください。

4 無線LANカードを取り付ける (無線LAN通信をする場合)

本商品のカードスロットに無線LANカード(SC-32KI)を取り付けます。



5 ACアダプタを接続する

ACアダプタを接続して本商品の電源を入れます。([「本商品の電源を入れる」(P2-8)])

STOP お願い

- 無線LANカードを取り付けるときや取り外すときには、必ず、本商品の電源を切ってから行ってください。
- 本商品とRJ-45ポートの間にルータを接続したご使用はできません。
- 本商品と電話機は、電話機コードで直接接続してください。お客様による分配、および延長アダプタ等を使用した接続をしないでください。



ワンポイント

- ひかり電話の設定を変更せずに、ひかり電話のみをご利用の場合はパソコンを接続する必要はありません。



お知らせ

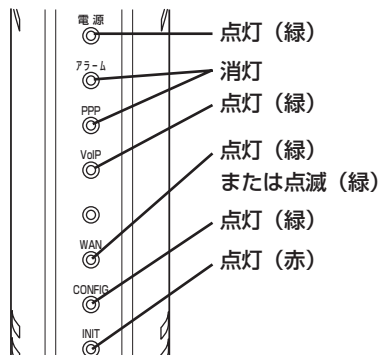
- 無線LANカードは正しい向きで取り付けてください。誤った方向で取り付けると無線LANカードやカードスロットが破損する可能性があります。

電源を入れる

本商品の電源を入れる

付属のACアダプタのケーブルを本商品のACアダプタコード端子に接続して、ACアダプタを電源コンセントに差し込んでください。本商品の電源が入ります。

電源を入れてしばらくたつと、ランプが右図の状態になります。



STOP お願い

- 本商品の電源を入れたあと、正面のアラームランプ・PPPランプ・VoIPランプの3つのランプが同時に点滅している場合は、最新のファームウェアへ更新を行っています。(5分程度かかります。) その場合は、絶対に電源を切らないでください。

お知らせ

- CONFIGランプが緑点灯しないときは「トラブルシューティング」の「設定に関するトラブル」(P8-9)を参照してください。
- 本商品の電源を切る場合は、先に電源プラグを電源コンセントから抜いてください。それから本商品側のコネクタを抜いてください。

⚠ 警告

- ACアダプタの接続は、必ず本商品側のコネクタを接続してから電源コンセントに差し込んでください。場合によっては、火災、感電、故障の原因となります。
- 付属のACアダプタ以外のものを使用しないでください。また、付属のACアダプタおよびACアダプタコードを他の接続機器には使用しないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 近くに雷が発生したときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてご使用をお控えください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 万一、内部に水・異物などが入ったり、本商品やケーブル、モジュラージャックをぬらした場合は、すぐに電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のお問い合わせ先窓口にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 差込口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電機製品の電源プラグ等を差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災、感電、故障の原因となります。

パソコンの電源を入れる

本商品の電源を入れたあと、LAN側接続ポートに接続されているパソコンの電源を入れてください。その後、接続されているLAN側接続ポートにあるLINKランプが緑点灯することを確認してください。



ワンポイント

- ひかり電話のみご利用のときにはパソコンを接続する必要はありません。

3 ひかり電話を利用する

本商品に接続した電話機でひかり電話をご利用いただく方法を説明します。

電話をかけるには（発信）	3-2
電話を受けるには（着信）	3-3
内線通話をするには	3-4
電話を転送するには（内線転送）	3-5
ひかり電話の付加サービスを利用するには	3-6
ひかり電話の設定をするには	3-12
ひかり電話のご利用例	3-22
電話機（アナログ端末）から	
ひかり電話の設定をする	3-27
ひかり電話で接続できる番号	3-32



電話をかけるには（発信）

電話をかける（発信）

1 電話機のハンドセット（受話器）を取り上げる

「ツー」という発信音が聞こえます。



2 電話番号を押す



3 呼出音が聞こえる

4 相手の方が出たらお話しする



5 お話しが終わったら、ハンドセット（受話器）を置く



ワンポイント

- 手順1で、「ツー」という音の代わりに「ピーピーピーツー」が聞こえる場合は、最新のファームウェアが公開されています。「バージョンアップ方法」（➡P7-7）を参照の上、バージョンアップを実施してください。
- 最後の番号を押してから少したつと、電話番号の終了と判定し発信します。すぐに発信させたい場合は、番号に続けて「#」（シャープ）を押してください。
- ひかり電話で接続できる番号については「ひかり電話で接続できる番号」（➡P3-32）を参照してください。



お知らせ

- 本商品に接続している電話機のACR（LCR）機能が動作している場合、ひかり電話が使用できない場合があります。必ず電話機のACR（LCR）機能は停止させてください。
- お使いになっている電話機の環境やオンフックダイヤル（ハンドセット（受話器）を置いたままダイヤルする機能）を用いる等の操作方法によっては、ダイヤルするときに正しく発信できないことがあります。
- 通話切断後、続けて電話をご利用になる場合は、ハンドセット（受話器）を2秒以上置いてから、「ツー」という音を確認したあとダイヤルしてください。

相手がお話し中のとき

1 電話機のハンドセット（受話器）を取り上げる

「ツー」という発信音が聞こえます。

2 電話番号を押す

3 「ツーツーツー」という音が聞こえる

4 ハンドセット（受話器）を置いて、しばらくたってからかけ直す

電話を受けるには（着信）

電話を受ける（着信）

- 1** 着信音が鳴る
「プルルルー、プルルルー、…」という着
信音が鳴ります。



- 2** ハンドセット（受話器）を取り
あげて、相手の方とお話する



- 3** お話しが終わったら、ハンドセッ
ト（受話器）を置く



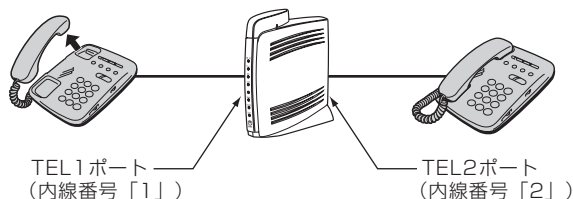
内線通話をするには

内線通話

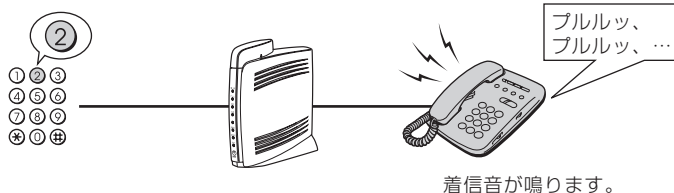
他のTELポートに接続された電話機、ひかり電話に対応した無線IP端末、LANポートに接続されたIP端末などを呼び出して、通話することができます。電話機ごとに設定した内線番号（1～9、10～99の1～2桁）をダイヤルすると、内線発信として扱います。

1 電話機のハンドセット（受話器）を取りあげる

「ツー」という発信音が聞こえます。

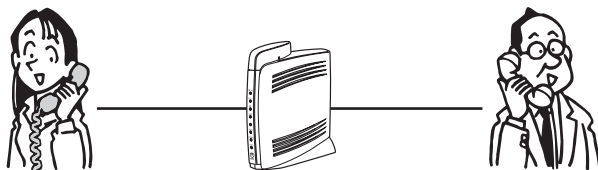


2 内線番号を押す



3 相手の方が出たらお話しする

ハンドセット(受話器)を取りあげて、相手の方とお話しします。



お知らせ

- IP端末の操作についてはIP端末の取扱説明書を参照してください。
- 同時に利用できる内線通話は1通話です。



ワンポイント

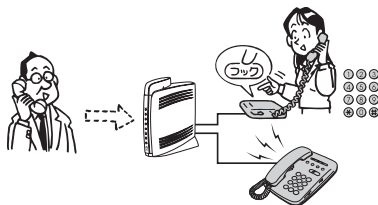
- 内線番号を押してすぐに発信させたい場合は、番号に続けて「#」（シャープ）を押してください。

内線転送（外線通話から内線へ）

お話し中の通話（外線）を、もう一方の電話機に転送することができます。

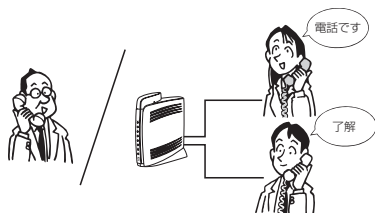
1 転送先を呼び出す

お話し中にフッキング（☎P3-9）して通話を保留し、内線番号（1～2桁）を押して転送する電話機を呼び出します。
※保留中の相手先には、保留音が流れます。



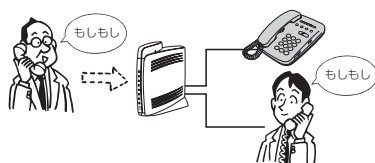
2 外線通話を転送することを伝える

転送先が応答すると、応答した相手と通話状態になります。外線通話を転送することを連絡します。



3 ハンドセット（受話器）を置いて転送を実行する

保留されていた相手と、転送先が通話状態になります。



お知らせ

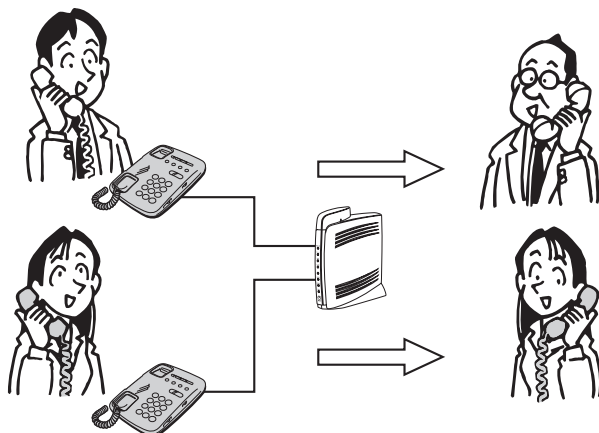
- 転送先が呼び出しに应答しない場合や転送実行前に転送先が通話を切断した場合、および転送先との通話中に保留されている相手との通話に戻りたい場合は、以下のいずれかの方法で通話を切り替えることができます。
 - (1) 再度フッキングする。
 - (2) 一度ハンドセット（受話器）を置くと呼出音が鳴るので、ハンドセット（受話器）を取り上げて应答する。（転送先との通話中にハンドセット（受話器）を置くと、転送が実行されます。）
- キャッチホン（☎P3-8）による着信があった場合は、転送はできません。

複数チャネル（ダブルチャネル）

複数チャネル（ダブルチャネル）にご契約いただくと、本商品に接続した2台の電話機を使用して、同時に2つの相手先と通話することができます。

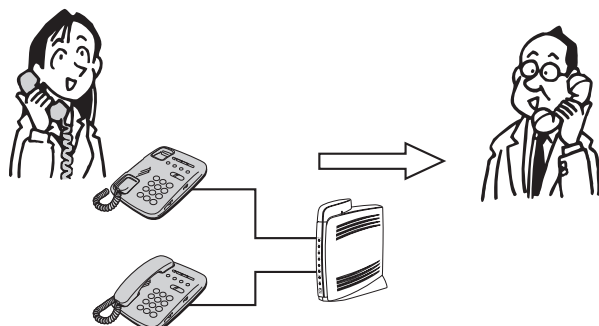
●複数チャネル（ダブルチャネル）にご契約の場合

別々の相手先（外線）※ と2通話同時にご利用になれます。
お話し中の電話機でも、かかってきた電話に出ることができます。
「■通話中の着信およびキャッチホンサービスについて」（P3-9）をご覧ください。



●複数チャネル（ダブルチャネル）にご契約でない場合

同時に通話できる相手先（外線）※ は1つだけです。
キャッチホン機能をご利用になるには、別途ご契約が必要です。



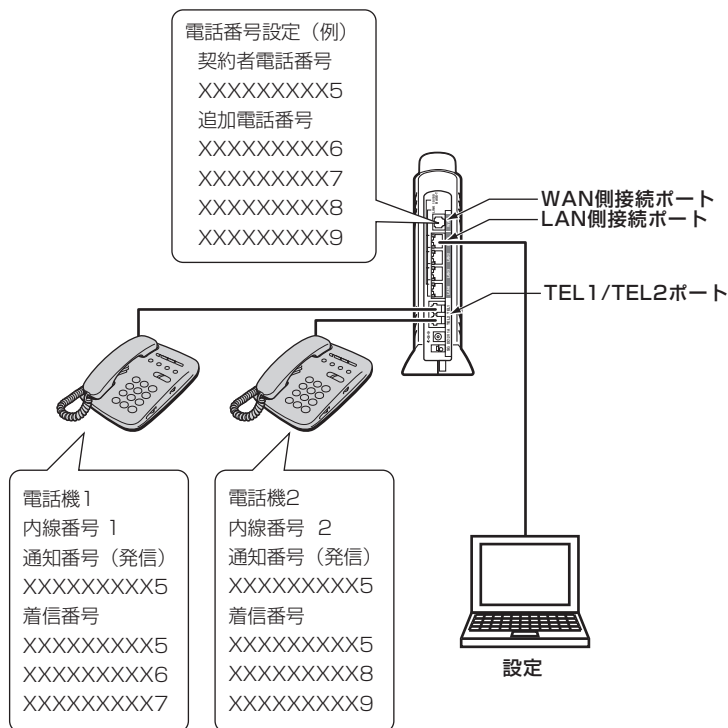
※ひかり電話、加入電話、ISDN、携帯電話、PHS、国際通話、050IP電話など

マイナンバー／追加番号

マイナンバー／追加番号は、ひかり電話の契約者電話番号（1つ）に加えて、最大4つまでの追加電話番号をご契約いただき、合計5つまでの電話番号をひかり電話でご利用になれるサービスです。

本商品のWebブラウザ設定または接続した電話機から設定を行っていただくと、以下の機能が利用できるようになります。

- ・一斉着信（☛P3-16）
- ・個別着信（☛P3-17）
- ・着信鳴り分け（☛P3-18）
- ・モデムダイヤルイン（☛P3-19）
- ・優先着信ポート機能（☛P3-20）



お知らせ

- 電話番号の設定方法は、「端末設定画面」（☛P3-12）、「電話機（アナログ端末）からひかり電話の設定をする」（☛P3-27）を参照してください。

キャッチホン

お話し中でも、かかってきた電話に出ることができます。

●ひかり電話でお話し中に、別の相手先から電話がかかってきたとき

- 1** お話し中に「ブップッ……」という着信音が聞こえる



- 2** 相手の方に伝え、フッキングする

最初に話していた方との通話は保留されます。



- 3** あとからかけてきた方とお話する

最初に話していた方には保留音が流れます。



- 4** お話しが終わったら、ハンドセット（受話器）を置く

着信音が鳴ります。ハンドセット（受話器）を取りあげて最初に話していた方とお話しをしてください。

※フッキングでも切り替えができます。

●TELポートにつなげた電話機どうしてお話し中に、別の相手先から電話がかかってきたとき

- 1** お話し中に「ブップッ……」という着信音が聞こえる



- 2** 相手の方に伝え、フッキングする

最初に話していた方との通話は切れます。



- 3** あとからかけてきた方とお話する



- 4** お話しが終わったら、ハンドセット（受話器）を置く





お知らせ

- キャッチホン機能をご利用になるには、キャッチホンのご契約が必要です。
- キャッチホン契約の場合、本商品の「割込音通知」設定に関わらずキャッチホンの「プップッ・・・」という着信音が聞こえます。
- 複数チャンネル（ダブルチャンネル）とキャッチホンを同時にご契約いただくことができない場合がございます。ただし、本商品の「割込音通知」設定を行うことにより、お話し中に「プップッ・・・」という着信音が聞こえ、キャッチホン相当の機能をご利用いただけます。（「端末設定画面」）（▶P3-12）
- 「割込音通知」設定はTEL1ポート、TEL2ポートに対してのみ設定することができます。
- 「割込音通知」設定の初期値は「使用する」になっており、そのままご利用いただけます。
- 「割込音通知」設定を「使用しない」に設定する場合は、TELポートに接続した電話機（アナログ端末）のハンドセット（受話器）を上げ、以下のようにダイヤルしたあと、ハンドセット（受話器）を置きます。（「電話機（アナログ端末）からひかり電話の設定をする」）（▶P3-27）

※※※9991※93※2## （TEL1ポートの設定を変更する場合）

※※※9992※93※2## （TEL2ポートの設定を変更する場合）

- 「優先着信ポート」が設定されている場合、電話機（アナログ端末）からの「割込音通知」設定はできません。
- 「優先着信ポート」が設定されている場合は、「割込音通知」設定を変更することはできません。



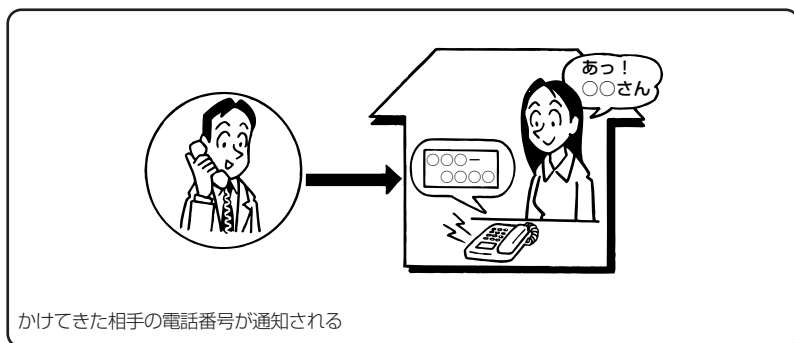
ワンポイント

- 「フッキング」とは、電話機のフックスイッチ（図の矢印部分）を軽く（1秒程度）押すことです。1秒以上押し続けると、通話が切れることがあります。コードレスホンや多機能電話機などをお使いのときは、専用のボタン（キャッチホンボタン、フックボタン、フラッシュボタンなど）を押します。



ナンバー・ディスプレイ

着信があった場合、発信者の電話番号をナンバー・ディスプレイ対応の電話機に表示させることができます。電話番号が通知されない場合は、その理由が通知されます。
かけてきた方の電話番号を確認してから、電話に出ることができます。



● 必要な契約

ナンバー・ディスプレイの契約が必要になります。

● 必要な設定

- ①TELポートに、ナンバー・ディスプレイ対応の電話機を接続します。
- ②接続した電話機のナンバー・ディスプレイ発信者番号通知設定を行います。
- ③本商品のWebブラウザ設定の端末設定画面で、「ナンバー・ディスプレイ」が「使用する」に設定されていることを確認してください。〔「端末設定画面」(●P3-12)〕



お知らせ

- ナンバー・ディスプレイの機能をご利用になるには、**ID** マーク、**dD** マーク、**nD** マークのついたナンバー・ディスプレイ対応の電話機が必要です。
- 「ナンバー・ディスプレイ」設定はTEL1ポート、TEL2ポートに対してのみ設定することができます。
- ナンバー・ディスプレイの初期値は「使用する」に設定されています。ナンバー・ディスプレイをご契約でない場合や、非対応の電話機を接続する場合は、対応する端末設定画面で、「ナンバー・ディスプレイ」を「使用しない」に設定してください。
- TELポートに接続した電話機（アナログ端末）から「ナンバー・ディスプレイ」を「使用しない」に設定する場合は、ハンドセット（受話器）を上げ、以下のようにダイヤルしたあと、ハンドセット（受話器）を置きます。〔「電話機（アナログ端末）からひかり電話の設定をする」(●P3-27)〕
 - ※※※9⑨0①※9①※2# # (TEL1ポートでナンバー・ディスプレイを「使用しない」に設定する場合)
 - ※※※9⑨0②※9①※2# # (TEL2ポートでナンバー・ディスプレイを「使用しない」に設定する場合)
- 電話機によっては、発信者番号などが正しく表示されないことがあります。
- 電話機の表示内容は、お使いの機器によって異なります。

発信者番号通知

発信者番号通知とは、相手先にこちらの電話番号（契約者回線番号）を通知する機能です。

発信者番号を通知するかどうかは以下のような条件になります。

● 発信時のダイヤル操作

相手先の電話番号の前に「184」（通知しない）または「186」（通知する）を付けて、通知するかどうかを指定します。

● ひかり電話ご契約時の内容

ひかり電話のご契約時に「通常通知（通話ごと非通知）」、「通常非通知（回線ごと非通知）」のどちらかを選択していただきます。

契約	ダイヤル操作		
	相手番号（通常の操作）	184+相手番号	186+相手番号
通常通知 （通話ごと非通知）	○	×	○
通常非通知 （回線ごと非通知）	×	×	○

○：通知する ×：通知しない



お知らせ

- 「184」「186」を付与するダイヤルは外線発信時のみ有効です。外線発信時は、「184」「186」を付与することができません。
- 指定着信機能（☛P3-21）を指定したポートの電話機から発信しても、相手先に指定着信番号は通知されません。

ひかり電話の設定をするには

端末設定画面

本商品に接続したパソコンのWebブラウザで、本商品に接続された電話機に対して電話番号の設定を行うことができます。ご利用になる機能によっては、「その他の設定」を行う必要があります。

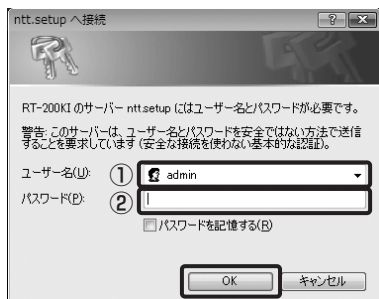


お知らせ

- 本商品のWebブラウザ設定を使用するためのパソコンの事前設定については、「4章 パソコンを設定する」「9章 付録」を参照してください。
 - ログイン方法と本商品の基本的な設定手順は「5章 インターネットに接続する」で説明します。
- ※ はじめて本商品にログインしたときには、本商品の初期設定を行ってください。（「かんたん設定」(P5-2)）

1 本商品に接続したパソコンのWebブラウザでアドレス入力欄に「http://ntt.setup/」と入力し、「Enter」キーを押して本商品にログインします

2



① ユーザ名

「admin」を入力します。

② パスワード

Web設定ログインパスワードを入力します。

3

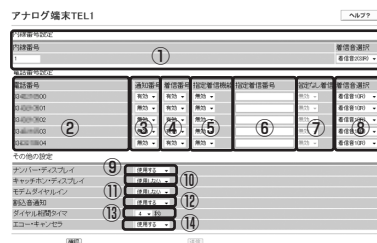
「OK」をクリックします

4

Webブラウザ設定画面のメニューから「電話設定」をクリックし、設定するアナログ端末(TEL1またはTEL2)をクリックします

5

端末設定画面が表示されます



① 内線番号設定

アナログ端末の内線番号と内線着信があったときの着信音を設定します。

※他の端末と重複する番号は設定できません。

※着信音は「着信音1 (IR)」（ブルルルー、ブルルルー、…）/「着信音2 (SIR)」（ブルルッ、ブルルッ、…）から選択します。実際に鳴る音は、接続する電話機の仕様に依存します。

② 電話番号

ひかり電話の契約者電話番号・追加電話番号が表示されます。

③ 通知番号

「発信者番号通知」(P3-11) に使用する電話番号を「有効」に設定します。

※ 初期値は契約者電話番号が「有効」に設定されています。

※「通知番号」を「有効」に設定した番号は必ず「着信番号」も「有効」に設定されます。

④ 着信番号

外線着信をさせる電話番号を「有効」に設定します。

※ 初期値は契約者電話番号および追加電話番号が「有効」に設定されています。

⑤ 指定着信機能

指定着信機能（☛P3-21）を使用する場合、「有効」に設定します。

※ 初期値は「無効」に設定されています。

⑥ 指定着信番号

電話番号（契約番号および追加番号）に付与する番号を設定します。

⑦ 指定なし着信

指定着信番号あり／なしの両方の着信を受ける場合は、「有効」に設定します。

※ 初期値は「無効」に設定されています。

⑧ 着信音選択

着信音を選択します。

⑨ ナンバー・ディスプレイ

ナンバー・ディスプレイ（☛P3-10）を契約しているときは、「使用する」に設定します。

※ 初期値は「使用する」に設定されています。ナンバー・ディスプレイをご契約でない場合、非対応の電話機を接続する場合は「使用しない」に設定してください。

⑩ キャッチホン・ディスプレイ

キャッチホン・ディスプレイ（☛P3-15）を使用する場合には、「使用する」に設定します。

ナンバー・ディスプレイを「使用する」に設定している場合のみ設定できます。

※ 初期値は「使用しない」に設定されています。

⑪ モデムダイヤルイン

モデムダイヤルイン（☛P3-19）を利用する場合、「使用する」に設定します。

※ 初期値は「使用しない」に設定されています。

⑫ 割込音通知

キャッチホン相当の機能を利用する場合、複数チャネル（ダブルチャネル）にご契約の場合、「使用する」に設定します。

※ 初期値は「使用する」に設定されています。

⑬ ダイヤル桁間タイマ

アナログ端末で番号を入力するときに、次の番号入力のを待つ時間を設定します。

※ 初期値は「4（秒）」に設定されています。

⑭ エコー・キャンセラ

エコーやハウリングを防止する機能を使用する場合にチェックします。

※ 初期値は「使用する」に設定されています。

6 すべての設定が終了したら「確認」をクリックします

7 「送信」をクリックします

8 「反映」をクリックします

再起動終了後、設定した内容が有効になります。



お知らせ

- 端末設定画面での各設定は電話機からも行えます。（☛P3-27）
- IP端末の設定は、付属のCD-ROM内の「詳細取扱説明書」をご覧ください。

ひかり電話の設定をするには

内線番号一覧

●設定方法

端末設定画面、「サービス設定」画面で設定した内線番号や設定内容は、内線番号一覧で確認することができます。

1 Webブラウザ設定画面左のメニューから「電話設定」－「内線番号一覧」をクリックします

2 内線番号一覧画面が表示されます

内線番号一覧 ヘルプ?

内線番号	対応端末選択	端末名	優先着信ポート	指定着信機能	登録状態
1	TEL1 → TEL2	アナログ端末TEL1			
2	TEL1 → TEL2	アナログ端末TEL2			
3	TEL1 → TEL2	IP端末1			未登録
4	TEL1 → TEL2	IP端末2			未登録
5	TEL1 → TEL2	IP端末3			未登録
6	TEL1 → TEL2	IP端末4			未登録
7	TEL1 → TEL2	IP端末5			未登録

印刷 設定

①内線番号

端末設定画面で設定した「内線番号」が表示されます。

②収容端末選択

接続したアナログ端末が「有効」になっていることを確認します。

※ 初期値はアナログ端末（TEL1）、アナログ端末（TEL2）が「有効」に設定されています。

※ 設定を変更した場合は、「確認」、「送信」、「反映」の順にクリックしてください。

③優先着信ポート

「サービス設定」画面で設定した「優先着信ポート」の設定状態が表示されます。

④指定着信機能

端末設定画面で設定した「指定着信機能」の設定状態が表示されます。



お知らせ

- 「着信音1（IR）」（ブルルル、ブルルル、…）／「着信音2（SIR）」（ブルルッ、ブルルッ、…）
実際に鳴る音は、接続する電話機の仕様に依存します。
- 本商品で利用できる内線番号は、最大5つまでです。
- 「優先着信ポート」（P3-20）が設定されている場合は、「収容端末選択」を変更することはできません。

キャッチホン・ディスプレイ

お話し中に、着信があった場合、発信者の電話番号をキャッチホン・ディスプレイ対応の電話機やファクスに表示させることができます。電話番号が通知されない場合は、その理由が通知されます。

あとからかけてきた方の電話番号を確認してから、電話に出ることができます。

ご使用になるには事前に下記のご契約と設定が必要になります。

ご契約の有無	着信者側	発信者側
ナンバー・ディスプレイとキャッチホンを組み合わせてご利用になる場合	・ナンバー・ディスプレイ ・キャッチホン	ナンバー・ディスプレイとキャッチホン・ディスプレイを「使用する」に設定する（「端末設定画面」（☛P3-12）、「電話機（アナログ端末）からひかり電話の設定をする」（☛P3-27））
ナンバー・ディスプレイと割込音通知を組み合わせご利用になる場合	・ナンバー・ディスプレイ ・複数チャネル（ダブルチャネル）	ナンバー・ディスプレイとキャッチホン・ディスプレイを「使用する」に設定する 割込音通知を「使用する」に設定する （「端末設定画面」（☛P3-12）、「電話機（アナログ端末）からひかり電話の設定をする」（☛P3-27））

※ナンバー・ディスプレイ、割込音通知の初期値は「使用する」に設定されています。

キャッチホン・ディスプレイの初期値は「使用しない」に設定されています。



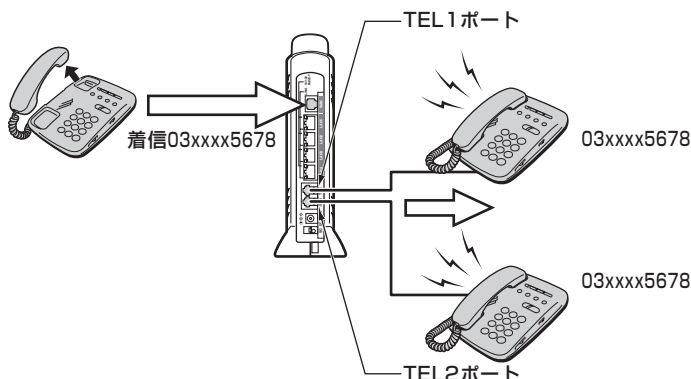
お知らせ

- キャッチホン・ディスプレイの機能をご利用になるには、**cd** マークのついたキャッチホン・ディスプレイ対応の電話機が必要です。
- キャッチホン・ディスプレイの機能をご利用になるには、ナンバー・ディスプレイとキャッチホン・ディスプレイの両方を「使用する」に設定してください。
ナンバー・ディスプレイが「使用しない」になっているとご利用になれません。

ひかり電話の設定をするには

一斉着信設定

複数の内線番号で同じ電話番号を設定すると、着信したときに呼出音が一斉に鳴ります。



● 設定方法

アナログ端末TEL1

ヘルプ?

内線番号設定

内線番号	着信音選択
1	着信音2(GP) ▼

電話番号設定

電話番号	通知番号	着信番号	指定着信機能	指定着信番号	指定ベル着信	着信音選択
03xxxx5678	有効 ▼	有効 ▼	無効 ▼		無効 ▼	着信音1(GP) ▼
03xxxx5679	無効 ▼	有効 ▼	無効 ▼		無効 ▼	着信音1(GP) ▼
	無効 ▼	有効 ▼	無効 ▼		無効 ▼	着信音1(GP) ▼
	無効 ▼	有効 ▼	無効 ▼		無効 ▼	着信音1(GP) ▼
	無効 ▼	有効 ▼	無効 ▼		無効 ▼	着信音1(GP) ▼

「03xxxx5678」の着信番号を「有効」にします

アナログ端末TEL2

ヘルプ?

内線番号設定

内線番号	着信音選択
2	着信音2(GP) ▼

電話番号設定

電話番号	通知番号	着信番号	指定着信機能	指定着信番号	指定ベル着信	着信音選択
03xxxx5678	有効 ▼	有効 ▼	無効 ▼		無効 ▼	着信音1(GP) ▼
03xxxx5679	無効 ▼	有効 ▼	無効 ▼		無効 ▼	着信音1(GP) ▼
	無効 ▼	有効 ▼	無効 ▼		無効 ▼	着信音1(GP) ▼
	無効 ▼	有効 ▼	無効 ▼		無効 ▼	着信音1(GP) ▼
	無効 ▼	有効 ▼	無効 ▼		無効 ▼	着信音1(GP) ▼

「03xxxx5678」の着信番号を「有効」にします

※初期状態では一斉着信するように設定されています。

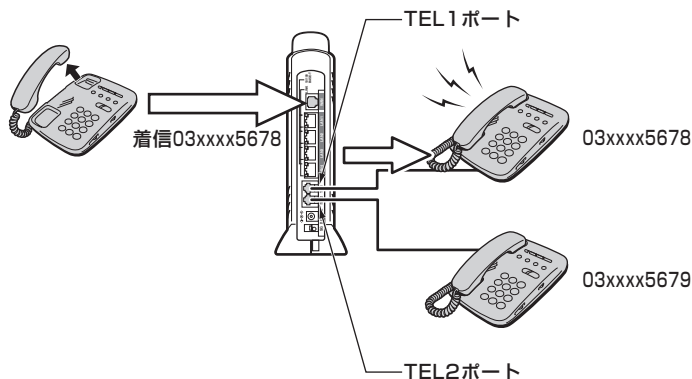


お知らせ

- 「優先着信ポート」が設定されている場合は、一斉着信は行われず、設定したTELポートに優先して着信します。
- 設定は電話機からも行えます。(P3-27)

個別着信設定

マイナンバー／追加番号をご契約のとき、内線番号ごとに別の番号を設定すると着信があった電話機のみが鳴ります。



3
ひかり電話
を利用する

● 設定方法

アナログ端末TEL1

ヘルプ?

内線番号設定		着信音選択	
内線番号	着信音	着信音	着信音
1		着信音2(GP)	

電話番号設定		指定着信機能		指定着信番号		指定着信音		着信音選択	
電話番号	通知番号	着信番号	指定着信機能	指定着信番号	指定着信音	着信音	着信音	着信音	着信音
03xxxx5678	有効	有効	無効		無効	着信音1(R)	着信音1(R)	着信音1(R)	着信音1(R)
03xxxx5679	無効	有効	無効		無効	着信音1(R)	着信音1(R)	着信音1(R)	着信音1(R)
	無効	有効	無効		無効	着信音1(R)	着信音1(R)	着信音1(R)	着信音1(R)
	無効	有効	無効		無効	着信音1(R)	着信音1(R)	着信音1(R)	着信音1(R)

「03xxxx5678」の通知番号と着信番号を「有効」にします

※通知番号を「有効」にすると、着信番号も「有効」になります。

「03xxxx5679」の着信番号を「無効」にします

アナログ端末TEL2

ヘルプ?

内線番号設定		着信音選択	
内線番号	着信音	着信音	着信音
2		着信音2(GP)	

電話番号設定		指定着信機能		指定着信番号		指定着信音		着信音選択	
電話番号	通知番号	着信番号	指定着信機能	指定着信番号	指定着信音	着信音	着信音	着信音	着信音
03xxxx5678	無効	無効	無効		無効	着信音1(R)	着信音1(R)	着信音1(R)	着信音1(R)
03xxxx5679	無効	有効	無効		無効	着信音1(R)	着信音1(R)	着信音1(R)	着信音1(R)
	無効	有効	無効		無効	着信音1(R)	着信音1(R)	着信音1(R)	着信音1(R)
	無効	有効	無効		無効	着信音1(R)	着信音1(R)	着信音1(R)	着信音1(R)

「03xxxx5679」の通知番号と着信番号を「有効」にします

※通知番号を「有効」にすると、着信番号も「有効」になります。

「03xxxx5678」の着信番号を「無効」にします



お知らせ

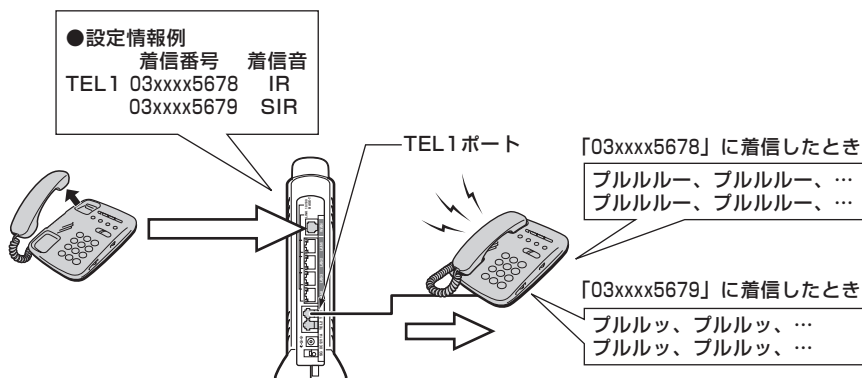
- 設定は電話機からも行えます。(P3-27)

ひかり電話の設定をするには

着信鳴り分け

電話機の着信音を設定することができます。

設定対象着信種別	契約電話番号着信/内線着信、追加番号ごと
設定可能な着信音	IR (ブルルルー、ブルルルー、…) / SIR (ブルルッ、ブルルッ、…)



● 設定方法

アナログ端末TEL1

ヘルプ?

内線番号設定

内線番号

1

着信音選択

着信音2(SIR)

電話番号設定

電話番号	通知番号	着信番号	指定着信機能	指定着信番号	指定着信音	着信音選択
03xxxx5678	有効	有効	有効		無効	着信音1(IR)
03xxxx5679	有効	有効	有効		無効	着信音2(SIR)
	有効	有効	有効		無効	着信音1(IR)
	有効	有効	有効		無効	着信音1(IR)
	有効	有効	有効		無効	着信音1(IR)
	有効	有効	有効		無効	着信音1(IR)

「03xxxx5678」の着信番号を「有効」にし、着信音を「着信音1 (IR)」にします

「03xxxx5679」の着信番号を「有効」にし、着信音を「着信音2 (SIR)」にします



お知らせ

- 実際に鳴る音は、接続する電話機の仕様に依存します。
- 3番号以上の鳴り分けはできません。
- 設定は電話機からも行えます。(P3-27)

ひかり電話の設定をするには

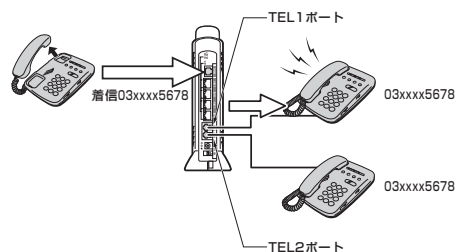
優先着信ポート設定

TEL1ポート/TEL2ポートに接続した電話機（アナログ端末）に同一の着信番号が設定（一斉着信）された場合に、優先着信ポートで指定したTELポートに優先して着信させることができます。

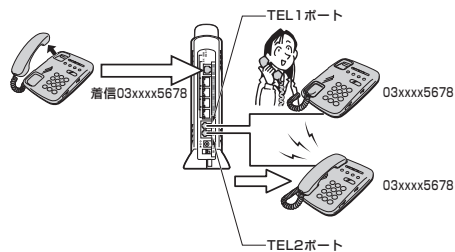
●設定例

TEL1ポートを優先着信ポートに設定する場合

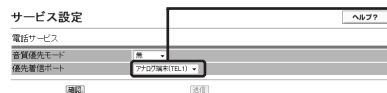
【TEL1ポート未使用の場合】



【TEL1ポート使用中の場合】



●設定方法



「優先着信ポート」を「アナログ端末（TEL1）」に設定します。

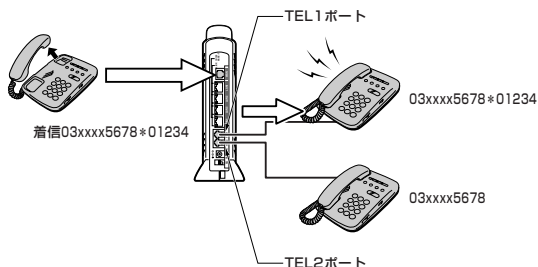


お知らせ

- 「アナログ端末（TEL1）」、「アナログ端末（TEL2）」に同一の着信番号を設定する必要があります。
- 本設定がされている場合は、「一斉着信」を行いません。
- 「アナログ端末（TEL1）」、「アナログ端末（TEL2）」の「収容端末選択」を「有効」に設定する必要があります。
- すべての「IP端末」を「無効」に設定する必要があります。
- 「アナログ端末（TEL1）」、「アナログ端末（TEL2）」の「割込音通知」は「使用しない」に設定する必要があります。
- 「アナログ端末（TEL1）」、「アナログ端末（TEL2）」の「同一着信番号」に、指定着信番号「有効」、かつ指定なし着信「無効」に設定されている場合、優先着信ポート設定を「有効」にすることはできません。ただし、同一着信番号が複数ある場合は設定できます。
- キャッチホン契約時は、本商品の「優先着信ポート」の設定に関わらず、通話中の電話機（アナログ端末）にキャッチホンの「ブツッ・・・」という着信音が通知されます。
- 設定は電話機からも行えます。（●P3-27）

指定着信番号設定

電話番号（契約番号および追加番号）に指定着信番号を付与することで、本商品配下の特定のアプリログ端末を直接呼び出すことができます。



3 ひかり電話を利用する

●設定方法

[illegible]

「03xxxx5678」の「着信番号」を「有効」にします。

「指定着信機能」を「有効」にします。

「指定着信番号」を設定します。

●操作手順

指定着信番号を設定した電話機（アナログ端末）に発信する場合、「電話番号＋＊＋指定着信番号」をダイヤルします。

例：03xxx5678+*+01234



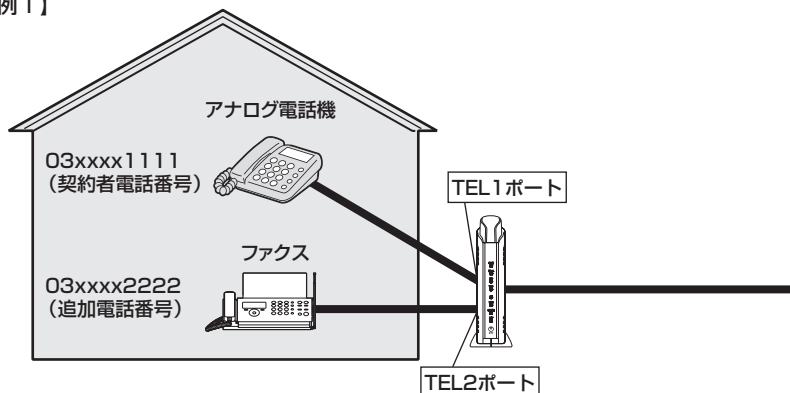
お知らせ

- 本機能はアナログ端末のみで利用できる機能です。
- 指定着信番号が付与されている場合は、着信番号と指定着信番号が完全一致した電話端末のみに着呼します。
- 「着信番号」を「有効」に設定しないと「指定着信機能」を「有効」には設定できません。また「指定着信機能」は、TEL1ポート／TEL2ポートいずれかに設定されている1つの着信番号に対してのみ「有効」となります。複数ポート、複数着信番号に設定してご利用いただくことはできません。
- 「指定着信番号」は、「指定着信機能」が「有効」の番号にのみ、0～9の任意の数字、1～19桁の範囲で設定することができます。
- 指定着信番号あり／なしの両方の着信を受ける場合は、「指定なし着信」を「有効」に設定してください。
- 「指定なし着信」は、「指定着信機能」が「有効」の場合のみ「有効」に設定することができます。
- 優先着信ポート設定が「有効」になっている場合、アナログ端末TEL1／アナログ端末TEL2に同一着信番号に指定着信機能「有効」、かつ指定なし着信「無効」を設定できません。ただし、同一番号が複数ある場合は設定できます。
- 指定着信番号で着信した場合には、キャッチホンはご利用いただけません。
- マイナンバー／追加番号をご利用の場合でも、指定着信機能をご利用いただける番号は1つだけです。
- 指定着信番号が発信可能な電話回線は、ISDN、ひかり電話、携帯電話となります。なお、携帯電話からの指定着信番号発信の可否は、各事業者により異なります。
- ひかり電話から指定着信番号を発信した場合は、ひかり電話以外の回線やNTT東日本のひかり電話提供エリア外へ指定着信させることはできません。
- 設定は電話機からも行えます。(P3-27)

ひかり電話のご利用例

電話とファクスを使い分けたい！

【ご利用例1】



●必要な付加サービス

マイナンバー／追加番号

※2つの端末で同時通話を行いたいお客様は、複数チャンネル（ダブルチャンネル）をご契約ください。

●設定方法

【アナログ端末TEL1】（アナログ電話機）

電話番号設定					
電話番号	通知音	着信番号	指定着信機能	指定着信番号	指定着信音選択
03xxxx1111	有効	有効	無効		無効
03xxxx2222	無効	無効	無効		着信音1(R)

アナログ電話機の「契約者電話番号」を有効にします

アナログ電話機の「追加電話番号」を無効にします

【アナログ端末TEL2】（ファクス）

電話番号設定					
電話番号	通知音	着信番号	指定着信機能	指定着信番号	指定着信音選択
03xxxx1111	無効	無効	無効		無効
03xxxx2222	有効	有効	無効		着信音1(R)

ファクスの「追加電話番号」を有効にします

ファクスの「契約者電話番号」を無効にします

事務所（店舗）の電話を自宅でも受けない！

【ご利用例2】

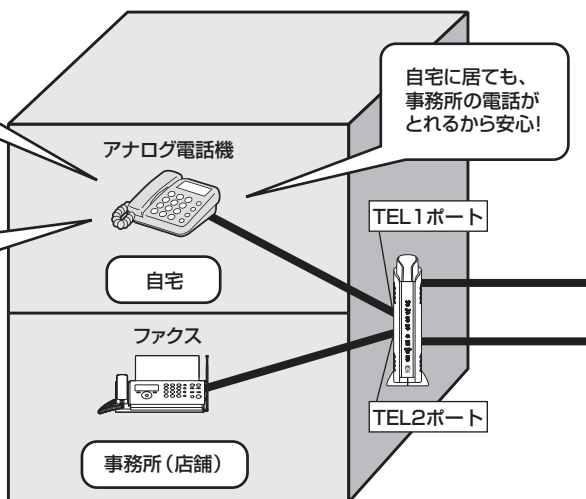
自宅用:03xxxx1111
(契約者電話番号)に着信したとき

ブルルルー、ブルルルー、…
ブルルルー、ブルルルー、…

事務所用:03xxxx2222
(追加電話番号)に着信したとき

ブルルッ、ブルルッ、…
ブルルッ、ブルルッ、…

事務所用:03xxxx2222
(追加電話番号)



3
ひかり電話
を利用する

●必要な付加サービス マイナンバー／追加番号

※2つの端末で同時通話を行いたいお客様は、複数チャンネル（ダブルチャンネル）をご契約ください。

●設定方法

【アナログ端末TEL1】（自宅側）

電話番号設定

電話番号	通知番号	着信番号	指定着信機能	指定着信番号	指定着信機能	指定着信番号	着信音選択
03xxxx1111	有効	有効	無効		無効		着信音1(P)
03xxxx2222	無効	有効	無効		無効		着信音2(P)

自宅側の「契約者電話番号」を有効にします

自宅側で「追加電話番号」の着信を有効にして、事務所（店舗）の電話番号への着信を着信音で区別します

【アナログ端末TEL2】（事務所側）

電話番号設定

電話番号	通知番号	着信番号	指定着信機能	指定着信番号	指定着信機能	指定着信番号	着信音選択
03xxxx1111	無効	無効	無効		無効		着信音1(P)
03xxxx2222	有効	有効	無効		無効		着信音1(P)

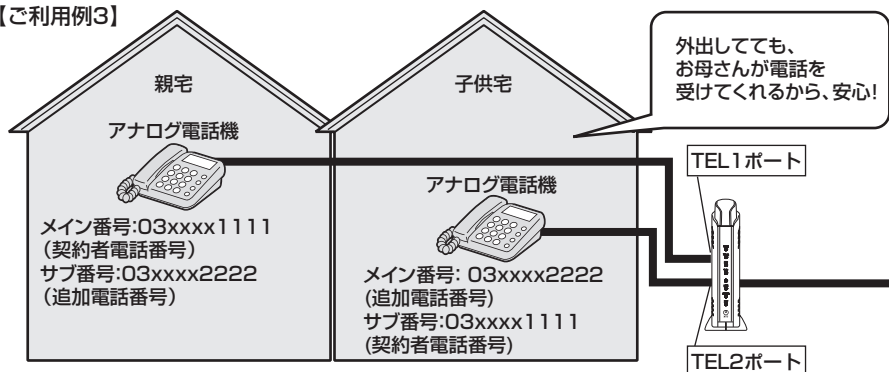
事務所（店舗）は「追加電話番号」を有効にします

自宅側で使用する「契約者電話番号」を無効にします

ひかり電話のご利用例

2世帯で電話を鳴り分けて使いたい！

【ご利用例3】



メイン番号に着信すると

ブルルルー、ブルルルー、…
ブルルルー、ブルルルー、…

サブ番号に着信すると

ブルルッ、ブルルッ、…
ブルルッ、ブルルッ、…

●必要な付加サービス

マイナンバー／追加番号

※2つの端末で同時通話を行いたいお客様は、複数チャンネル（ダブルチャンネル）をご契約ください。

●設定方法

【アナログ端末TEL1】（親宅側）

電話番号設定

電話番号	通知音	着信音	指定着信機能	指定着信番号	指定着信音	着信音選択
03xxxx1111	無効	無効	無効		無効	着信音1(R)
03xxxx2222	無効	無効	無効		無効	着信音2(GR)

親宅側の「契約者電話番号」を有効に
します

親宅側で「追加電話番号」の着信を有
効にして、子供宅の電話番号への着信
を着信音で区別します

【アナログ端末TEL2】（子供宅側）

電話番号設定

電話番号	通知音	着信音	指定着信機能	指定着信番号	指定着信音	着信音選択
03xxxx1111	無効	無効	無効		無効	着信音2(GR)
03xxxx2222	無効	無効	無効		無効	着信音1(R)

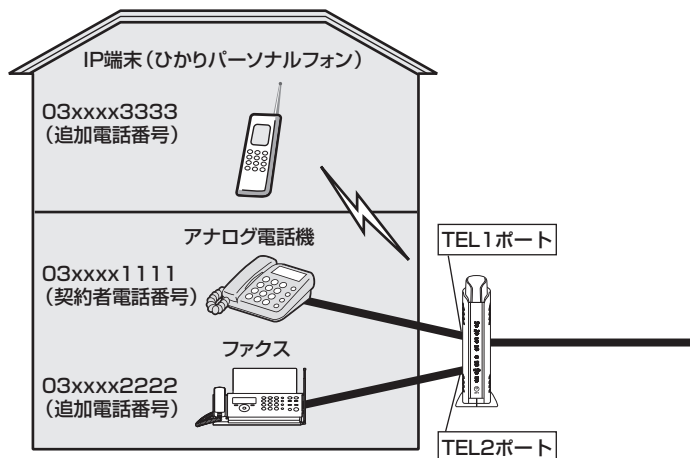
子供宅では「追加電話番号」を有効に
します

子供宅側で「契約者電話番号」の着信
を有効にして、親宅の電話番号への着
信を着信音で区別します

IP端末（ひかりパーソナルフォンなど）を利用したい！

【ご利用例4】

※以下で示すのは、【ご利用例1】にIP端末（ひかりパーソナルフォン）を増設した場合の例になります。



3
ひかり
電話
を利用
する

●必要な付加サービス マイナンバー／追加番号

※2つの端末で同時通話を行いたいお客様は、複数チャンネル（ダブルチャンネル）をご契約ください。

●設定方法

それぞれの端末で、使用する電話番号を有効にし、使用しない電話番号を無効にします

【アナログ端末TEL1】（アナログ電話機）

電話番号設定

電話番号	通知番号	着信番号	指定着信機能	指定着信番号	指定着信番号	着信音選択
03-1111	有効	有効	無効		無効	着信音1(R)
03-2222	無効	無効	無効		無効	着信音1(R)
03-3333	無効	無効	無効		無効	着信音1(R)

【アナログ端末TEL2】（ファクス）

電話番号設定

電話番号	通知番号	着信番号	指定着信機能	指定着信番号	指定着信番号	着信音選択
03-1111	無効	無効	無効		無効	着信音1(R)
03-2222	有効	有効	無効		無効	着信音1(R)
03-3333	無効	無効	無効		無効	着信音1(R)

【IP端末1】（ひかりパーソナルフォン）

電話番号設定

電話番号	通知番号	着信番号
03-1111	無効	無効
03-2222	無効	無効
03-3333	有効	有効

※IP端末の詳細な設定については、別途ご利用のIP端末の取扱説明書などをご参照ください。

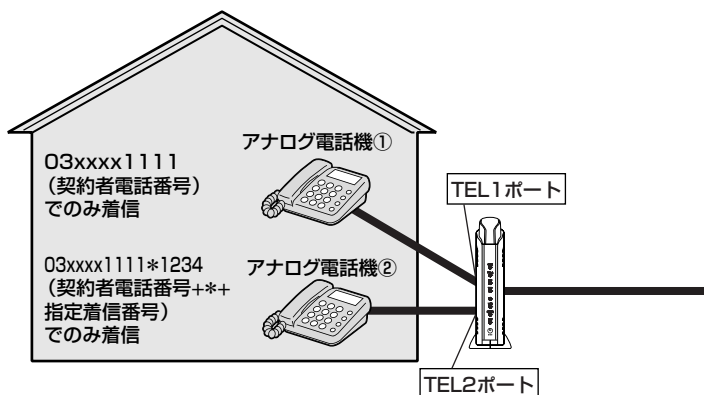
ひかり電話のご利用例

指定着信機能を利用して特定のアナログ端末で着信したい！

【ご利用例5】

「03xxxx1111」でかかってきた場合は、アナログ電話機①のみ着信させます。

「03xxxx1111*1234」でかかってきた場合は、アナログ電話機②のみ着信させます。



● 設定方法

【アナログ端末TEL1】（アナログ電話機①）

電話番号設定

電話番号	通知番号	着信番号	指定着信機能	指定着信番号	指定着信	着信音選択
0311111111	有効	有効	無効		無効	着信音1(P0)
0311111111	有効	有効	無効		無効	着信音1(P0)

「指定着信機能」を「無効」にします。

【アナログ端末TEL2】（アナログ電話機②）

電話番号設定

電話番号	通知番号	着信番号	指定着信機能	指定着信番号	指定着信	着信音選択
0311111111	有効	有効	有効	1234	有効	着信音1(P0)
0311111111	有効	有効	無効		無効	着信音1(P0)

「指定着信機能」を「有効」にします。

「指定着信番号」に「1234」を入力します。



お知らせ

- 本機能はアナログ端末のみで利用できる機能です。
- 指定着信番号で着信した場合は、キャッチホンはご利用いただけません。
- ガスの遠隔検針等でご利用いただけます。

電話機（アナログ端末）からひかり電話の設定をする

電話機からひかり電話の設定をするには

ひかり電話の設定はTEL1/TEL2ポートに接続した電話機から設定することができます。

●設定手順

設定手順は次のとおりです。次ページの設定例も参考にしてください。

1 ハンドセットを取りあげ、「ツー」という音を確認する



2 電話機のダイヤルボタンで設定項目の番号を押す

設定項目	
＊ ＊ ＊ ⑨ ①	サービス設定
＊ ＊ ＊ ⑨ ⑨	アナログ端末設定

➡ 手順4に進む

➡ 手順3に進む

3 設定項目が「アナログ端末設定」の場合は、「ポート番号」を押す 設定項目が「サービス」の場合は、手順4に進みます。

ポート番号	
①	TEL1
②	TEL2

4 「＊ 機能番号 ＊ 設定値 ㊦」と押す

機能番号（例）		設定値（例）	
⑨ ①	ナンバー・ディスプレイ設定	①	使用する
		②	使用しない

※同じ設定項目で複数の設定を行う場合は、手順3に戻って設定します。

※機能番号と設定値については、「■ 設定一覧」（P3-29）を参照してください。

5 すべての設定が終わったら、「㊦」と押す

設定が終了すると、「設定が完了しました。」と音声ガイダンスが流れます。

6 ハンドセットを置く



電話機（アナログ端末）からひかり電話の設定をする

〈設定例：TEL1ポートの電話機を「ナンバー・ディスプレイを使用しない」に設定する〉

1 ハンドセットを取りあげ、「ツー」という音を確認する



2 電話機のダイヤルボタンを 「[*][*][*][9][9][1][*][9][1][*][2][#][#]」と押す



設定が終了すると、「設定が完了しました。」と音声ガイダンスが流れます。

3 ハンドセットを置く



お知らせ

- 電話機から設定する場合は、電話機の電話回線ダイヤル種別を「PB」に設定してください。（「PB」にできない電話機からは、設定できません。）電話機の電話回線ダイヤル種別の設定方法は、電話機の取扱説明書などをご覧ください。
- 設定を中止するにはハンドセットを置いてください。
- 間違った番号をダイヤルすると、「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れます。いったんハンドセットを置いて、はじめから設定をやり直してください。
- 設定を間違えた場合や、中止した場合は、設定が無効になります。はじめから設定をやり直してください。
- 設定するTELポートが使用中の場合は、いったん使用が終了したあと、次の発着信から設定が有効になります。
- 1台の電話機で設定中に2台目の電話機から設定することはできません。
- ファームウェアの更新中、ファームウェアの更新予約中、当社のひかり電話設備の工事中、他の設定を実行中は、「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れます。電話機からの設定は行えません。
- 電話機からの設定を行うと、ひかり電話の通話や内線通話、着信音（着信中のナンバー・ディスプレイ表示など）、通信が途切れる場合があります。
- ひかり電話が使用できない場合は、電話機からの設定および内線通話をご利用になれません。

※ダイヤルボタンを押す間隔が30 秒以上あくと、設定が中止されます。

【サービス設定】（※※※⑨⑩）

3 ひかり電話を利用する

TEL2ポートの設定→ポート番号②を押す

3-29

電話機（アナログ端末）からひかり電話の設定をする

機能番号	開始操作	ポート番号 *	機能番号 *	設定値・設定内容	終了操作
	着信番号（☛P3-13）※1				
94	 * * * 9 9 または * 9 4 *			(着信番号)	## 
	※複数の番号を設定する場合は、「* (着信番号)」を繰り返して設定します。 P3-31の「お知らせ」を参照してください。				
	指定着信（☛P3-21）※1				
95	 * * * 9 9 または * 9 5 *			(着信番号) * (指定着信番号)	## 
	キャッチホン・ディスプレイ（☛P3-15）※2				
96	 * * * 9 9 または * 9 6 *			①：使用する ②：使用しない	## 
	ダイヤル桁間タイマ（☛P3-13）				
97	 * * * 9 9 または * 9 7 *			④：4秒 ⑤：5秒 ⑥：6秒 ⑦：7秒 ⑧：8秒	## 
	エコー・キャンセラ（☛P3-13）				
98	 * * * 9 9 または * 9 8 *			①：使用する ②：使用しない	## 
	通知番号（☛P3-12）				
00	 * * * 9 9 または * 0 0 *			(通知番号)	## 
	内線番号（☛P3-12）				
01	 * * * 9 9 または * 0 1 *			(内線番号)	## 
	※初期値は、TEL1ポート：1、TEL2ポート：2です。				
	着信音選択（☛P3-13）				
02	 * * * 9 9 または * 0 2 *			(着信番号) * ①：IR ②：SIR	## 
	※初期値は、外線用：IR、内線用：SIRです。				

※1 設定する場合は、P3-31の「お知らせ」を参照してください。

※2 ナンバー・ディスプレイ表示／非表示機能が有効の場合に設定できます。



お知らせ

●音質優先モード

ひかり電話使用中は「設定に失敗しました。再度設定してください。」とガイダンスが流れ、音質優先モードの設定はできません。

●優先着信ポート

・優先着信ポートを設定すると、自動的に次のように設定されます。

TEL1、2ポート：「内線番号」が「有効」に設定されます。

「割込音通知」は「使用しない」に設定されます。

すべてのIP端末：「内線番号」が「無効」に設定されます。

・次の場合は「設定に失敗しました。再度設定してください。」とガイダンスが流れ、優先着信ポートの設定ができません。

①TEL1、2ポートで同じ着信番号が設定されていない場合

②TEL1、2ポートで同じ着信番号が1つであり、指定着信番号が設定されていて、「指定なし着信」が「無効」に設定されている場合

●アナログポート無効化

優先着信ポートを有効に設定した場合、アナログポート無効化は設定できません。アナログポート無効化の設定を行うと「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れます。

TEL1、2ポートを無効に設定する場合は、優先着信ポートの設定を無効にしてください。アナログポート無効化とあわせて他の設定を一度に行った場合は、他の設定もやり直してください。

●割込音通知

優先着信ポートを有効に設定した場合、割込音通知は設定できません。割込音通知の設定を行うと「設定に失敗しました。再度設定してください。」とガイダンスが流れます。

割込音通知をご利用になる場合は、優先着信ポートの設定を無効にしてください。割込音通知とあわせて他の設定を一度に行った場合は、他の設定もやり直してください。

●着信番号

・着信番号を設定すると、着信番号に設定された電話番号と通知番号に設定されている電話番号以外は、着信しない設定になります。

<複数の電話番号を着信番号として設定するには>

複数の電話番号を着信番号として設定する場合は、「 (着信番号)」を繰り返して設定してください。

(例) TEL1ポートに着信番号「03XXXX1111」「03XXXX2222」を設定する場合



          03XXXX1111

 03XXXX2222   

・着信番号を設定するTELポートに指定着信番号が設定されている場合、「設定に失敗しました。再度設定してください。」とガイダンスが流れ、着信番号の設定ができません。

・着信番号の設定で着信番号を設定しなかった

(例：ダイヤルボタンを「       (または                        

ひかり電話で接続できる番号

ひかり電話で発着信できるサービス

ひかり電話では、以下の電話サービスとの発着信が可能です。

- ・ NTT 東日本／西日本の加入電話および ISDN
- ・ IP 電話サービス (050IP 電話サービス)
- ・ 国際電話 (世界約 200 の国と地域)
- ・ 他社の提供する OAB ～ J 電話サービス
- ・ 携帯電話、PHS

接続可否番号一覧

ひかり電話で接続できる番号は以下の通りです。(2011年2月現在)

電話番号	サービス名など	接続可否	電話番号	サービス名など	接続可否
0120	フリーアクセス／フリーダイヤルなど ※1	○	121	クレジット通話サービス	×
0170	伝言ダイヤル	×	134	ダイヤルQ2パスワード	×
0180	テレゴング テレドーム／テータドーム	×	135	特定番号通知機能	○
0190	エンジェルライン／あんないジョーズ	×	136	ナンバー・アナウンス／ナンバーお知らせ136	×
0570	ナビダイヤル	○ ※2	141	でんわばん、二重番号サービス	×
0800	フリーアクセスなど ※1	○	142	ボイスワープ	○
0910	公専接続	×	144	迷惑電話おことわりサービス	○
0990	ダイヤルQ2	×	145	キャッチホンⅡ	×
	義援金募集番組	○ ※7	146	キャッチホンⅡ	×
010	国際通話 ※6	○	147	ボイスワープ (ボイスワープセレクト機能)	○
020	ポケベル	×	148	ナンバー・リクエスト	○
050	IP電話	○	149	DDX-TP	×
060	UPT (eコール)	×	151	メンバーズネット	×
070	PHS ※3	○	152	メンバーズネット	×
080	携帯電話	○	159	空いたらお知らせ159	×
090	携帯電話	○	161	ファクシミリ通信網	×
100	100番通話 ※4	×	162	ファクシミリ通信網	×
104	番号案内 ※5	○	163	DDX-TP	×
106	コレクトコール (コミュニケーション扱い) ※4	×	164	DDX-TP	×
108	自動コレクトコール ※4	×	165	メール送受信	×
110	警察 (緊急通報)	○	166	ビデオテックス接続	×
113	故障受付	○	167	DDX-TP	×
114	お話し中調べ	×	169	DDX-TP	×
115	電報受付	○	171	災害用伝言ダイヤル	○
116	営業受付	○	177	天気予報	○
117	時報	○	184	発信者番号通知拒否	○
118	海上保安 (緊急通報)	○	186	発信者番号通知	○
119	消防 (緊急通報)	○			

※1 フリーダイヤルなどのご契約者がひかり電話を着信させない契約内容にしている場合、接続できません。

※2 NTTコミュニケーションズ株式会社が提供する「ナビダイヤル」のみ接続できます。

※3 発信先 (相手側) の PHS 端末が圏外、または電源が入っていない場合は、その旨をお知らせするガイダンスではなく、話中音が聞こえます。

※4 「100番通話 (100)」、「コレクトコール (106・108)」は、着信もご利用いただけません。

※5 ひかり電話から発信した場合、DIAL 104 サービス (案内された電話番号にそのまま接続できるサービス) はご利用いただけません。なお、加入電話・ISDN から発信して、DIAL 104 サービスにて案内された番号がひかり電話の場合は着信可能です。

※6 国際フリーダイヤルなど「010-800」で始まる番号) には接続できません。

※7 大規模災害発生時に株式会社テレビ朝日が提供する「テレビ朝日ドラえもん募金」、株式会社東京放送ホールディングスが提供する「JNN・JRN共同災害募金」をご利用いただけます。
 ・「ドラえもん」は株式会社小学館集英社プロダクションの登録商標です。
 ・「JNN」「JRN」は株式会社東京放送ホールディングスの登録商標です。

ひかり電話で以下の操作はできません

- ・ 電気通信事業者を指定した発信 (0036 など番号の頭に「00XY」を付与する番号)
- ・ シャープダイヤル (#+4桁の番号サービス) への発信

通信機器の種類によっては、ひかり電話の付加サービスをご利用いただけない、または設定の変更が必要となる場合があります。

4 パソコンを設定する

本商品に接続したあとはパソコンの設定が必要です。ここでは設定の手順について説明します。

設定の流れ4-2

パソコンを設定する

(Windows® 7/Windows Vista®の場合)

.....4-3

Webブラウザの設定4-6

Webブラウザによる設定について

.....4-8



設定の流れ

本商品を接続してパソコンの設定を行うまでの基本的な流れを示します。

お使いのOSが該当するページをご参照ください。

本商品の推奨OSおよびWebブラウザは以下の通りです。

OS : Windows® XP SP3 32ビット版、Windows Vista® SP2 32ビット版、
Windows® 7 (日本語版)

Mac OS X

Webブラウザ : Windows : Internet Explorer 6.0 (サービスパック2) 以上、
Internet Explorer 7.0以上、Internet Explorer 8.0

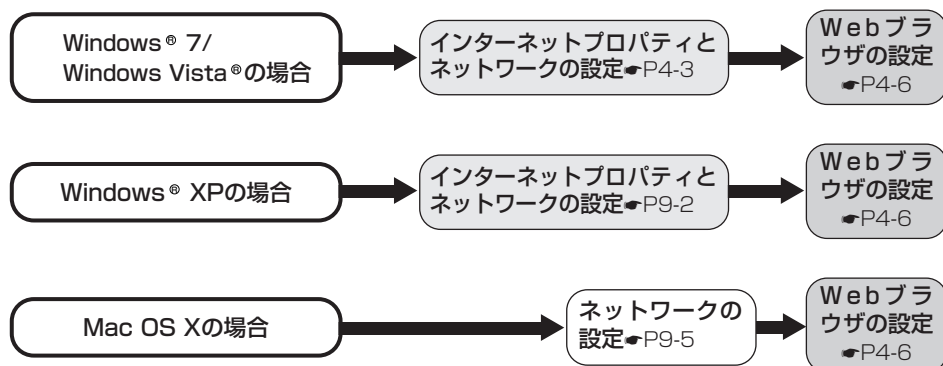
Mac OS X : Internet Explorer 5.2.2以上

Mac OS X 10.4以降 : Safari 4.0.5以上

※本書では、Windows® 7 は、Windows® 7 Starter、Windows® 7 Home Premium、Windows® 7 Professional、Windows® 7 Enterprise および Windows® 7 Ultimate の各日本語版かつ32 ビット (x86) 版/64 ビット (x64) 版の略として使用しています。

※本書では、Windows Vista® は、Windows Vista® Home Basic、Windows Vista® Home Premium、Windows Vista® Business およびWindows Vista® Ultimate の各日本語版かつ32 ビット (x86) 版の略として使用しています。

※上記以外のOSおよびWebブラウザでの動作は保証いたしません。(2011年2月現在の情報です。)



お知らせ

- 本商品をご使用になる場合は、フレッツ接続ツール (PPPoE) をインストールする必要はありません。

パソコンを設定する (Windows® 7/Windows Vista® の場合)

下記の手順に従って、パソコンを設定します。

Windows® 7/Windows Vista® の設定により表示内容が異なる場合があります。

インターネットプロパティとネットワークの設定

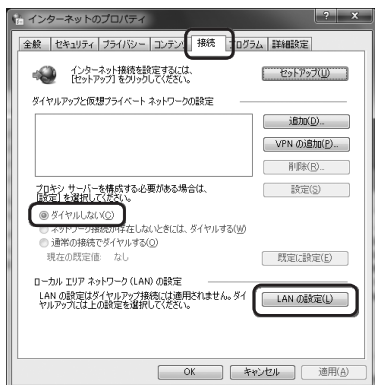
これまでインターネットに接続していた場合は、インターネットプロパティの内容を確認してください。以下の画面例はInternet Explorer 8です。その他のブラウザをご利用の場合は、各ブラウザのヘルプを参照してください。

1 「スタート」 - 「コントロールパネル」をクリックします

2 「ネットワークとインターネット」のアイコンをクリックし、「インターネットオプション」のアイコンをクリックします

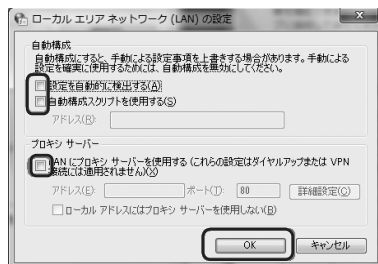
3 「接続」タブをクリックし、「ダイヤルしない」を選択します

※ダイヤルアップを実施していない場合はチェックできないようになっています。「ダイヤルしない」にチェックがついていることを確認してください。



4 「LANの設定」をクリックします

5 「設定を自動的に検出する」、「自動構成スクリプトを使用する」、「LANにプロキシサーバーを使用する」のチェックを外します



6 「OK」をクリックします

7 「OK」をクリックします

4
パソコンを
設定する



お知らせ

- Internet Explorer を初めて起動したとき、「インターネット接続ウィザード」が表示されることがあります。この場合「キャンセル」をクリックしてウィザードをいったん終了してください。「インターネット接続ウィザード」の詳しい設定手順は、Internet Explorer のヘルプなどを参照ください。

(次ページに続く)

パソコンを設定する (Windows® 7/Windows Vista® の場合)

8 「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックして、「ネットワークと共有センター」の画面左に表示される「アダプターの設定の変更」をクリックします

※Windows Vista® の場合

「タスク」欄の「ネットワーク接続の管理」をクリックします。

9 「ブロードバンド」の欄に、設定がされている場合は、表示されているアイコンを右クリックして、表示されるサブメニューの「既定の接続を解除」をクリックしてください

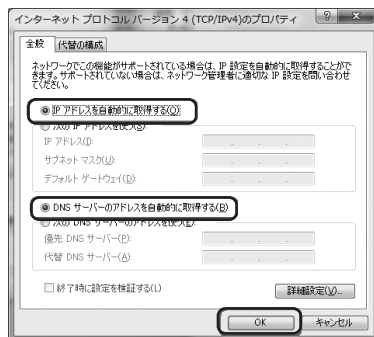
10 「ローカルエリア接続」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします

※「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」または「続行」をクリックしてください。

11 「インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)」を選択して、「プロパティ」をクリックします

※一覧に表示されているチェックは外さないでください。

12 「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」をチェックします



13 「OK」をクリックします

14 「OK」をクリックします



ネットワークの設定を確認する

パソコン（LANカード）と本商品が正しく接続・設定されているか確認したい場合、Windows® 7/Windows Vista®ではコマンドプロンプトを起動して操作します。

1 「スタート」－「すべてのプログラム」－「アクセサリ」－「コマンドプロンプト」をクリックします

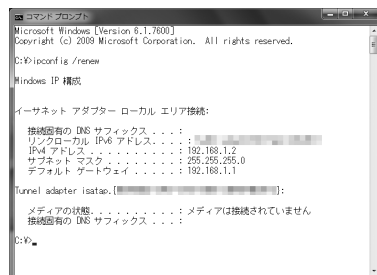
2 **ipconfig コマンドを実行します**
コマンドプロンプトが開いたら、キーボードから半角英数字で「ipconfig」と入力し、「Enter」キーを押します。
ipconfig コマンドを実行すると、

- ・ IP Address (IPv4アドレス)
- ・ Subnet Mask (サブネットマスク)
- ・ Default Gateway (デフォルトゲートウェイ)

などの情報が表示されます。パソコンに各種情報が正しく設定されていることを確認してください。

IP アドレスは192.168.1.2 ~ 192.168.1.11 の範囲のいずれかが設定されます。(初期設定状態の場合)

4
パソコンを
設定する



ワンポイント

- IPアドレスとデフォルトゲートウェイが正しく設定されていない場合は、半角英数字で「ipconfig /renew」と入力してください。
IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの各情報が再度表示されます。
- 各情報が正常に設定されていない場合は、パソコンの電源を切ってから電源やケーブルなどの接続を確認し、再起動してください

Webブラウザの設定

本商品は、各種の設定、データ変更、状態確認などをWebブラウザで実施します。
Webブラウザを使用するための設定について説明します。

●Windows® をご利用の場合

Internet Explorer 6.0（サービスパック2）以上、Internet Explorer 7.0以上またはInternet Explorer 8.0がインストールされていることを確認してください。インストールされていない場合には、雑誌の付録などのCD-ROMからインストールを行ってください。また、お客様にインターネット環境が既にある場合は、マイクロソフト社のホームページから最新のブラウザをダウンロードすることができます。

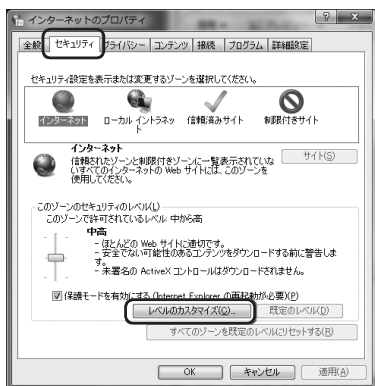
JavaScript機能の設定、キャッシュ機能の設定を確認してください。以下はInternet Explorer 8.0のイメージで説明していますが、ほかのバージョンのInternet Explorerでも同様の手順で実施することができます。

Webブラウザの設定を確認する

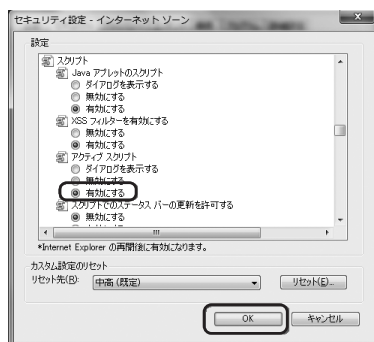
1 「スタート」－「コントロールパネル」をクリックします

2 「ネットワークとインターネット」をクリックし、「インターネットオプション」をクリックします

3 「セキュリティ」のタブを選択し、「レベルのカスタマイズ」をクリックします



4 スクリプト項目のアクティブスクリプトの「有効にする」をチェックします



5 「OK」をクリックします

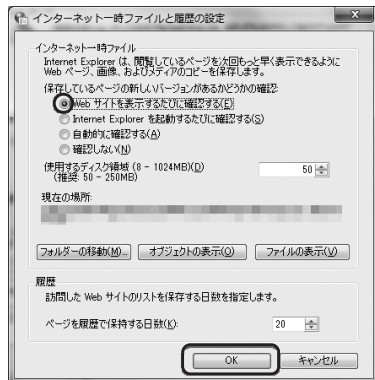
6

「全般」のタブをクリックし、「閲覧の履歴」項目（または「インターネット一時ファイル」）にある「設定」をクリックします



7

「Webサイトを表示するたびに確認する」（または「ページを表示するごとに確認する」）をチェックします



8

「OK」をクリックします

9

「OK」をクリックします

●Mac OS をご利用の場合

Internet Explorer 5.2.2 以上、またはSafari 4.0.5以上がインストールされていることを確認してください。



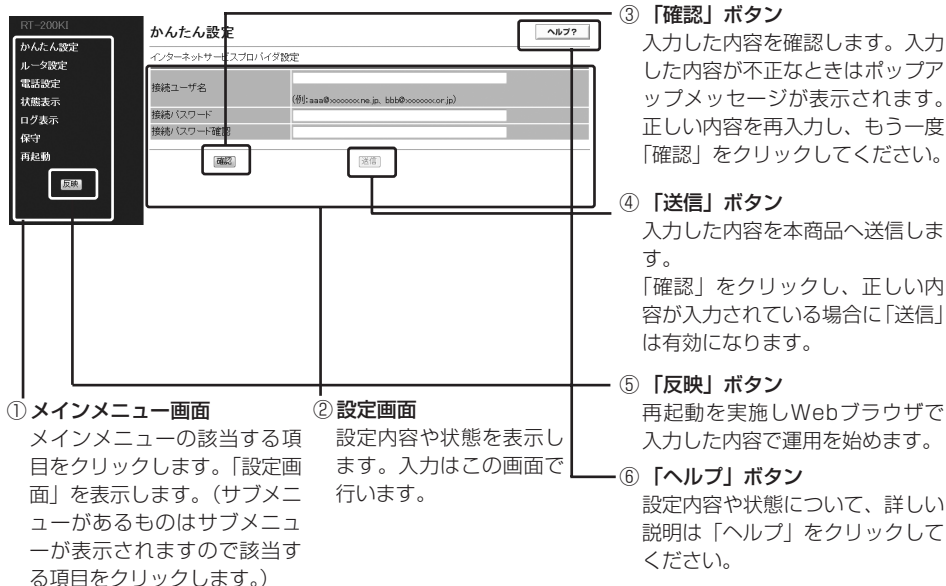
お知らせ

- Internet Explorerを初めて起動したとき、「インターネット接続ウィザード」というダイアログが起動することがあります。この場合は「キャンセル」をクリックして、ウィザードを終了してください。「インターネット接続ウィザード」の詳しい設定手順は、Internet Explorerのヘルプなどをご覧ください。
- ブラウザの「戻る」、「進む」は使用しないでください。「戻る」、「進む」を使用した場合の動作は保証しません。

Webブラウザによる設定について

本商品のデータ変更や状態確認はWebブラウザにて実施します。本商品の設定画面は、「5章 インターネットに接続する」の「かんたん設定」(P5-2)の手順1～8を実施することによりWebブラウザに表示されます。

Web画面の各部の名称



設定したデータで運用するには

Webブラウザ上での設定操作は、以下の手順にて行います。

1 各設定画面で設定項目の入力をします

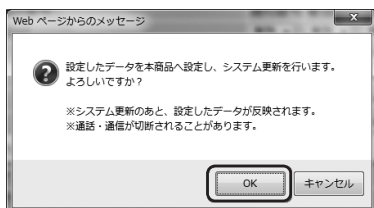
2 「確認」をクリックします

3 「送信」をクリックします

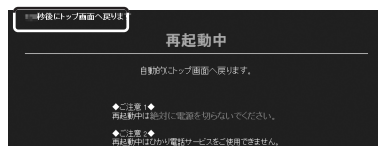
4 他に設定するものがあれば、画面左のメニュー項目から選択し、1～3を繰り返します

5 「反映」をクリックします

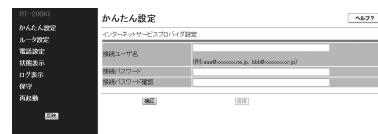
6 「OK」をクリックします



7 残りの待ち時間を表示します。しばらくお待ち願います



8 設定したデータを反映後、「かんたん設定」画面に戻ります



4
パソコンを
設定する

STOP お願い

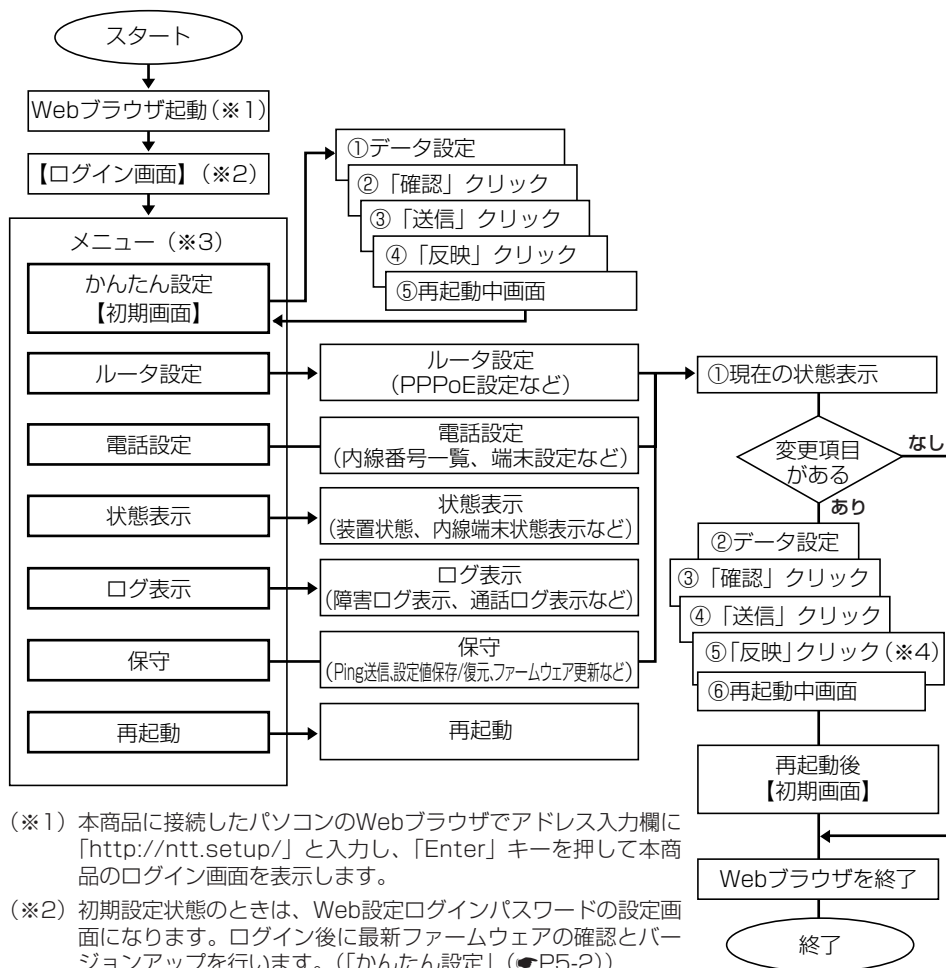
- 再起動中は、電源を切らないでください。回復不能な故障の原因になることがあります。

お知らせ

- 「反映」をクリックすると、通話・通信が切断されます。

操作の流れ

操作の基本的な流れを示します。



(※1) 本商品に接続したパソコンのWebブラウザでアドレス入力欄に「http://ntt.setup/」と入力し、「Enter」キーを押して本商品のログイン画面を表示します。

(※2) 初期設定状態のときは、Web設定ログインパスワードの設定画面になります。ログイン後に最新ファームウェアの確認とバージョンアップを行います。(「かんたん設定」(P5-2))

(※3) メニューの項目をクリックすると画面は常時切り替えができます。

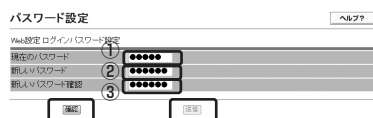
(※4) すべてのデータを設定後に実施します。(サブメニュー単位に実施する必要はありません。「確認」「送信」クリックはサブメニュー単位に実施してください。)再起動後、設定したデータが反映されます。

パスワード設定

Web設定ログインパスワードを変更することができます。

1 メニューから「保守」をクリックし、サブメニューから「パスワード設定」をクリックします

2 パスワード設定画面が表示されます



①現在のパスワード

現在使用しているパスワードを入力します。

②新しいパスワード

新しいパスワードを入力します。
設定範囲：1～10文字以内。半角英数字およびASCIIコードの記号（ただし、記号「」」「」スペースを除く）

※ ASCIIコードの詳細については、「ASCIIコード表」（P9-14）を参照してください。

③新しいパスワード確認

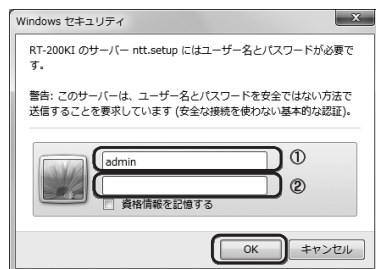
確認のため、もう一度新しいパスワードを入力します。

3 「確認」をクリックします

4 「送信」をクリックします

※ 内容が不正な場合は「送信」が有効になりません。手順2に戻り正しい値を再度入力し「確認」をクリックします。

5



①ユーザ名

「admin」を入力します。

②パスワード

手順2-②で入力した新しいパスワードを入力します。

6 「OK」をクリックします

7 「反映」をクリックします

8 再起動終了後、設定した内容が有効になります

4
パソコンを
設定する



お知らせ

- 「反映」をクリックせずに再起動した場合、新しいパスワードが本商品に反映されませんのでご注意ください。

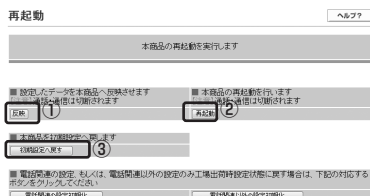
Webブラウザによる設定について

再起動

本商品の再起動を行うことができます。設定を変更したあと、装置に反映させる場合に利用します。また、本商品を初期設定に戻す場合に利用します。

1 メニューから「再起動」をクリックします

2 再起動画面が表示されます



① 反映

Webブラウザで設定したデータを本商品へ反映し、再起動を行います。

※「反映」をクリックすると、通話・通信が切断されます。

② 再起動

再起動を行います。

※「再起動」をクリックすると、通話・通信が切断されます。

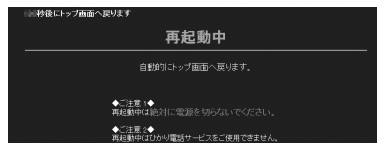
③ 初期設定へ戻す

本商品の設定を初期設定に戻し再起動を行います。

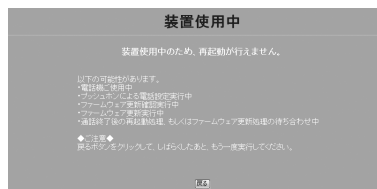
※「初期設定へ戻す」をクリックした場合は、お客様が設定したデータはすべて失われます。

「セットアップする」(P1-7)をお読みになり、もう一度設定し直してください。

3



※通話中にボタンをクリックした場合、操作は無効になります。以下の画面を表示しますので「戻る」をクリックし、通話終了後もう一度実行してください。



4

再起動終了後、「かんたん設定」画面に戻ります

※手順2で「初期設定へ戻す」を選択し「完全初期化」を行った場合には、「初期設定」画面が表示されます。「電話関連の設定初期化」または「電話関連以外の設定初期化」を選択して「部分初期化」を行った場合には、電話関連の設定、もしくは電話関連以外の設定のみを初期化します。(「Webブラウザによる初期化」(P9-9))



お願い

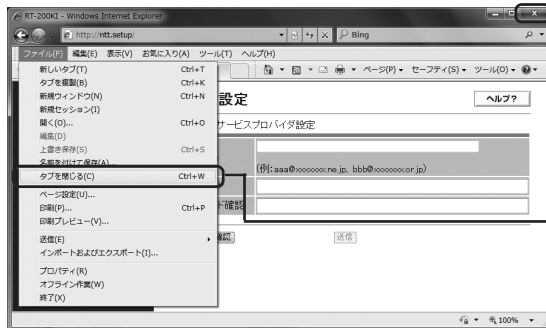
- 再起動中は、電源を切らないでください。回復不能な故障の原因になることがあります。



お知らせ

- 「反映」または「再起動」をクリックすると、通話・通信が切断されます。

Webブラウザによる設定の終了



※Webブラウザの右上の×ボタンをクリックして終了することもできます。

複数の画面をタブブラウザでご使用の場合は、「RT-200KI」のタブの×ボタンをクリックしてください。

Webブラウザの[ファイル]－[タブを閉じる]を選択し、クリックしてWebブラウザ設定画面を終了します

4
パソコンを
設定する



お知らせ

- 「反映」をクリックせずにWebブラウザを閉じた場合は、設定内容は本商品に反映されませんのでご注意ください。

5 インターネットに接続する

本商品と接続したパソコンからインターネットをご利用するためには、本商品に設定が必要です。ここでは設定の手順について説明します。

かんたん設定	5-2
インターネット接続の確認	5-7
フレッツ・スクウェアへの接続	5-8

設定の手順を
説明します。



Webブラウザで基本的な設定をします。



ワンポイント

- ひかり電話開通日より前から本商品にてインターネット接続を行った場合は、ひかり電話開通日を過ぎててもひかり電話がご利用いただけません。その場合には、本商品の電源を入れ直すことでご利用可能となります。また、マイナンバー／追加番号を追加されるなど、ひかり電話の契約内容を変更された場合においても、新契約での利用開始日に必ず電源を入れ直してください。
- 本商品に設定を行って、インターネットやひかり電話をご利用ください。
 - (1) 「フレッツ接続ツール」を利用されていたお客様
いままでお使いの「フレッツ接続ツール」はアンインストールしてください。本商品にプロバイダから通知された情報による設定を行っていただくと、接続は本商品が行います。
 - (2) ISDN-TA、またはブロードバンドルータを利用されていたお客様
プロバイダから通知された設定情報（Bフレッツ対応）を本商品に設定してください。インターネット接続とひかり電話の両方をご利用できるようになります。本商品をご利用になることで、いままでお使いのISDN-TAやブロードバンドルータは不要になります。
 - (3) 無線LANをご利用の場合、現在までご利用の無線LANカードドライバのアンインストールを実施してください。無線LANカードドライバのアンインストールは、各製品の取扱説明書を参照してください。

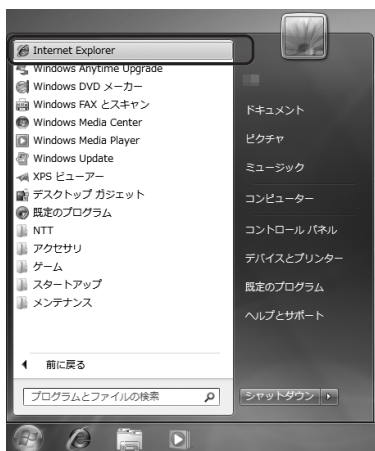
1

本商品に接続したパソコンで「スタート」-「すべてのプログラム」から「Internet Explorer」アイコンをクリックします

2

「アドレス」欄に「http://ntt.setup/」と入力し、「Enter」キーを押します

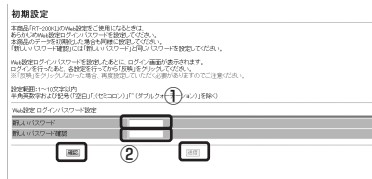
※ 半角文字で入力してください。



3

「初期設定」画面が表示されます

※2回目以降はこの画面は表示しません。



①新しいパスワード

本商品にログインするためのWeb設定ログインパスワードを入力します。

半角英数字およびASCIIコードの記号(ただし、「」」「:」スペースを除く)を含む1文字以上10文字以内

- Web設定ログインパスワードはメモしておくことをお勧めします。

Web設定ログインパスワード：

※ASCIIコードの詳細については「ASCIIコード表」(●P9-14)を参照してください。

②新しいパスワード確認

同じパスワードを入力します。

4

「確認」をクリックします

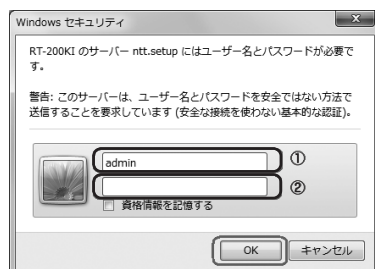
5

「送信」をクリックします

6

「OK」をクリックします

7



①ユーザ名

「admin」を入力します。

②パスワード

手順3で設定したWeb設定ログインパスワードを入力します。

8

「OK」をクリックします



お知らせ

- 「接続回線検索中」画面が表示される場合は、CONFIGランプが緑点灯することを確認したあと、Internet Explorerを閉じて、再度手順1から設定を行ってください。

(次ページに続く)

9

「初期情報設定」画面が表示されます

●ひかり電話とインターネット
をご利用になる場合

①接続ユーザ名

プロバイダから指定された接続ユーザ名(※)を入力してください。

②接続パスワード

プロバイダから指定された接続パスワード(※)を入力します。画面上では「●」で表示されます。

③接続パスワード確認

同じパスワードを入力します

※ プロバイダによって接続ユーザ名、接続パスワードの呼び方が異なります。

●ひかり電話のみご利用になる場合

①インターネット接続先を設定
しない場合

「こちら」をクリックします

手順12へお進みください。

10

「確認」をクリックします

11

「送信」をクリックします

12

「OK」をクリックします

13

ファームウェアが最新のものが
確認しています



●更新するファームウェアがあ
る場合

最新のファームウェアにバージョンアップ
します。

残りの待ち時間を表示します。
しばらくお待ち願います。



ワンポイント

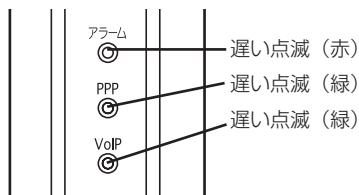
- 「初期情報設定」画面でインターネットサービスプロバイダ設定を行わなかった場合、「かんたん設定」画面(●P5-6)にてインターネットサービスプロバイダ設定を行うことができます。

STOP

お願い

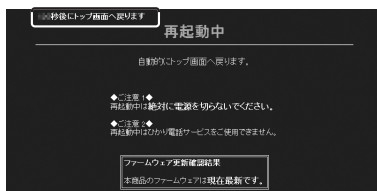
- 「初期情報設定」画面が表示されない場合には、本商品のランプ表示をご確認の上、「トラブルシューティング」(●P8-7～8-9)を参照して対処してください。
- ファームウェア更新確認中に電源を切らないでください。回復不能な故障の原因になることがあります。
- バージョンアップ中に電源を切らないでください。回復不能な故障の原因になることがあります。

システム更新中は本商品のランプ表示が以下になることを確認してください。



●更新するファームウェアがない場合

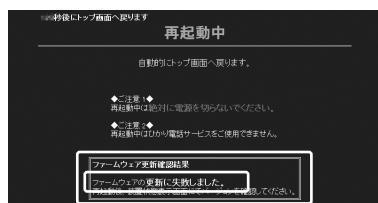
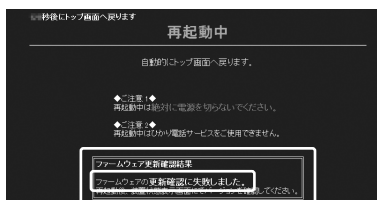
残りの待ち時間を表示します。しばらくお待ち願います。



●エラーメッセージが表示された場合

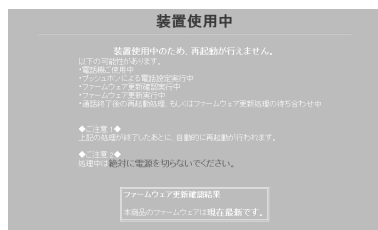
(1) ファームウェア更新処理に失敗した場合

更新確認または更新に失敗して以下のような画面が表示された場合は、画面の指示にしたがって再起動後に「装置状態表示画面」にてバージョンを確認してください。(「バージョンアップ方法」(●P7-12))

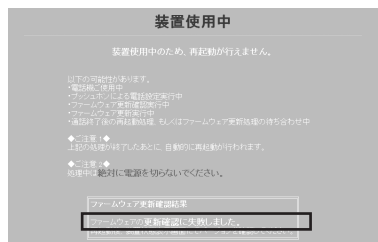


(2) 装置使用中の場合

通話中などの装置使用中のときは、以下のような画面表示になり、装置使用中の処理が終了後に自動的に再起動が行われます。



画面の下部に「ファームウェアの更新確認に失敗しました」、または「ファームウェアの更新に失敗しました」と表示されている場合は、画面の指示にしたがって再起動後に「装置状態表示画面」にてバージョンを確認してください。(「バージョンアップ方法」(●P7-12))



(次ページに続く)

14

再起動が終了すると「かんたん設定」が表示されます

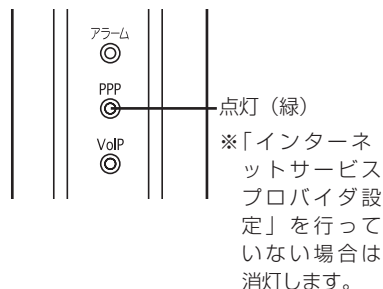
かんたん設定 ヘルプ?

インターネットサービスプロバイダ設定

接続ユーザ名	*****
	(例: aaa@xxxxxxxx.jp, kkk@xxxxxxxx.jp)
接続パスワード	*****
接続/スワート設定	*****

確認 戻る

(※) 「インターネットサービスプロバイダ設定」を行った場合は、PPPランプが緑点灯していることを確認してください。



お知らせ

- プロバイダからDNSサーバアドレスを指定されている場合は「かんたん設定」を行ったあと、「PPPoE設定」画面で「DNSサーバアドレス」を設定してください。(詳細取扱説明書「設定項目説明ーPPPoE設定」)
- 「PPPoE設定」画面の「セッション設定」で、「接続先1」以外が「メインセッション」に設定されている場合、「かんたん設定」を行うと、「メインセッション」は「接続先1」が選択されます。
- 既に、「接続先1」に入力された内容がある場合、後から「かんたん設定」を実施することによって、「接続先1」の内容は「かんたん設定」で設定した内容に上書きされます。同様に「使用するセッション」は「接続先1」の内容に上書きされます。

インターネット接続の確認

かんたん設定後、インターネット接続ができるかどうか確認します。

1 本商品に接続したパソコンで Internet Explorer を起動し、「アドレス」欄に「http://www.ntt.co.jp/」と URL を入力して「Enter」キーを押します

2 ホームページが表示されます



お知らせ

- Internet Explorer を初めて起動したとき、「インターネット接続ウィザード」が表示されることがあります。この場合「キャンセル」をクリックしてウィザードをいったん終了してください。（「インターネット接続ウィザード」の詳しい設定手順は、Internet Explorer のヘルプをご参照ください。）

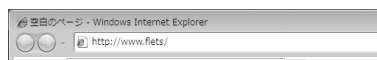
フレッツ・スクウェアへの接続を設定した場合は次の手順で接続してみましょう。

1 Webブラウザ（Internet Explorer®など）を起動します

2 「フレッツ・スクウェア」のURLを入力し、ページを開きます

フレッツ・スクウェアへ接続します。

※接続方法は、詳細取扱説明書「PPPoE接続（マルチセッション）を用いてフレッツ・スクウェアへ接続するには」を参照してください。



フレッツ・スクウェアによるサービスをお楽しみください。



お知らせ

- 提供条件、接続方法などの詳細はNTT東日本／NTT西日本のホームページなどをご覧ください。
NTT東日本ホームページ：http://flets.com/
NTT西日本ホームページ：http://flets-w.com/

6 無線LANを利用する

本商品を無線LANアクセスポイントとして利用する場合の設定について説明します。

無線LAN設定の流れ・・・・・・・・・・ 6-2

本商品への無線LANカードの
取り付け・・・・・・・・・・ 6-3

パソコンへ無線LANカードの
設定をする・・・・・・・・・・ 6-4

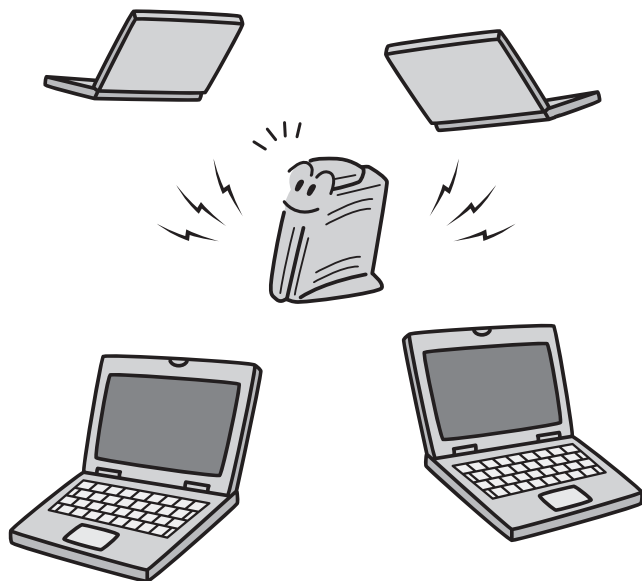
本商品とパソコンの設定・・・・・・・・ 6-6

パソコンに装着した無線LANカードとの
無線LANの設定をする
(無線LAN簡単接続機能)・・・・ 6-8

ゲーム機との無線LANの設定をする
(らくらく無線スタート)・・・・ 6-12

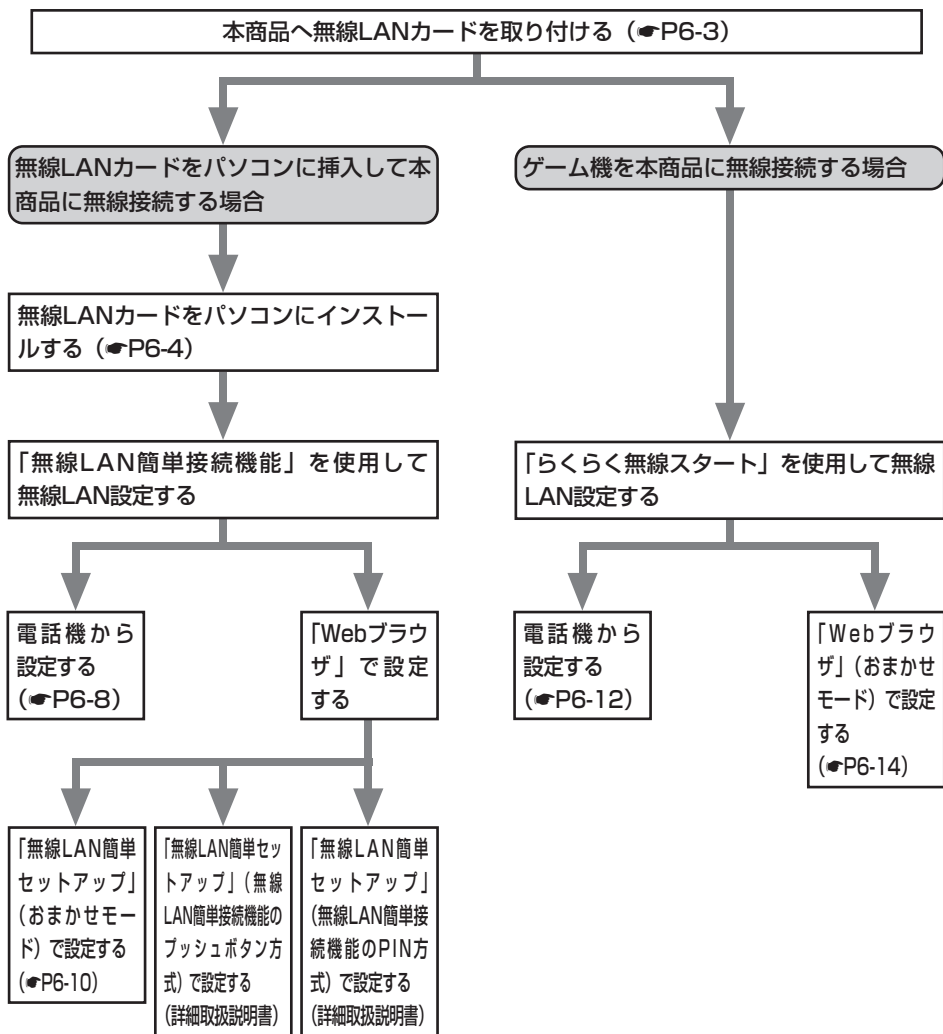
Windows® 7との無線LANの設定をする
(手動接続)・・・・・・・・・・ 6-17

電話機から無線LANの設定を
変更する・・・・・・・・・・ 6-19



無線LAN 設定の流れ

本商品で無線LANをご利用になるには次の手順で設定を行ってください。



おまかせモードを起動すると、設定する無線LAN端末の設定モードに合わせて、「無線LAN簡単接続機能（押しボタン方式）」または「らくらく無線スタート」で設定を開始します。本書では、おまかせモードを使用した設定方法を記載しています。

STOP お願い

- 手動で無線LAN設定を行なう手順については、詳細取扱説明書の無線LAN設定の記載を参照してください。
- Windows® 7搭載パソコンの内蔵無線により本商品と無線LAN接続を行う場合は「Windows® 7との無線LANの設定をする（手動接続）(●P6-17)」を参照して下さい。

本商品への無線LANカードの取り付け

本商品の拡張カードスロットに無線LANカード「SC-32KI」を装着することにより、無線LAN機能をご利用になれます。

- 装着のときは、本商品の電源を切った状態で取り付けてください。
- 本商品に装着できる無線LANカードは「SC-32KI」のみです。
- パソコンに無線LANカードを装着して本商品で無線LAN機能を使用される場合には、パソコンのLANカードまたはLANボード機能を停止させないと無線LANカードが使用できない場合があります。無線LANカードの取扱説明書をご覧ください。
- 無線LANカードを増設する場合、無線LANカードを装着したパソコンは、10台以下でのご使用をお勧めします。

1 本商品のACアダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜きます

2 無線LANカード「SC-32KI」を拡張カードスロットの奥まで確実に装着します

無線LANカードは図の通り、本商品のランプ側を右にして無線LANカードのランプが見える方向で正しく装着してください。誤った方向で装着すると本商品や無線LANカードが破損する場合があります。

カードのランプが見える側を手前へ向けてください。

無線LANカード

本商品の正面（電源ランプなど複数のランプが並んでいる方向）

※装着のときは、本商品の電源を切った状態で取り付けてください。

3 本商品のACアダプタ（電源プラグ）を電源コンセントに接続します

無線LANカードのPWRランプとLINKランプが同時に緑点滅することを確認してください。

6
無線LAN
を利用する



注意

- 本商品から無線LANカードを取り外すときは、本商品の電源を切った状態で取り外してください。

STOP

お願い

- 電源を入れ直す場合は、10秒以上の間隔を空けてください。

ここでは、Windows® 7およびWindows Vista®のパソコンにSC-32KIを接続してご使用になる場合を例に説明しています。

インストール

SC-32KIをパソコンで使用するには、「ドライバ」と「ユーティリティ」と呼ばれるソフトウェアをパソコンにインストールする必要があります。インストールは、SC-32KIに付属の「SC-32KI専用CD-ROM」をパソコンにセットして行います。SC-32KIに付属の「SC-32KI専用CD-ROM」では、「ドライバ」およびSC-32KIを設定するための「SC-32設定用ユーティリティ」を同時にパソコンにインストールします。

1

パソコンを起動します

この時点では、SC-32KIをパソコンのPCカードスロットに挿入しないでください。

2

付属の「SC-32KI専用CD-ROM」をCD-ROMドライブにセットします

Windows® 7の場合

※【自動再生】画面が表示された場合は、[メディアからのプログラムのインストール/実行] に表示されたプログラムをクリックします。

※【ユーザーアカウント制御】画面が表示されたら [はい] をクリックします。

Windows Vista®の場合

※【自動再生】画面が表示された場合は、[プログラムのインストール/実行] に表示されたプログラムをクリックします。

※【ユーザーアカウント制御】画面が表示されたら [続行] をクリックします。

3

SC-32KIのユーティリティやドライバをアンインストールする確認画面が表示された場合は [OK] をクリックします

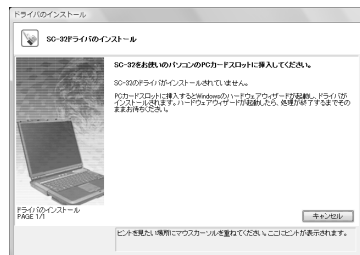
4

ソフトウェア使用許諾契約書が表示されたら、内容をよくお読みのうえ、内容に同意される場合は [次へ] をクリックします

SC-32設定用ユーティリティのインストールが始まります。

5

SC-32設定用ユーティリティのインストールが完了すると、SC-32ドライバのインストール画面が表示されるので、パソコンのPCカードスロットにSC-32KIを挿入します



[ドライバのインストール] 画面が表示されている間はそのまましばらくお待ちください。

ドライバのインストールが完了します。

 お願い

- Windows® 7、Windows Vista®およびWindows® XPでは、管理者権限を持つユーザ（Administratorなど）でログオンしてください。それ以外のユーザ名でログオンすると、正常にインストールできません。
- インストール時に起動中のソフトウェアがある場合は、データなどを保存してから、そのソフトウェアを終了させてください。
- インストール時にSC-32設定用ユーティリティ以外の無線ユーティリティが起動している場合は、その無線ユーティリティを終了のうえ、アンインストールしてください。
- 無線LANをご利用の場合、現在までご利用の無線LANカードドライバのアンインストールを実施してください。無線LANカードドライバのアンインストールは、各製品の取扱説明書などをご参照ください。

 お知らせ

- ドライバとは、SC-32KIをパソコン上で正しく動作させるためのソフトウェアです。
- ユーティリティとは、無線ネットワーク名（SSID）または暗号化などの無線通信の設定を行うソフトウェアのことです。SC-32KIのユーティリティの名称は、「SC-32設定用ユーティリティ」です。
- SC-32KIは、Windows® 7、Windows Vista® SP2およびWindows® XP SP3それぞれの32ビット日本語版でのみご利用が可能です。

本商品とパソコンの設定

インストール完了の確認

ここでは、ドライバとユーティリティが正しくインストールされたかを確認する方法を説明します。

- 1** [スタート] (Windows® のロゴボタン) - [コントロールパネル] を選択します



- 2** [システムとセキュリティ] をクリックし、[システム] をクリックします

Windows Vista®の場合

[システムとメンテナンス] をクリックし、[システム] をクリックします。

Windows® XPの場合

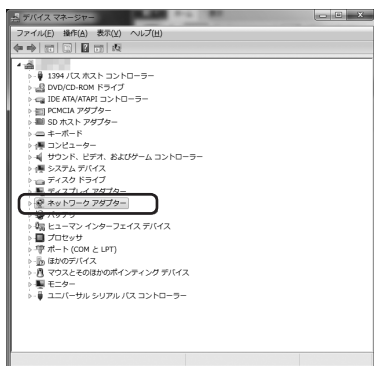
[パフォーマンスとメンテナンス] - [システム] の順にクリックし、[ハードウェア] タブをクリックします。

- 3** [デバイスマネージャー] をクリックします

※Windows® 7/Windows Vista®の場合は、[ユーザーアカウント制御] 画面が表示されたら [はい] または [続行] をクリックします。



- 4** 「ネットワークアダプター」をダブルクリックします

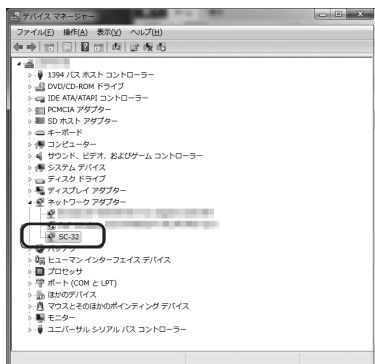


「SC-32」が表示されます。

Windows Vista®の場合

[ネットワークアダプタ] をダブルクリックします。

5 「SC-32」をダブルクリックします



6 「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されていることを確認します



7 [OK] をクリックします 以上でインストールの確認は終了です。

パソコンに装着した無線LANカードとの無線LANの設定をする（無線LAN簡単接続機能）

「無線LAN簡単接続機能」を使用して、無線LANカードを装着したパソコンと本商品を無線接続するための設定を行います。

本商品の「無線LAN簡単接続機能」の起動方法には、以下の方法があります。

●電話機から設定する（☛下記）

●Webブラウザで設定する

・おまかせモード（らくらく無線スタート&無線LAN簡単接続機能）（☛P6-10）

・「無線LAN簡単接続機能」

※「無線LAN簡単接続機能」については詳細取扱説明書を参照してください。

●ひかり電話に対応したIP端末で外線通話中、他の設定を実行中は「無線LAN簡単接続機能」での設定を行うことはできません。

●「無線LAN簡単接続機能」での設定中は他の無線接続はいったん切断されます。

電話機から設定する

1 パソコンにインストールした無線LANカードのユーティリティから「無線LAN簡単接続機能（プッシュボタン方式）」を起動します

起動方法は、無線LANカードの取扱説明書などを参照してください。

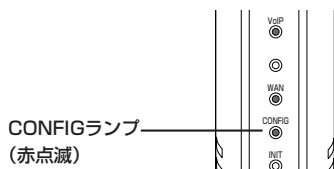


2 ハンドセットを取りあげ、「ツー」という音を確認します



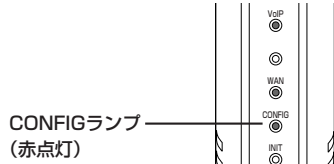
3 電話機のダイヤルボタンを「＊ ＊ ＊ 0 0」と押します

本商品前面のCONFIGランプが赤点滅します。



設定中にアラームランプが10秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。（☛P6-11）

4 本商品前面のCONFIGランプが赤点灯することを確認します



設定中にアラームランプが10秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。（☛P6-11）

設定が完了すると、「設定が完了しました。」と音声ガイダンスが流れます。

5

ハンドセットを置きます



おまかせモード（無線LAN簡単接続機能）での無線LAN設定が完了し、CONFIGランプは緑点灯に変わります。



お知らせ

- 電話機から設定する場合は、電話機の電話回線ダイヤル種別を「PB」に設定してください。（「PB」にできない電話機からは、設定できません。）電話機の電話回線ダイヤル種別の設定方法は、電話機の取扱説明書などをご覧ください。
- 1台の電話機で設定中に2台目の電話機から設定することはできません。
- ひかり電話が使用できない場合は、電話機からの設定および内線通話をご利用になれません。
- 設定する場合は、P6-21のお知らせも参照してください。

パソコンに装着した無線LANカードとの無線LANの設定をする（無線LAN簡単接続機能）

Webブラウザで設定する



無線LAN端末から設定を行っている場合には、[おまかせモード] ボタンをクリックしたあと、無線LAN接続が切断される場合があります。

おまかせモードを使用する場合は、有線LAN端末から設定を行ってください。

1 パソコンのWebブラウザで本商品にログインします

2 メニューの「ルータ設定」－「無線LAN 設定」－「無線LAN 簡単セットアップ」を選択します

3 パソコンにインストールした無線LANカードのユーティリティから「無線LAN簡単接続機能（プッシュボタン方式）」を起動します

起動方法は、無線LANカードの取扱説明書などを参照してください。

4 Webブラウザの「おまかせモード」をクリックします



無線LAN簡単セットアップ

無線LAN端末から設定を行っている場合には、[おまかせモード]をクリックしたあと、無線LAN接続が切断される場合があります。
おまかせモードを使用する場合は、有線LAN端末から設定を行ってください。

■ おまかせモード（らくらく無線スタートの無線LAN簡単接続機能）
らくらく無線スタートと無線LAN簡単接続機能を自動検出して無線LAN簡単設定を行う場合は、「おまかせモード」ボタンをクリックしてください。

■ 無線LAN簡単接続機能
無線LAN簡単接続機能(プッシュボタン)による設定を行う場合は、「無線LAN簡単接続(プッシュボタン)」をクリックしてください。

無線LAN簡単接続(プッシュボタン)

■ P/Nによる無線LAN簡単設定
P/Nによる無線LAN簡単設定を行う場合は、「使用する」を選択し、登録する無線LAN端末のP/Nコードを入力後、「無線LAN簡単接続(P/N)」をクリックしてください。

接続方式: (使用しない) •

[確認]

[戻る]

5 Webブラウザ画面に「無線LAN端末の設定が完了しました。」と表示されることを確認します



無線LAN端末の設定を行っています。
しばらくお待ちください。

Webブラウザに「無線LAN端末の設定を行っています。しばらくお待ちください。」と表示されます。

無線LAN端末の設定が完了しました。

おまかせモード（無線LAN簡単接続機能）での無線LAN設定が終了します。

！「無線LAN簡単接続機能」での設定に失敗した場合

設定中にアラームランプが10秒間赤点滅した場合や「Web設定」画面に以下のエラーメッセージが表示された場合は、設定が失敗しています。

- ・無線LAN簡単セットアップの起動に失敗しました。
- ・処理中のためリクエストを受け付けることができませんでした。
- ・無線LAN端末の設定に失敗しました。

電話機から設定している場合は、ハンドセットから「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れます。

「トラブルシューティング」（P8-16）を確認後、アラームランプが消灯してから再度手順1から設定を行ってください。

STOP お願

- 手動で無線LAN設定を行なう手順については、詳細取扱説明書の無線LAN設定の記載を参照してください。

ゲーム機との無線LANの設定をする (らくらく無線スタート)

「らくらく無線スタート」を使用して、ゲーム機と本商品を無線接続するための設定を行います。
本商品の「らくらく無線スタート」の起動方法には、以下の方法があります。

●電話機から設定する (●下記)

●Webブラウザで設定する

・おまかせモード (らくらく無線スタート&無線LAN簡単接続機能) (●P6-14)

- 本商品に無線の暗号化が設定されていることを確認してください。
(ただし、WPA2-PSKは「らくらく無線スタート」ではご利用になれません。)
設定されていない場合は電話機から設定することもできます。(●P6-19)
- 「らくらく無線スタート」をご利用の場合は、[暗号化設定]で、「WPA2-PSK(TKIP)」「WPA2-PSK(AES)」以外に設定してご使用ください。
- 接続するゲーム機が本商品の暗号化方式や暗号化強度に対応していることを確認してください。対応状況に関してはゲーム機の取扱説明書などをご確認ください。
- ひかり電話使用中、および使用後一定時間、他の設定を実行中は「らくらく無線スタート」での設定を行うことはできません。
- 「らくらく無線スタート」での設定中は他の無線接続はいったん切断されます。
- 「らくらく無線スタート」設定中の無線LANアクセスポイント(本商品)のランプ名称やランプの状態はご利用のゲーム機の説明書などに記載されている内容と異なる場合があります。本商品との無線LAN設定にあたっては、本書の記載内容に読み替えてください。
- 本商品の無線の暗号化が「WPA-PSK/WPA2-PSK (TKIP/AES)」で「らくらく無線スタート」を使用した場合、自動的に無線LAN端末を「WPA-PSK (TKIP)」に設定します。

電話機から設定する

1 ゲーム機の「らくらく無線スタート」を起動します



ゲーム機の設定方法の詳細についてはゲーム機の取扱説明書などを参照してください。

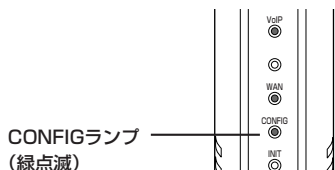
※「らくらく無線スタート」を起動後1分以内に次の手順に進んでください。1分以上たつと自動的にキャンセルされます。

2 本商品に接続したハンドセットを取りあげ、「ツー」という音を確認します



3 電話機のダイヤルボタンを「＊ ＊ ＊ 0 0」と押します

本商品前面のCONFIGランプが緑点滅します。

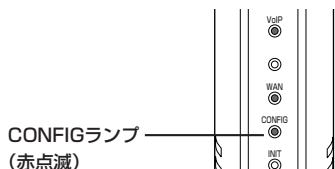


設定中にアラームランプが10秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。
(●P6-16)

4 本商品前面のCONFIGランプが赤点滅することを確認します

「らくらく無線スタート」での設定が開始し、「プブ、プブ」と聞こえます。

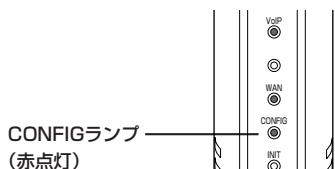
※30秒以内に次の手順に進んでください。30秒以上たつと自動的にキャンセルされます。



設定中にアラームランプが10秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。
(●P6-16)

5 電話機のダイヤルボタン「＊」を押します

設定が完了すると「設定が完了しました。」と音声ガイダンスが流れ、本商品前面のCONFIGランプが赤点灯します。



設定中にアラームランプが10秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。
(●P6-16)

6 電話機のハンドセットを置きます

「らくらく無線スタート」での無線LAN設定が完了し、CONFIGランプは緑点灯に変わります。



お知らせ

- 電話機から設定する場合は、電話機の電話回線ダイヤル種別を「PB」に設定してください。（「PB」にできない電話機からは、設定できません。）電話機の電話回線ダイヤル種別の設定方法は、電話機の取扱説明書などをご覧ください。
- 1台の電話機で設定中に2台目の電話機から設定することはできません。
- ひかり電話が使用できない場合は、電話機からの設定および内線通話をご利用になれません。
- 設定する場合は、P6-21のお知らせも参照してください。

ゲーム機との無線LANの設定をする (らくらく無線スタート)

Webブラウザで設定する



無線LAN端末から設定を行っている場合には、[おまかせモード] ボタンをクリックしたあと、無線LAN接続が切断される場合があります。

おまかせモードを使用する場合は、有線LAN端末から設定を行ってください。

1 パソコンのWebブラウザで本商品にログインします

2 メニューの「ルータ設定」－「無線LAN 設定」－「無線LAN 簡単セットアップ」を選択します

3 ゲーム機の「らくらく無線スタート」を起動します



ゲーム機の設定方法の詳細についてはゲーム機の取扱説明書などを参照してください。

※「らくらく無線スタート」を起動後 1 分以内に次の手順に進んでください。1 分以上たつと自動的にキャンセルされます。

4 [おまかせモード] をクリックします

無線LAN簡単セットアップ

無線LAN端末から設定を行っている場合には、[おまかせモード] ボタンをクリックしたあと、無線LAN接続が切断される場合があります。

おまかせモードを使用する場合は、有線LAN端末から設定を行ってください。

「おまかせモード」(らくらく無線スタート)と「無線LAN簡単セットアップ」を選択して、無線LAN簡単セットアップを選択してください。

無線LAN簡単セットアップ

無線LAN簡単セットアップ(ウェブブラウザ)による設定を行う場合は、「無線LAN簡単セットアップ」をクリックしてください。

無線LAN簡単セットアップ(ウェブブラウザ)

無線LAN簡単セットアップ(ウェブブラウザ)による設定を行う場合は、「無線LAN簡単セットアップ」を選択して、「無線LAN簡単セットアップ」をクリックしてください。

無線LAN簡単セットアップ(ウェブブラウザ)

無線LAN簡単セットアップ(ウェブブラウザ)による設定を行う場合は、「無線LAN簡単セットアップ」を選択して、「無線LAN簡単セットアップ」をクリックしてください。

無線LAN簡単セットアップ(ウェブブラウザ)

無線LAN簡単セットアップ(ウェブブラウザ)による設定を行う場合は、「無線LAN簡単セットアップ」を選択して、「無線LAN簡単セットアップ」をクリックしてください。

無線LAN簡単セットアップ(ウェブブラウザ)

無線LAN簡単セットアップ(ウェブブラウザ)による設定を行う場合は、「無線LAN簡単セットアップ」を選択して、「無線LAN簡単セットアップ」をクリックしてください。

無線LAN簡単セットアップ(ウェブブラウザ)

無線LAN簡単セットアップ(ウェブブラウザ)による設定を行う場合は、「無線LAN簡単セットアップ」を選択して、「無線LAN簡単セットアップ」をクリックしてください。

無線LAN簡単セットアップ(ウェブブラウザ)

無線LAN簡単セットアップ(ウェブブラウザ)による設定を行う場合は、「無線LAN簡単セットアップ」を選択して、「無線LAN簡単セットアップ」をクリックしてください。

無線LAN簡単セットアップ(ウェブブラウザ)

無線LAN簡単セットアップ(ウェブブラウザ)による設定を行う場合は、「無線LAN簡単セットアップ」を選択して、「無線LAN簡単セットアップ」をクリックしてください。

無線LAN簡単セットアップ(ウェブブラウザ)

無線LAN簡単セットアップ(ウェブブラウザ)による設定を行う場合は、「無線LAN簡単セットアップ」を選択して、「無線LAN簡単セットアップ」をクリックしてください。

無線LAN簡単セットアップ(ウェブブラウザ)

無線LAN簡単セットアップ(ウェブブラウザ)による設定を行う場合は、「無線LAN簡単セットアップ」を選択して、「無線LAN簡単セットアップ」をクリックしてください。

無線LAN簡単セットアップ(ウェブブラウザ)

無線LAN簡単セットアップ(ウェブブラウザ)による設定を行う場合は、「無線LAN簡単セットアップ」を選択して、「無線LAN簡単セットアップ」をクリックしてください。

無線LAN簡単セットアップ(ウェブブラウザ)

無線LAN簡単セットアップ(ウェブブラウザ)による設定を行う場合は、「無線LAN簡単セットアップ」を選択して、「無線LAN簡単セットアップ」をクリックしてください。

無線LAN簡単セットアップ(ウェブブラウザ)

無線LAN簡単セットアップ(ウェブブラウザ)による設定を行う場合は、「無線LAN簡単セットアップ」を選択して、「無線LAN簡単セットアップ」をクリックしてください。

無線LAN簡単セットアップ(ウェブブラウザ)



無線LAN端末の検出を行っています。
しばらくお待ちください。

Webブラウザ画面に「無線LAN端末の検出を行っています。しばらくお待ちください。」と表示されます。



Webブラウザ画面に「無線LAN簡単セットアップの起動に失敗しました。」「処理中のためリクエストを受け付けることができませんでした。」「無線LAN簡単セットアップの設定に失敗しました。」「無線LAN端末の検出に失敗しました。」のいずれかが表示された場合は、設定に失敗しています。(P6-16)

5

【設定開始】をクリックします

※30秒以内に次の手順に進んでください。30秒以上たつと自動的にキャンセルされます。



Webブラウザ画面に「無線LAN簡単セットアップの設定に失敗しました。」「無線LAN端末の設定に失敗しました。」と表示された場合は、設定に失敗しています。(P6-16)

設定が完了するとWebブラウザ画面に「無線LANの設定が完了しました。」と表示されます。「らくらく無線スタート」での無線LAN設定が完了します。

ゲーム機との無線LANの設定をする (らくらく無線スタート)

！「らくらく無線スタート」での設定に失敗した場合

設定中にアラームランプが10秒間赤点滅した場合やWebブラウザ画面に以下のエラーメッセージが表示された場合は、設定が失敗しています。

- ・無線LAN簡単セットアップの起動に失敗しました。
- ・処理中のためリクエストを受け付けることができませんでした。
- ・無線LAN簡単セットアップの設定に失敗しました。
- ・無線LAN端末の検出に失敗しました。
- ・無線LAN端末の設定に失敗しました。

電話機から設定している場合は、ハンドセットから「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れます。

「トラブルシューティング」(●P8-16)を確認後、アラームランプが消灯してから再度手順1から設定を行ってください。

本商品の無線の暗号化が設定されていない状態で、「らくらく無線スタート」を実行すると設定に失敗します。本商品の無線の暗号化が設定されていない状態で設定に失敗した場合、「らくらく無線スタート」には、自動的に、本商品の無線の暗号化をWPA-PSK(TKIP)に設定する機能があります。アラームランプが消灯してから、もう一度、「らくらく無線スタート」を実行してください。2回目以降も失敗する場合は、他の原因により設定に失敗しています。「トラブルシューティング」(●P8-16)を確認してください。

自動的に設定されるWPA-PSK(TKIP)の設定値については、「①SSID-1に設定した場合」(●P6-20)を参照してください。

Windows® 7との無線LANの設定をする（手動接続）

Windows® 7搭載パソコンの内蔵無線を使用して、本商品と無線LAN接続を行う場合の設定です。

ワイヤレスネットワーク情報の設定値については、工場出荷時の値を前提に記載しています。

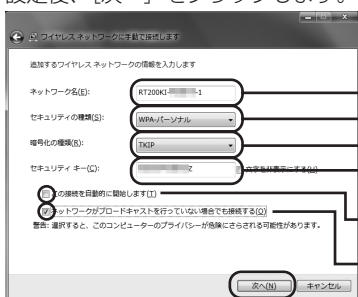
設定値についてはP6-21を参照してください。

1 [スタート] (Windows® のロゴボタン) - [コントロールパネル] - [ネットワークとインターネット] - [ネットワークと共有センター] - [新しい接続またはネットワークのセットアップ] の順にクリックし、「接続またはネットワークのセットアップ」ウィンドウを開きます

2 [ワイヤレスネットワークに手動で接続します] を選択して [次へ] をクリックします



3 ワイヤレスネットワークの情報を入力または選択して設定します
設定後、[次へ] をクリックします。



ネットワーク名 : 本商品のSSID-1(※)の値を設定します。

セキュリティの種類 : [WPA-パーソナル] を選択します。(※)

暗号化の種類 : [TKIP] を選択します。(※)

セキュリティキー : 本商品の暗号化キー(※)の値を設定します。

この接続を自動的に開始します :
チェックをはずしてください。

ネットワークがブロードキャストを行っている場合でも接続する :
チェックを入れてください。

※ネットワーク名、セキュリティの種類、暗号化の種類、暗号化キーは、本商品に設定されている値を設定してください。

本商品のネットワーク名（無線ネットワーク名（SSID-1/SSID-2））、セキュリティの種類／暗号化の種類（暗号方式）、暗号化キー（事前共有キー／WEPキー）については、P6-21を参照してください。

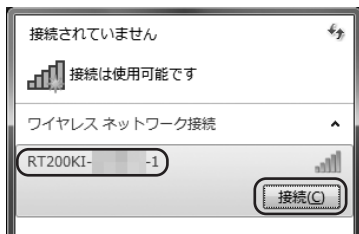
Windows® 7との無線LANの設定をする（手動接続）

- 4** 手順3で指定したSSID-1が正常に追加されたことを確認して「閉じる」をクリックします

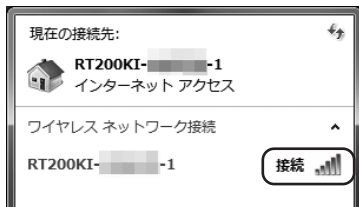


- 5** 通知領域（タスクトレイ）もしくは「かくれているインジケーター」の中に表示されている「ネットワーク」アイコンをクリックして、「ワイヤレス ネットワーク接続」リストに手順3で指定したSSID-1が存在することを確認します

「接続」ボタンを押すことで、接続できます。



- 6** 接続状態になると、手順3で指定したSSID-1に「接続」と表示されます



お知らせ

- ネットワーク名（SSID）や、暗号方式、暗号化キーなどを変更している場合は、Webブラウザで本商品にログインし、メニューの「ルータ設定」－「無線LAN設定」－「暗号化設定」で本商品の設定値を確認したうえで、パソコンのワイヤレスネットワーク接続の情報を設定してください。
- 設定が正しく行われていても、使用する無線チャネルの条件や使用する環境により正常に無線LAN接続ができない場合があります。その場合は、「●無線のトラブル 無線LAN通信ができない（●8-11）」を参考に、設置場所や無線LAN設定を見直してください。

電話機から無線LANの設定を 変更する

電話機から無線LANの次の設定を変更することができます。

- ・無線ネットワーク名（SSID）と暗号化設定
- ・無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽（ANY接続拒否）
- ・無線動作モード

●電話機からの暗号化設定により、「無線ネットワーク名（SSID）」、「暗号化方式」、「暗号化キー」は上書きされます。

→すでに無線LAN接続されている機器がある場合、本商品と同じ設定に変更する必要がありますのでご注意ください。

1 ハンドセットを取りあげ、「ツー」という音を確認します



2 電話機のダイヤルボタンを押します 【無線LAN設定】

機能	設定内容	操作
無線ネットワーク名（SSID） と暗号化設定（※1）	SSID-1の設定	＊ ＊ ＊ 0 1 ＊ 1 ＊ ＊
	SSID-2の設定	＊ ＊ ＊ 0 1 ＊ 2 ＊ ＊
無線ネットワーク名（SSID） の隠蔽（ANY接続拒否）（※2）	有効にする	＊ ＊ ＊ 0 2 ＊ 1 ＊ ＊
	無効にする	＊ ＊ ＊ 0 2 ＊ 2 ＊ ＊
無線動作モード（※3）	IEEE802.11g/IE EE802.11b互換 にする	＊ ＊ ＊ 0 2 ＊ 3 ＊ ＊
	IEEE802.11a 固定にする	＊ ＊ ＊ 0 2 ＊ 4 ＊ ＊

※1 無線ネットワーク名（SSID）と暗号化の設定内容については、P6-20を参照してください。

※2 初期値は、無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽（ANY接続拒否）の設定が有効になっています。

※3 無線動作モードの初期値は、IEEE802.11g/IEEE802.11b互換です。

設定が完了すると「設定が完了しました。」と音声ガイダンスが流れます。

3 ハンドセットを置きます



電話機から無線LANの設定を
変更する

【電話機から設定する場合の無線ネットワーク名（SSID）と暗号化の設定内容】

電話機から設定した場合、設定される無線ネットワーク名（SSID）、暗号化方式、暗号化キーは次の通りです。

①SSID-1に設定した場合

無線ネットワーク名（SSID-1）	RT200KI-XXXXXX-1 (XXXXXXは本商品のWAN側のMACアドレスの下6桁)
無線の暗号化方式	WPA-PSK (TKIP)
事前共有キー（PSK）	○○○○○○○○○○○○○Z (○○○○○○○○○○○○○は、本商品のWAN側のMACアドレス12桁、Zは半角大文字)

②SSID-2に設定した場合

無線ネットワーク名（SSID-2）	RT200KI-XXXXXX-2 (XXXXXXは本商品のWAN側のMACアドレスの下6桁)
無線の暗号化方式	WEP (128bit)
使用するWEPキー（キーインデックス）	WEPキー1
WEPキー1	○○○○○○○○○○○○○Z (○○○○○○○○○○○○○は、本商品のWAN側のMACアドレス12桁、Zは半角大文字)

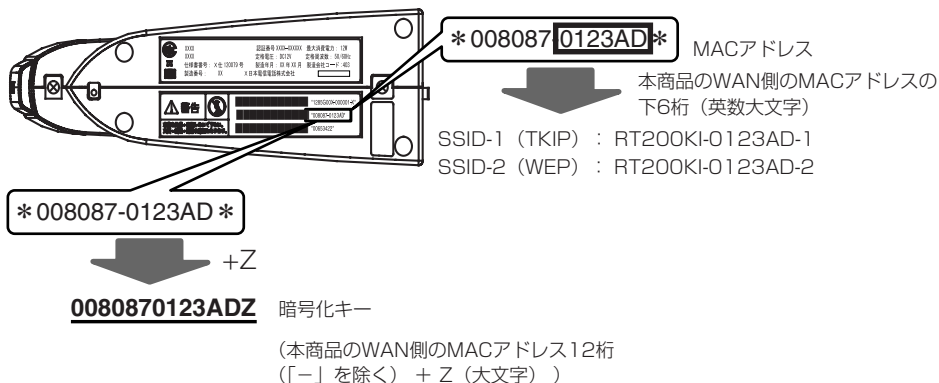
本商品の工場出荷状態では①②の値がそれぞれSSID-1、SSID-2に設定されています。



WEP（128bit）に設定した場合、お客様自身で設定したWEPキー2～4は消去されますのでご注意ください。

事前共有キー（PSK）およびWEP キーをお客様自身で設定する場合、第三者に推測されにくいキーを登録してください。また暗号キーおよび品名紙記載の情報は、お客様にて厳重に管理してください。WEP をご利用の際は、より強固なセキュリティとするためMAC アドレスフィルタリングを併用してください。（詳しくは「詳細取扱説明書」の「MAC アドレスフィルタリング」を参照してください。）

※本商品の無線ネットワーク名（SSID）、MACアドレスは本商品底面の記載で確認してください。



本商品底面に記載の情報は、お客様にて厳重に管理してください。



お知らせ

- 電話機から設定する場合は、電話機の電話回線ダイヤル種別を「PB」に設定してください。（「PB」にできない電話機からは、設定できません。）電話機の電話回線ダイヤル種別の設定方法は、電話機の取扱説明書などをご覧ください。
- 設定を中止するにはハンドセットを置いてください。
- 1台の電話機で設定中に2台目の電話機から設定することはできません。
- 間違った番号をダイヤルすると「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れます。いったんハンドセットを置いて、はじめてから設定をやり直してください。
- ファームウェアの更新中、ファームウェアの更新予約中、当社のひかり電話設備の工事中、他の設定を実行中は、「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れます。電話機からの設定は行えません。
- 電話機からの設定を行うと、ひかり電話の通話や内線通話、着信音（着信中のナンバー・ディスプレイ表示など）、通信が途切れる場合があります。
- ひかり電話が使用できない場合は、電話機からの設定および内線通話をご利用になれません。
- 本商品の以前のファームウェアでは使用できるSSIDの数やMACアドレスフィルタリングの設定方法が異なっている場合がありますが、本商品のバージョンアップを行ってもこれまでご利用になっていた無線LAN端末は再設定をすることなくご利用いただけます。（パソコン側の無線LANカードにSC-32KIを使用している場合は、最新のドライバ・ユーティリティをご利用いただくことをお勧めします。）バージョンアップ後にSSID、MACアドレスフィルタリングなどの内容は変更されていることがありますので、Webブラウザの設定画面でご確認ください。

7 バージョンアップする

本商品を最新の状態にバージョンアップすることができます。
ここでは、本商品をバージョンアップする方法について説明します。

- 本商品のバージョンアップ7-2
- バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする7-3
- 当社ホームページからプログラムをダウンロードしてバージョンアップする7-12



最新の状態に
バージョン
アップ！

本商品のバージョンアップ

本商品のファームウェアのバージョンアップを行うことができます。
本商品を最適にご利用いただくために、最新のファームウェアに更新してご利用いただけますようお願いいたします。

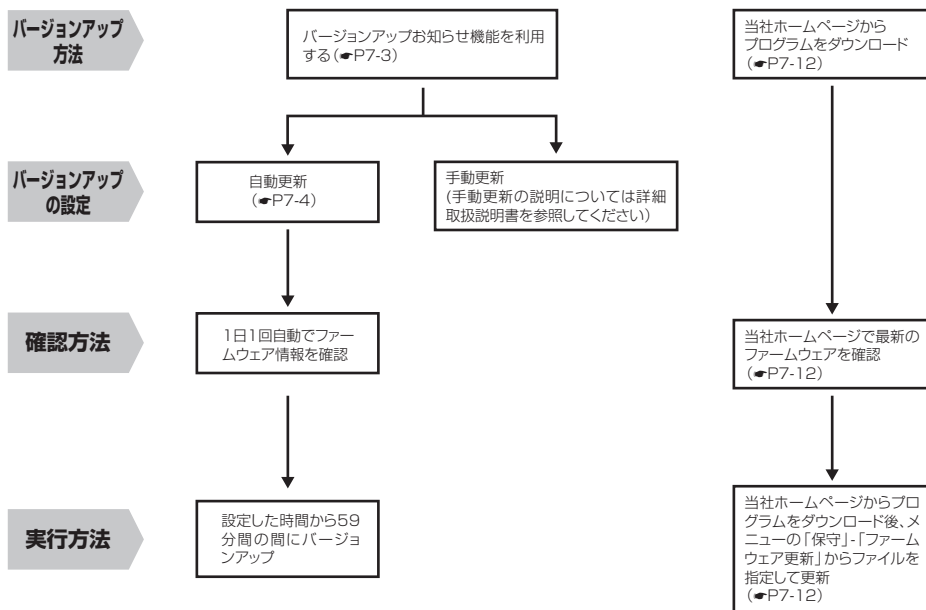
バージョンアップ機能

バージョンアップ機能は以下の4つに分類されます。

分類	説明
初期設定でのバージョンアップ	本商品を初めてお使いのとき、または本商品が初期設定状態のときに自動で行われるバージョンアップです。([かんたん設定] (●P5-2))
自動バージョンアップ	本商品がネットワーク上の当社のサーバと通信して、自動的に最新のファームウェアにバージョンアップする機能です。
手動バージョンアップ	本商品が最新のファームウェア情報をお知らせしたときに、お客様ご自身でバージョンアップを行っていただく機能です。
当社ホームページからプログラムをダウンロード	お客様が当社のホームページ上にて最新のファームウェア情報を確認し、ファームウェアをダウンロードしてバージョンアップを行っていただく機能です。

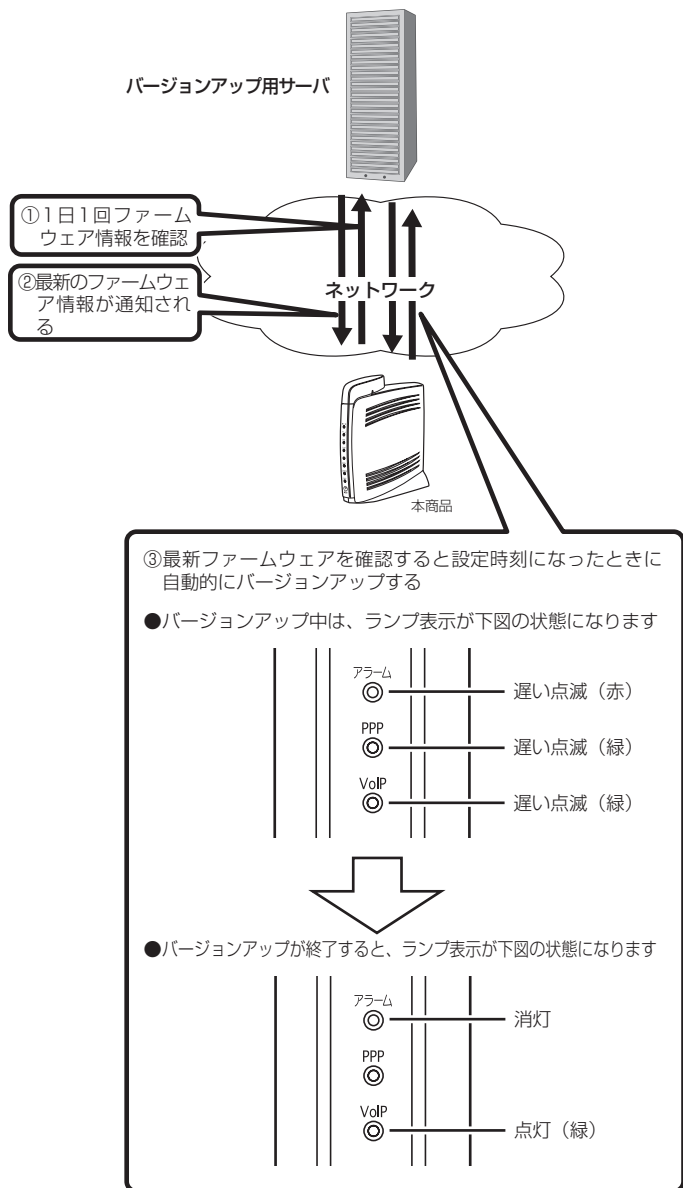
バージョンアップの流れ

本商品のバージョンアップは以下の手順で行います。



自動バージョンアップ機能

「自動バージョンアップ機能」とは、本商品が定期的にネットワークを介して当社サーバと通信を行い、最新のファームウェア情報を確認した場合にはダウンロードと更新を自動的に実行して、ファームウェアを最新の状態に保つ機能です。



バージョンアップお知らせ機能を利用
してバージョンアップする

設定方法

●Webブラウザで設定する場合

Webブラウザで本商品にログインして、「ファームウェア更新設定」を行います

- 1 メニューから「保守」－「ファームウェア更新設定」をクリックします
- 2 ファームウェア更新設定画面で「アップデート設定」を行います

自動更新時間

自動更新時間を、00：00 ～ 23：00から選択します。

バージョンアップが行われるのは、指定した時間から59分の間です。

- 3 設定が終了したら「確認」をクリックします
 - 4 「送信」をクリックします
 - 5 「反映」をクリックします
- 再起動終了後、設定した内容が有効になります。

STOP お願い

- バージョンアップ中に本商品の電源を切らないでください。回復不能な故障の原因になることがあります。



お知らせ

- 本商品のファームウェアを最新の状態に保つために「ファームウェア更新種別」は「自動更新」を選択してご利用いただくことを推奨します。
- 本商品のバージョンアップを行うと、「ファームウェア更新種別」の設定が変更される場合があります。バージョンアップ後にWebブラウザの設定画面でご確認ください。
- ひかり電話や内線の通話中、システム更新中は、それらが終了したあと自動的にファームウェアのダウンロード処理を行います。
- 自動バージョンアップ中は、ひかり電話がご利用いただけません。その間は緊急通報等もかけることができませんのでご注意ください。
- バージョンアップ中（数分間）はすべての接続が切断されます。インターネットご利用中にバージョンアップが実行される場合がありますのでご注意ください。
- ネットワークやサーバの状態によっては、バージョンアップに失敗することがあります。
- 自動バージョンアップが実施されたとき、映像コンテンツの視聴など一部のサービスは中断する場合があります。ファームウェア更新が終了するまで、しばらくお待ちください。
- 緊急を要するファームウェアが提供された場合は、「ファームウェア更新種別」の設定に関わらずファームウェア更新が行われることがあります。正面のアラームランプ・PPPランプ・VoIPランプが同時に点滅している間は絶対に電源を切らないでください。
- お客様のご利用状況によっては、設定された時間内にファームウェアの更新（再起動）が行われない場合があります。

●電話機で設定する場合

1 ハンドセットを取りあげ、「ツー」という音を確認する



2 電話機のダイヤルボタンを次のように押す

●ファームウェア更新種別を「自動更新」に設定する

「**(*) (*) (*) 8 8 2 (*) 設定値 (＃) (＃)**」

設定値
24時間を2桁で入力します。 (00～23の2桁) 例) 9時の場合： (0) (9)

●ファームウェア更新種別を「手動更新」に設定する

「**(*) (*) (*) 8 8 9 (＃) (＃)**」

設定が完了すると「設定が完了しました。」と音声ガイダンスが流れます。

3 ハンドセットを置く

再起動後に設定が有効になります。



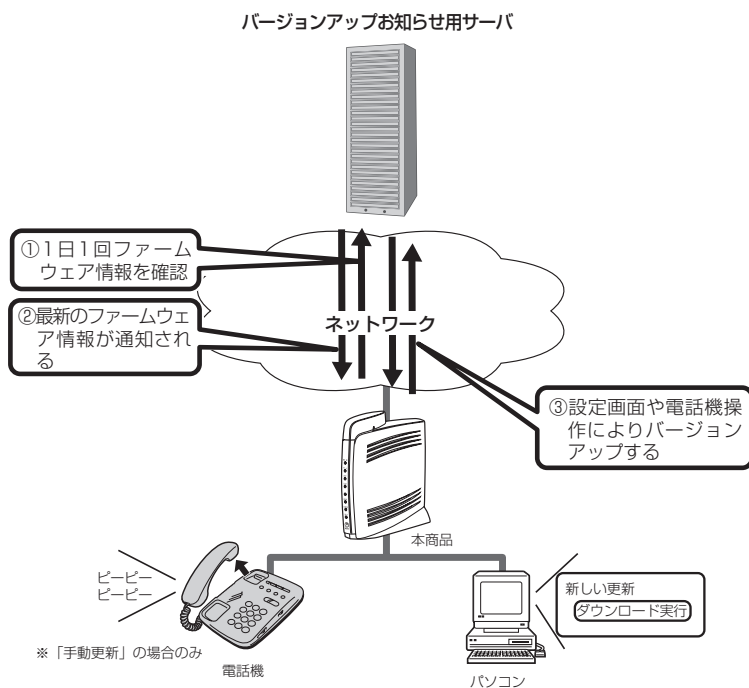
お知らせ

- 電話機から設定する場合は、電話機の電話回線ダイヤル種別を「PB」に設定してください。（「PB」にできない電話機からは、設定できません。）電話機の電話回線ダイヤル種別の設定方法は、電話機の取扱説明書をご覧ください。
- 設定を中止するにはハンドセットを置いてください。
- 1台の電話機で設定中に2台目の電話機から設定することはできません。
- 間違った番号をダイヤルすると、「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れます。いったんハンドセットを置いて、はじめから設定をやり直してください。
- ファームウェアの更新中、ファームウェアの更新予約中、当社のひかり電話設備の工事中、他の設定を実行中は、「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れます。電話機からの設定は行えません。
- 電話機からの設定を行うと、ひかり電話の通話や内線通話、着信音（着信中のナンバー・ディスプレイ表示など）、通信が途切れる場合があります。
- ひかり電話が使用できない場合は、電話機からの設定および内線通話をご利用になれません。

バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする

バージョンアップお知らせ機能

「バージョンアップお知らせ機能」とは、本商品が定期的にネットワークを介して当社サーバと通信を行い、最新のファームウェア情報を確認した場合に、お客様へ通知する機能です。



バージョンアップ方法

バージョンアップお知らせ機能により最新のファームウェア情報があることが通知されたときは、以下の方法でバージョンアップを行ってください。

●電話機からの音でお知らせする

「ファームウェア更新種別」を「手動更新」に設定した場合（➡P7-4）、電話機の音で最新のファームウェアがあるか確認できます。

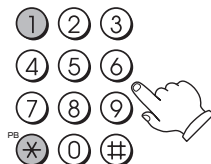
1 ハンドセット（受話器）を取りあげる



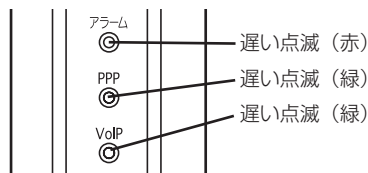
2 「ピーピーピーピー」という音が「ツー」という発信音の前に聞こえる



3 「***11」とダイヤルする



4 「ププ、ププ、・・・」という受付音を確認して、ハンドセット（受話器）を置くとバージョンアップが開始される



(次ページに続く)

7
バージョンアップする

STOP お問い合わせ

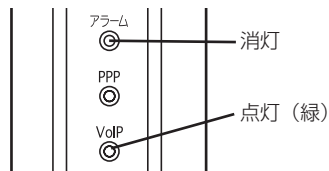
- バージョンアップ中に本商品の電源を切らないでください。回復不能な故障の原因になることがあります。

お知らせ

- 接続する電話機の回線種別は「PB」に設定してください。
- バージョンアップ中は、ひかり電話をご利用いただけません。
- バージョンアップ中（数分間）はすべての接続が切断されます。インターネットご利用中にバージョンアップを実行する場合はご注意ください。
- ネットワークやサーバの状態によっては、バージョンアップに失敗することがあります。

5

しばらく待ち、バージョンアップが完了したことを確認する



ワンポイント

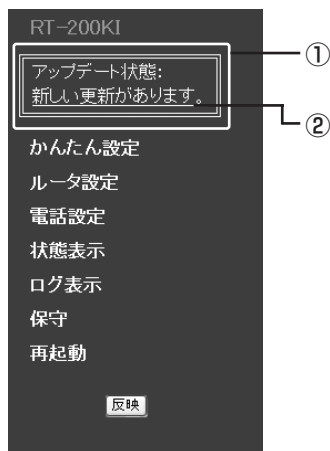
- 電話でお話ししたあとでバージョンアップを行う場合、発信操作は通常と変わりません。そのままダイヤルしてください。
- 「ピーピーピーピー」という音は、TEL 1/TEL2に接続した電話機のみから聞こえます。
- 「ピーピーピーピー」という音が聞こえた場合、TEL 1/TEL2に接続したいすれの電話機からも、バージョンアップを行うことができます。
- バージョンアップを行うと、「ピーピーピーピー」という音は停止します。
- ファームウェア更新は映像コンテンツの視聴などのサービスを停止させてから行ってください。同時に行い本商品に負荷がかかった場合に、ファームウェア更新に時間がかかる場合があります。

●Webブラウザでお知らせする

バージョンアップお知らせ機能は、手順1のいずれかの方法でバージョンアップをお知らせします。

1

メニューでお知らせする

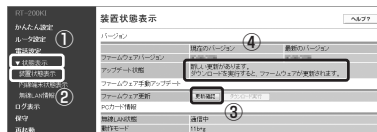


①メニューの上に「新しい更新があります。」と表示されます。

②クリックすると「装置状態表示」画面が表示されます。

(「設定画面の「装置状態表示」でお知らせする」に進みください。)

設定画面の「装置状態表示」でお知らせする



①メニューの「状態表示」をクリックします。

②サブメニューの「装置状態表示」をクリックします。

③「更新確認」をクリックします。

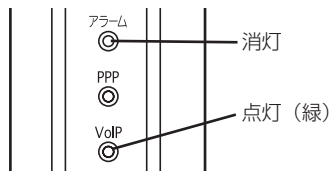
④「アップデート状態」に「新しい更新があります。ダウンロードを実行すると、ファームウェアが更新されます。」と表示されます。

●「新しい更新はありません。」の場合
最新のファームウェア情報はありませ
ん。既に最新のファームウェアでご利用
いただいています。

●「更新を確認しています。」の場合
① そのまましばらくお待ちください。
 (「アップデート状態」の表示が自動
 的に更新されます。)

② 更新確認後に表示される「アップデ
 ート状態」の内容にしたがって作業
 をしてください。

●「ファームウェアをダウンロード中
 です。」の場合
 そのまましばらくお待ちください。ラ
 ンプ表示が下の状態になることを確認
 してください。



●「更新の確認に失敗しました。」の場合
 「更新確認」をクリックして最初から
 やり直してください。

7
ア
ッ
プ
す
る

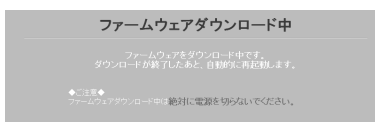
(次ページに続く)

バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする

2 「ダウンロード実行」をクリックします



3 「ファームウェアダウンロード中」画面が表示されます

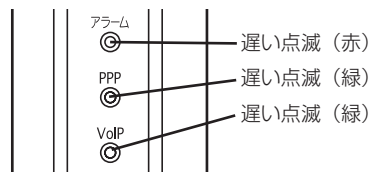


ファームウェア更新中は「システム更新中」画面が表示されます



※画面にエラーメッセージが表示される場合

「●エラーメッセージが表示された場合」(P7-11)を参照してください。



4 ファームウェア更新が完了すると「かんたん設定」画面が表示されます



STOP お願い

- バージョンアップ中に本商品の電源を切らないでください。回復不能な故障の原因になることがあります。

お知らせ

- バージョンアップ中は、ひかり電話をご利用いただけません。
- バージョンアップ中（数分間）はすべての接続が切断されます。インターネットご利用中にバージョンアップを実行する場合はご注意ください。
- ネットワークやサーバの状態によっては、バージョンアップに失敗することがあります。

ワンポイント

- ファームウェア更新は映像コンテンツの視聴などのサービスを停止させてから行ってください。同時に行い本商品に負荷がかかった場合に、ファームウェア更新に時間がかかる場合があります。

●エラーメッセージが表示された場合 (1) ファームウェアのダウンロードに失敗した場合 「戻る」をクリックします



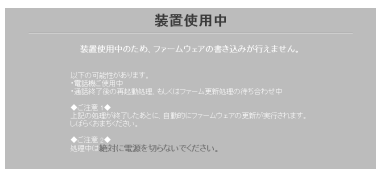
※「装置状態表示」画面のアップデート状態は、「ファームウェアのダウンロードに失敗しました。」を表示します。

バージョン	現在のバージョン	最新のバージョン
ファームウェアバージョン	Ver. 1.0.0	Ver. 1.0.1
アップデート状態	ファームウェアのダウンロードに失敗しました。	

「更新確認」クリックから再度実施してください。

(2) 装置使用中の場合

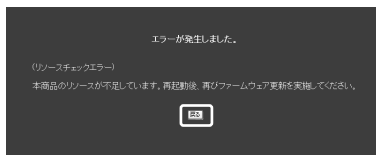
通話中などの装置使用中のときは、以下の画面表示になり、装置使用中の処理が終了後、自動的にバージョンアップが再開されます。ファームウェア更新中は「システム更新中」画面が表示され、ファームウェア更新が完了すると「かんたん設定」画面が表示されます。



(3) ファームウェアの更新に失敗した場合

「装置状態表示」画面へ戻ります。「再起動」メニューから再起動を実施してください。

「戻る」をクリックします



「戻る」をクリックします



※「装置状態表示」画面のアップデート状態は、「ファームウェアの更新に失敗しました。」を表示します。

バージョン	現在のバージョン	最新のバージョン
ファームウェアバージョン	Ver. 1.0.0	Ver. 1.0.1
アップデート状態	ファームウェアの更新に失敗しました。	



お知らせ

- 再度手順を行ってもエラーが表示される場合は、「当社ホームページからプログラムをダウンロードしてバージョンアップする」の「バージョンアップ方法」(P7-12)の手順にしたがってバージョンアップを行ってください。

当社ホームページからプログラムをダウンロードしてバージョンアップする

当社ホームページからパソコンへいったん本商品のプログラム（ファームウェア）をダウンロードしたあとで、パソコンから本商品に反映します。

※バージョンアップの時期・方法などにつきましては、以下のホームページをご確認ください。

当社ホームページ 【NTT東日本】 <http://web116.jp/ced/>

【NTT西日本】 <http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

バージョンアップ方法

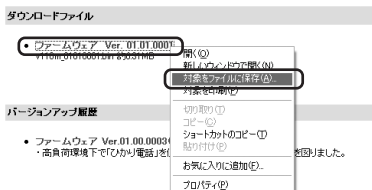
1 メニューから「状態表示」－「装置状態表示」をクリックします

2 使用中のファームウェアバージョンを確認します



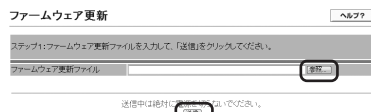
3 当社ホームページへアクセスし、最新のファームウェアを確認します。現在ご使用中のファームウェア（手順2で確認したもの）より提供されているファームウェアが新しいことを確認してください

4 Webブラウザの、最新「ファームウェアのバージョン」表示部分を右クリックし、「対象をファイルに保存」を選び、保存するフォルダを指定してファームウェアをダウンロードします



5 メニューから「保守」－「ファームウェア更新」をクリックします

6 ファームウェア更新画面が表示されます



「参照」をクリックしてファームウェアを選択します。

手順4でダウンロードしたファームウェアのあるフォルダを指定し、ファームウェアを選択します。

7 「送信」をクリックします

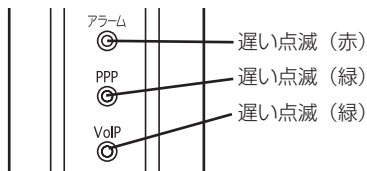
8 「実行」をクリックします

9 「システム更新中」画面が表示されます

残り時間を表示します。しばらくお待ちください。トップ画面（「かんたん設定」画面）に戻るまでの秒数はファームウェア更新の内容により異なります。



本商品のランプ表示が以下のようになることを確認してください。



お願い

- バージョンアップ中に本商品の電源を切らないでください。回復不能な故障の原因になることがあります。



お知らせ

- バージョンアップ中はひかり電話をご利用いただけません。
- バージョンアップ中（数分間）はすべての接続が切断されます。インターネットご利用中にバージョンアップを実行する場合はご注意ください。
- ネットワークやサーバの状態によっては、バージョンアップに失敗することがあります。



ワンポイント

- ファームウェア更新は映像コンテンツの視聴などのサービスを停止させてから行ってください。同時に行い本商品に負荷がかかった場合に、ファームウェア更新に時間がかかる場合があります。

（次ページに続く）

10 「かんたん設定」画面を表示します

当社ホームページからプログラムを ダウンロードしてバージョンアップする

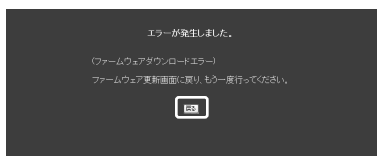
●エラーメッセージが表示された場合 (1) ファームウェアダウンロード エラーの場合

手順1からやり直してください。再度エラーが表示された場合はWebブラウザを終了し、手順1からやり直してください。

「戻る」をクリックします



「戻る」をクリックします

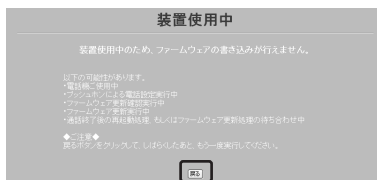


(2) 装置使用中の場合

通話中などの装置使用中のときは以下の画面を表示します。

「戻る」をクリックします

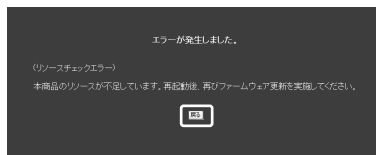
装置使用中の処理が終わったあとに再度ファームウェア更新を行ってください



(3) ファームウェアの更新に失敗した場合

「装置状態表示」画面へ戻ります。「再起動」メニューから再起動を実施してください。

「戻る」をクリックします



8 故障かな？と思ったら

本商品がうまく動かない、操作しても違う結果になるなど、お困りのときには本章をお読みください。

トラブルや疑問点がある場合	8-2
トラブルシューティング	8-7
装置状態表示（状態表示）を確認する	8-18
内線端末状態表示（状態表示）を確認する	8-24
通信の正常性を確認する	8-27



トラブルや疑問点がある場合

本商品が上手く動かない、操作しても違う結果になるなど、お困りのときにはこちらをお読みください。

以降の対策を行ってもトラブルが解決しない場合は、本商品のファームウェアのバージョンを確認し、最新のファームウェアに更新することを推奨します。

1 以下の内容を確認してください

- ・ ACアダプタは、確実に入っているか（電源ランプは点灯しているか）
- ・ 電話機コードやLANケーブルの接続に間違いはないか
- ・ 電話機コードやLANケーブルは奥まできちんと差し込まれているか
- ・ パソコンのネットワークの設定は正しいか
ネットワーク状況などを確認するコマンド（ipconfigなど）を入力してIPアドレス、サブネットワークマスク、デフォルトゲートウェイが表示されるか確認してください。表示されない場合はネットワーク設定をやり直してください。（「4章 パソコンを設定する」（●P4-1）および「パソコンのネットワーク設定」（●P9-2））

2 チェック項目を確認し、該当する内容があれば処置してください（●P8-3～）

3 Webブラウザを使用して「状態表示」を確認し、対処してください

（「装置状態表示（状態表示）を確認する」（●P8-18）および「内線端末状態表示（状態表示）を確認する」（●P8-24））

4 本商品の電源を入れ直して、症状を再確認してください

5 1～4を実施しても問題が解決しない場合は、当社のお問い合わせ先窓口へお問い合わせください

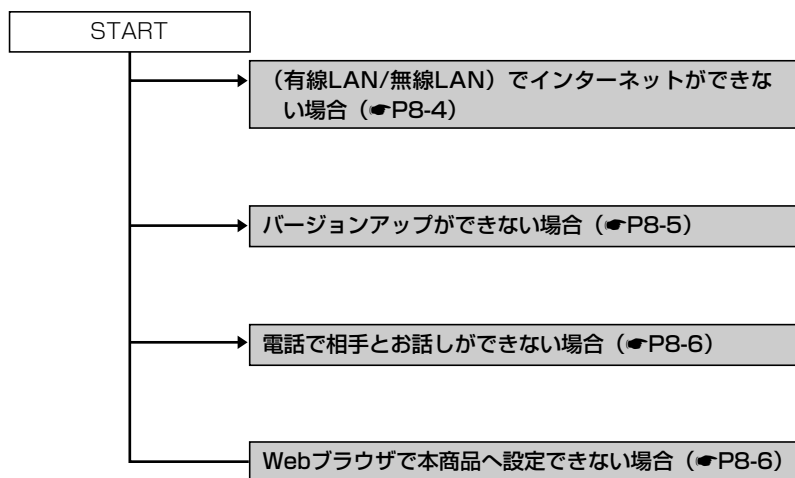
その場合、症状を確認させていただきますので、あらかじめ以下の内容をご確認ください。

- （1）具合的に何ができないか
- （2）商品状況
 - ・ 本商品のランプ表示
 - ・ Webブラウザ画面に表示されるエラーメッセージ
- （3）通話状況
 - ・ 通話ができるか
 - ・ 通話できない場合は、ハンドセット（受話器）から音が聞こえるか
 - ・ ダイヤルした番号

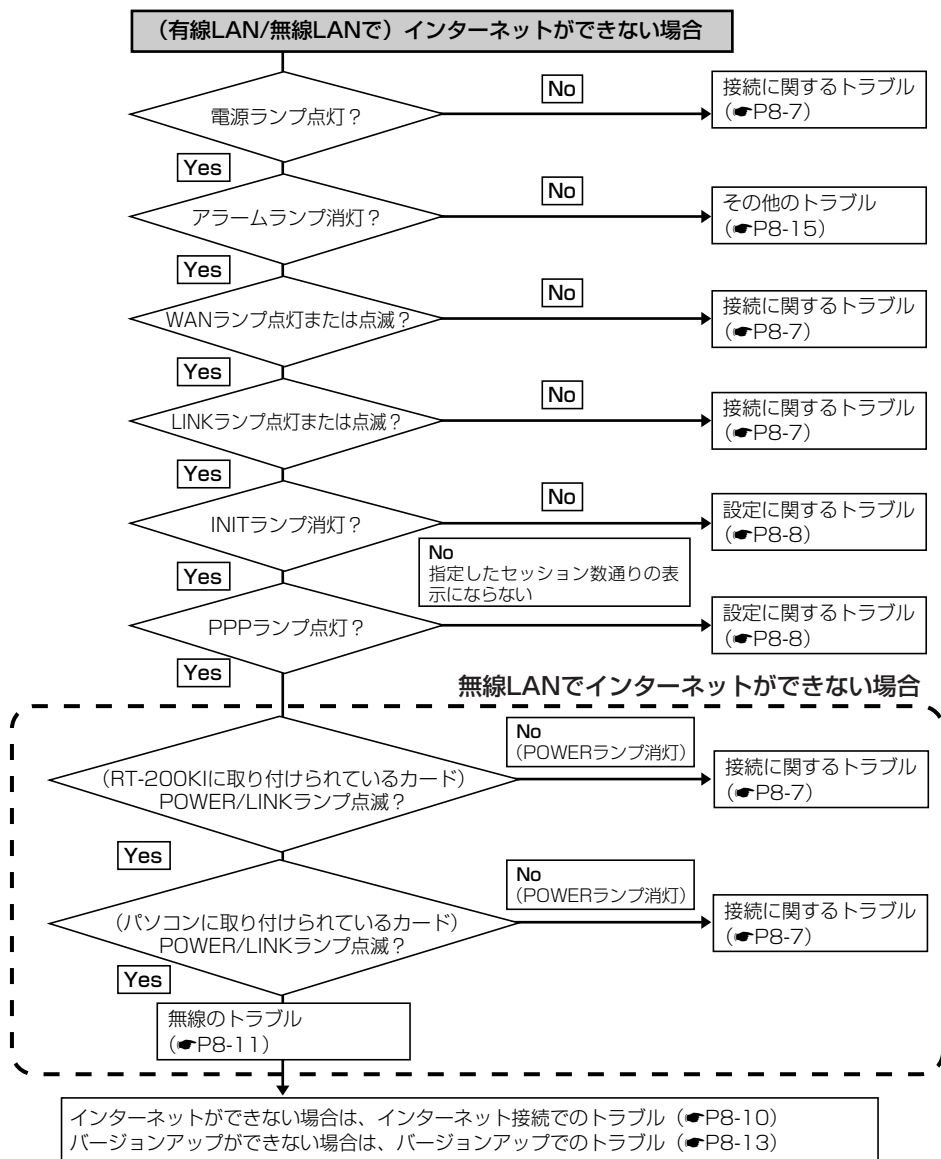
以下に、代表的な「症状」と確認手順をまとめました。

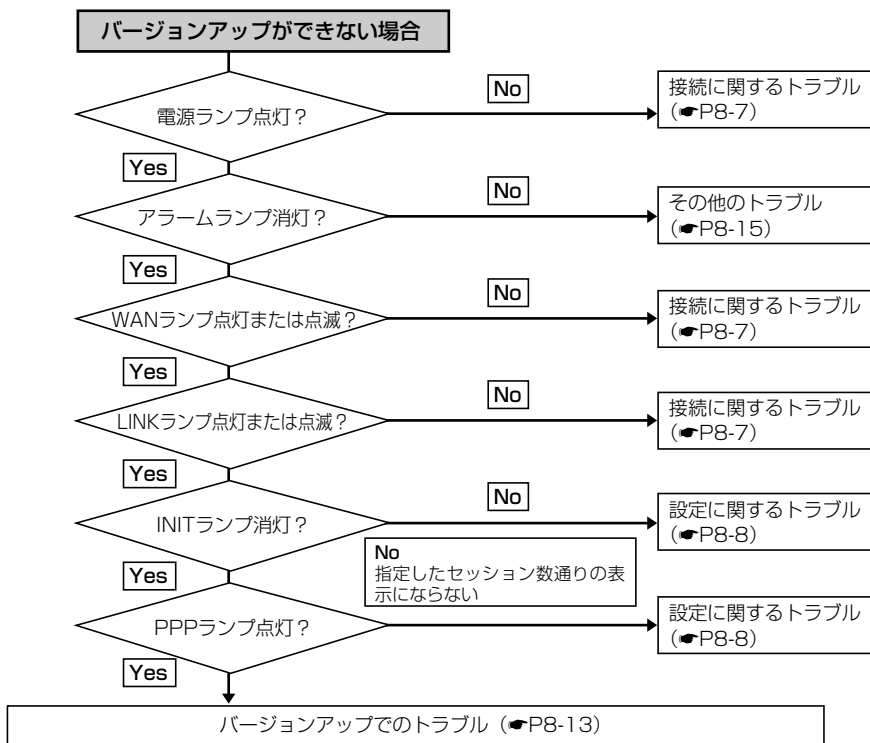
処置したあとに、症状が起きないことを確認してください。

該当する「症状」がない場合は、「トラブルシューティング」(●P8-7)を参照して該当する内容を検索してください。

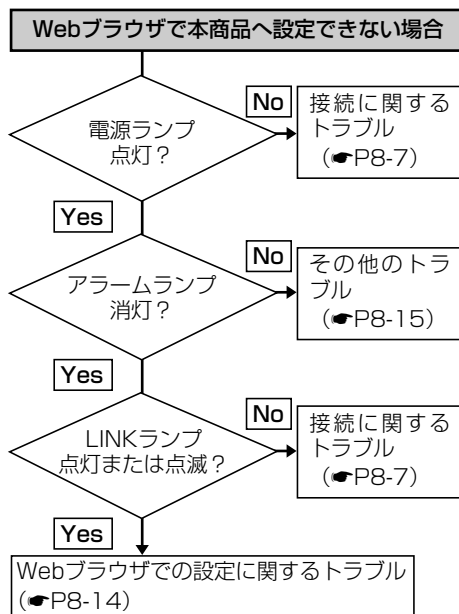
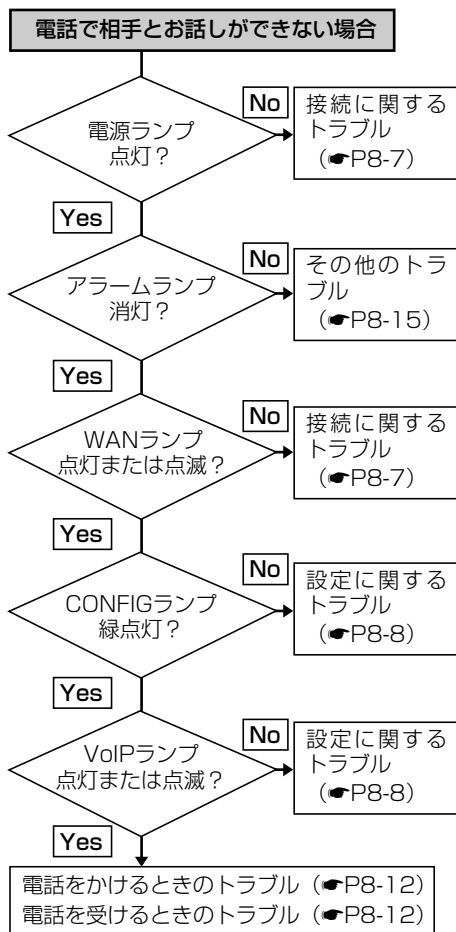


トラブルや疑問点がある場合





トラブルや疑問点がある場合



トラブルシューティング

●接続に関するトラブル

症状	原因と対策
電源ランプが緑点灯しない	電源が正しくつながっていない可能性があります。 ①ACアダプタが電源コンセントに差し込まれているか確認してください。（「回線を接続する」(●P2-2)） ②ACアダプタのケーブルが本商品に接続されているか確認してください。（「回線を接続する」(●P2-2)） 停電の可能性があります。 停電などで電源が切れたときは本商品をご使用になれません。ほかの電化製品の動作状況をお調べいただくなど、停電が発生していないかをご確認ください。 ACアダプタが破損している、ケーブルが断線している可能性があります。 他の電化製品をご利用の電源コンセントに接続して動作状況をお調べいただくなどして、電源が供給されていることをご確認ください。また本商品のACアダプタが破損していないこと、ケーブルが断線していないことをご確認ください。
WANランプが消灯している	ケーブルやモデムなど正しくつながっていない、または正しい順番で接続を行っていない可能性があります。 ①本商品と回線終端装置/VDSLモデム/RJ-45ポート等との接続構成を確認してください。（「回線を接続する」(●P2-2)） ②回線終端装置、VDSLモデムに電源が入っているか確認してください。
パソコンを接続したLAN側接続ポートのLINKランプが消灯している	ケーブルは正しくつながっていない、または正しい順番で接続を行っていない可能性があります。 ①本商品とパソコン等との接続構成を確認してください。（「回線を接続する」(●P2-2)、「通信の正常性を確認する」(●P8-27)） ②接続に問題がなければ、LANカードが正しく動作しているか確認してください。なお、LANカードについてのトラブルは、パソコンあるいはLANカードのメーカーにご相談ください。
無線LANカードのPOWER/LINKランプが消灯している（本商品）	本商品に無線LANカードが正しく取り付けられていない可能性があります。 カードスロットの奥まで正しく無線LANカードが取り付けられているか確認してください。（「本商品への無線LANカードの取り付け」(●P6-3)）
無線LANカードのPOWER/LINKランプが消灯している（パソコン）	パソコンに無線LANカードが正しく取り付けられていない可能性があります。 ①PCカードスロットの奥まで正しく無線LANカードが取り付けられているか確認してください。（「パソコンへ無線LANカードの設定をする」(●P6-4)） ②パソコンにPCカードスロットが複数ある場合には、他のPCカードスロットに差し替えてみてください。

トラブルシューティング

●設定に関するトラブル

症状	原因と対策
INITランプが赤点灯している	初期設定状態です。 インターネットができない場合は「初期情報設定」から本商品にインターネットの設定を行ってください。（「かんたん設定」(●P5-2)）
PPPランプが消灯している	インターネットサービスプロバイダ設定を行っていない、または設定した情報が誤っている可能性があります。 インターネットができない場合は、プロバイダの設定情報を参照して、「PPPoE設定」画面の「セッション設定」にて「使用するセッション」に設定した「接続先1～5」の「接続ユーザ名」、「接続パスワード」が正しい内容であるか確認してください。（●詳細取扱説明書「設定項目説明－PPPoE設定」） 使用するセッションがつながっていない可能性があります。 「装置状態表示」画面で「PPPoE状態」を確認してください。 すべて「未使用」「異常」「認証エラー」になっている場合は、PPPランプが消灯します。（「装置状態表示（状態表示）」を確認する（●P8-18）） 「PPPoE設定」画面で「接続モード」に「常時接続」を選択した接続先につなぐ場合には、「装置状態表示」画面から使用する「接続先」に対して「有効」の設定を行ってください。 「接続モード」に「要求時接続」を選択した接続先につなぐ場合には、本商品に接続しているパソコンなどから通信が要求されると、接続は必要に応じて自動的に行われます。ただし「自動切断までの時間」に設定した時間、接続先との通信がないと、通信状態ではないと判断してセッションが自動的に切断され、PPPランプは消灯します。 電源を入れる順番を誤っている可能性があります。 本商品と回線終端装置/VDSLモデムの電源を入れ直してください。電源を入れるときは回線終端装置/VDSLモデム→本商品の順番で行ってください。（「回線を接続する」(●P2-2)）
VoIPランプが消灯している	ひかり電話の接続が誤っている可能性があります。 ①本商品と回線終端装置/VDSLモデム/RJ-45ポート等との接続構成を確認してください。（「回線を接続する」(●P2-2)） ②本商品がひかり電話サービスをご利用いただけない状態になっている可能性があります。本商品の電源を入れ直してください。（「回線を接続する」(●P2-2)） ③ひかり電話を申し込んだ回線に接続しているか確認してください。

症状	原因と対策
CONFIGランプが緑点滅している	自動設定中です。 自動設定サーバと通信を行い、本商品の自動設定を行っています。VoIPランプとCONFIGランプが緑点灯するまでしばらくお待ちください。
CONFIGランプが赤点灯している	自動設定サーバとの接続で異常が発生しました。 ケーブルが正しく接続されていること、ひかり電話が開通していることを確認してください。 (「回線を接続する」 (●P2-2)) 「無線LAN簡単セットアップ」設定中です。 「無線LAN簡単セットアップ」の設定中です。CONFIGランプが緑点灯するまでしばらくお待ちください。 (「パソコンに装着した無線LANカードとの無線LANの設定をする (無線LAN簡単接続機能)」 (●P6-8)、 「ゲーム機との無線LANの設定をする (らくらく無線スタート)」 (●P6-12))
CONFIGランプが赤点滅している	ケーブルが正しくつながっていない、または正しい順番で接続を行っていない可能性があります。 ①本商品と回線終端装置/VDSLモデム/RJ-45ポート等との接続構成を確認してください。 (「回線を接続する」 (●P2-2)) ②回線終端装置/VDSLモデムに電源が入っているか確認してください。 ③ひかり電話が開通していることを確認してください。 自動設定サーバとの接続で異常が発生しました。 自動設定サーバとの通信中にエラー (その他のエラー) が発生しました。しばらくお待ちになったあとで本商品の電源を入れ直してください。改善しない場合は、当社のお問い合わせ先窓口へお問い合わせください。 「無線LAN簡単セットアップ」設定中です。 「無線LAN簡単セットアップ」の設定中です。「*」をダイヤルし、CONFIGランプが緑点灯するまでしばらくお待ちください。 (「ゲーム機との無線LANの設定をする (らくらく無線スタート)」 (●P6-12))

トラブルシューティング

●インターネット接続でのトラブル

症状	原因と対策
パソコンからインターネットへアクセスできない	パソコンの設定が誤っている可能性があります。 ①パソコンにIPアドレスが設定されているか確認してください。 (ipconfigコマンドなど) IPアドレスが正しく設定されていないときは、パソコンのIPアドレスの取得方法と本商品のDHCP設定に不一致がないか確認してください。 (「4章 パソコンを設定する」(●P4-1) および「パソコンのネットワーク設定」(●P9-2)) ②ブラウザやARP、DNSのキャッシュ情報をクリアするためにパソコンの再起動を実施してください。 ③本商品とパソコンの電源を入れ直してください。電源を入れるときは回線終端装置/VDSLモデム→本商品の順番で行ってください。(「回線を接続する」(●P2-2)) ④本商品からパソコンへPingを送信し、通信の正常性を確認してください。(「通信の正常性を確認する」(●P8-27)) パソコンがIPアドレスを正しく取得できていない可能性があります。 本商品に接続される機器数が割り当てるアドレス範囲を超えると、正常に接続ができなくなる場合があります。本商品が割り当てるアドレス範囲を変更する場合には、接続される機器数以上の範囲を指定してください。(●詳細取扱説明書「設定項目説明－DHCP設定」) ルータのインターネット接続設定が正しく行われていない場合があります。 PPPランプが緑点灯もしくは橙点灯しており、インターネット接続がされていることを確認してください。

●無線のトラブル

症状	原因と対策
無線LAN通信ができない	設定情報が誤っている可能性があります。 本商品とパソコンの設定を確認してください。(暗号化、無線ネットワーク名 (SSID) など。)(●詳細取扱説明書「設定項目説明－無線LAN設定－基本設定」、「設定項目説明－無線LAN設定－暗号化設定」) パソコンとの接続を制限している可能性があります。 MACアドレスフィルタリング設定の内容を確認してください。 (●詳細取扱説明書「設定項目説明－無線LAN設定－MACアドレスフィルタリング」) 設定場所に問題がある可能性があります。 設置場所を変えてください。 ・本商品とパソコンを壁から離してください。 ・パソコンを見通せる位置に本商品を設置してください。 ・本商品とパソコンをディスプレイや他のパソコンの近くには設置しないでください。(パソコンから信号強度、接続品質などを確認してください。) 他の通信機器と電波干渉が発生している可能性があります。 ①通信に使用しているチャンネルや動作モードを変更してください。(●詳細取扱説明書「設定項目説明－無線LAN設定－基本設定」) ②11bまたは11gを使用している場合は11aに変更してください。(●詳細取扱説明書「設定項目説明－無線LAN設定－基本設定」) 無線LAN端末の使用チャンネルが一致していない可能性があります。 本商品と接続する無線LAN端末の使用チャンネルが一致していることを確認してください。使用する無線LAN端末によっては、12ch,13chは使用できない場合があります。自動設定でつながらない場合は無線LAN端末の設定を確認して、使用チャンネルの設定を変更してください。
スループットが低下した	他の通信機器と電波干渉が発生している可能性があります。 通信に使用しているチャンネルを変更してください。(●詳細取扱説明書「設定項目説明－無線LAN設定－基本設定」)

トラブルシューティング

●電話をかけるときのトラブル

症状	原因と対策
ハンドセット（受話器）を取りあげても発信音が聞こえない	電話機コードがつながっていない可能性があります。 本商品と電話機を接続している電話機コードを含め機器の接続構成を確認してください。（「回線を接続する」（●P2-2））
相手先が応答しない	かけた電話番号が誤っている可能性があります。 相手先の電話番号を確認してください。
ひかり電話が利用できない（アラーム、PPP、VoIPランプが遅い点滅をしている）	バージョンアップを実行中です。 PPPランプが緑点灯または橙点灯するまで電源を切らずにお待ちください。電話機のハンドセット（受話器）を取りあげて「ツー」という発信音が聞こえることをご確認の上、おかけ直してください。（「自動バージョンアップ機能を利用してバージョンアップする」（●P7-3））
ひかり電話が利用できない（その他）	ACR(LCR)機能や、0036、0039等の自動付与機能が設定されている可能性があります。 本商品に接続している電話機のACR(LCR)機能や、0036、0039等の事業者識別番号自動付与機能が動作している場合、ひかり電話が使用できない場合があります。必ず電話機のACR(LCR)機能または、0036、0039等の事業者識別番号自動付与機能を無効にしてください。 ひかり電話に非対応の電話機を接続している可能性があります。 i・トレンビーやG4FAX等のISDN対応電話機は使用できません。ひかり電話に対応した電話機を接続してください。 「ツー」という発信音をご確認ください。 通話切断後、続けて電話をご利用になる場合は、ハンドセット（受話器）を2秒以上置いてから、「ツー」という音を確認したあとダイヤルしてください。 ひかり電話サービス対象外のダイヤルを利用している可能性があります。 ひかり電話をご利用できない電話番号をダイヤルしている場合があります。電話番号をご確認ください。（「ひかり電話で接続できる番号」（●P3-32））
ハンドセット（受話器）を取り上げると「ピーピーピー」と音がする	問題ありません。最新のファームウェアがあることを通知しています。 最新のファームウェアがあることを通知しています。ファームウェアの更新を行ってください。正常動作です。（「バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする」（●P7-6））

●電話を受けるときのトラブル

症状	原因と対策
着信時にハンドセット（受話器）をあげると切れてしまう	ナンバー・ディスプレイ対応設定が誤っている可能性があります。 本商品のナンバー・ディスプレイの設定が「使用する」、電話機のナンバー・ディスプレイの設定が「なし」の状態では着信があると、はじめに短い呼出音が5～6回鳴り、このとき電話に出ると切れてしまいます。本商品と電話機の設定を確認してください。（「ナンバー・ディスプレイ」（●P3-10））
通話終了後にハンドセット（受話器）を置くと呼出音が鳴る	保留されている通話があります。 フッキング（●P3-9）して通話を保留し、別の相手先と通話したあとにハンドセット（受話器）を置いたときには呼出音が鳴ります。応答すると保留されていた相手との通話に戻ります。

●バージョンアップでのトラブル

症状	原因と対策
ファームウェア更新が突然実行される	問題ありません。最新のファームウェアへの更新を行っています。 ネットワーク上の当社のサーバからの緊急のバージョンアップを要するファームウェアが提供された場合「ファームウェア更新種別」の設定に関わらず、強制的に最新ファームウェアへの更新を行います。電源を抜いたりせず、そのまましばらくお待ちください。
「アップデート状態」に「更新の確認に失敗しました。」と表示される	セッションが切断されている可能性があります。 CONFIGランプ、VolPランプが緑点灯していることを確認してください。消灯しているときは本商品を再起動後、「装置状態表示」画面の「更新確認」をクリックし、更新された「アップデート状態」の表示内容にしたがってバージョンアップを行ってください。（「バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする」（●P7-9））
「アップデート状態」に「ファームウェアのダウンロードに失敗しました。」と表示される	セッションが切断されている可能性があります。 CONFIGランプ、VolPランプが緑点灯していることを確認してください。消灯しているときは本商品を再起動後、「装置状態表示」画面の「更新確認」をクリックし、更新された「アップデート状態」の表示内容にしたがってバージョンアップを行ってください。（「バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする」（●P7-11））
設定画面から「ダウンロード実行」をクリックしても、ダウンロードが始まらない	通話中の可能性があります。 通話終了後に自動的にダウンロードが開始されます。 （「バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする」（●P7-11））
「アップデート状態」に「ファームウェアの更新に失敗しました。」と表示される	セッションが切断されている可能性があります。 CONFIGランプ、VolPランプが緑点灯していることを確認してください。消灯しているときは本商品を再起動後、「装置状態表示」画面の「更新確認」をクリックし、更新された「アップデート状態」の表示内容にしたがってバージョンアップを行ってください。（「バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする」（●P7-11））
Mac OSのパソコンからバージョンアップができない	拡張子が誤っている可能性があります。 ファームウェアをダウンロードするときに、拡張子をbinからfooなどの任意の文字に変更してから保存してください。
電話機の操作でバージョンアップができない	IP端末から操作している可能性があります。 TEL1/TEL2ポートに接続された電話機から操作を行ってください。 TEL1/TEL2ポートに接続された電話機の内線種別が「PB」になっていない可能性があります。 電話機の内線種別が「PB」になっているか確認してください。

トラブルシューティング

●Webブラウザでの設定に関するトラブル

症状	原因と対策
Webブラウザで本商品にログインできない	パソコンの設定、IPアドレスの取得に問題がある可能性があります。 「●インターネット接続でのトラブル」(●P8-10)に記載されている内容を確認してください。 ユーザ名/パスワードが誤っている可能性があります。 正しいユーザ名/パスワードを入力してください。 ・ユーザ名：admin ・パスワード：初期設定で入力したもの ※パスワードは忘れないようにメモして安全な場所に保管してください。 お忘れになった場合は、本商品を初期化してください。(「本商品の初期化について」(●P9-9)) パスワードを変更したあとに「反映」していない可能性があります。 パスワードを変更したときは「反映」を必ずクリックしてください。忘れると、再起動したあとや本商品の電源を入れ直したあとに元のパスワードへ戻ってしまいます。(「パスワード設定」(●P4-11))
Webブラウザで本商品にログイン後、「接続回線検索中」画面が表示される	CONFIGランプが緑点灯することを確認したあと、Webブラウザを閉じて、再度ログインを試みてください。(「かんたん設定」(●P5-2))
Webブラウザで変更した通りに動作しない	本商品の設定変更後、「反映」していない可能性があります。 「反映」をクリックしてください。(「設定したデータで運用するには」(●P4-9)) Webブラウザの適切なバージョンをパソコンにインストールしていない可能性があります。 インストールをされていない場合には雑誌の付録CD-ROM等からインストールを行ってください。また、インターネット環境が既にある場合は、マイクロソフト社のホームページからダウンロードをすることも可能です。(「設定の流れ」(●P4-2))
ファームウェア更新や「反映」、「初期設定へ戻す」、「再起動」クリックなどにより、システム更新後または再起動後に「かんたん設定」画面が表示されない(「ページを表示できません」画面が表示される)	・アラームランプが消灯したあと、CONFIGランプが点灯することを確認してください。 ・次に、[スタート]-[コントロールパネル]を選択し、[ネットワークとインターネット接続]をクリックし、「ネットワーク接続」をクリックして開きます。 ・切断する接続を右クリックして「無効にする」を選択します。アクティブにする接続を右クリックして、「有効にする」を選択してください。 ・以上の手順で、パソコンに設定されているネットワーク情報を更新したあと、Webブラウザのアドレス入力欄に「http://ntt.setup/」と入力して再度接続を試みてください。

●その他のトラブル

症状	原因と対策
アラームランプが点灯している	異常が発生しました。 本商品の電源を入れ直しても改善しない場合は、当社のお問い合わせ先窓口へお問い合わせください。
アラーム、PPP、VoIPランプが遅い点滅をしている	バージョンアップを実行中です。 PPPランプが緑点灯（2セッション以上接続時は橙点灯）するまで電源を切らずにお待ちください。 （「7章 バージョンアップする」(P7-1)）
アラーム、PPP、VoIPランプが速い点滅をしている	異常が発生しました。 当社のお問い合わせ先窓口へお問い合わせください。
アラームランプが点滅している	「無線LAN簡単セットアップ」が失敗している可能性があります。 「無線LAN簡単セットアップ」の設定に失敗しています。「無線LAN簡単セットアップ」が成功しない」を参照してください。(P8-16) 異常が発生しました。 本商品の電源を入れ直しても改善しない場合、当社のお問い合わせ先窓口へお問い合わせください。
ひかり電話の付加サービス設定（ボイスワープ、迷惑電話おことわりサービスなど）ができない	IP端末から操作している可能性があります。 TEL1/TEL2ポートに接続された電話機から操作を行ってください。 TEL1/TEL2ポートに接続された電話機の回線種別が「PB」になっていない可能性があります。 電話機の回線種別が「PB」になっているか確認してください。
電話機の操作でTEL1/TEL2ポートの設定ができない	設定ダイヤルが誤っている可能性があります。 設定ダイヤルを押したあとに「ブブ、ブブ、・・・」という受付音が聞えない場合は、設定ダイヤルが間違っています。いったんハンドセット（受話器）を置いてから、設定操作をやり直してください。 TEL1/TEL2ポートに接続された電話機の回線種別が「PB」になっていない可能性があります。 電話機の回線種別が「PB」になっているか確認してください。ハンドセット（受話器）から「ピッ、ポッ、パッ」という音が聞こえた場合でも、最初に押した「*」が電話機に対するPB指定と解釈されて誤った設定ダイヤルになっている可能性があります。 優先着信ポートが有効になっている可能性があります。 優先着信ポートを有効に設定した場合、アナログポート無効化は設定できません。アナログポート無効化の設定を行うと「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れます。TEL1/TEL2ポートを無効に設定する場合は、優先着信ポートの設定を無効にしてください。アナログポート無効化とあわせて他の設定を一度に行った場合は、他の設定もやり直してください。

トラブルシューティング

症状	原因と対策
「無線LAN簡単セットアップ」が成功しない	本商品に対して他の設定を行っている可能性があります。 電話機を使用している場合、またはファームウェア更新中の場合は「無線LAN簡単セットアップ」は動作しません。設定が終了してから、再度「無線LAN簡単セットアップ」を実行してください。 本商品に無線LANカードが正しく取り付けられていない可能性があります。 カードスロットの奥まで正しく無線LANカードが取り付けられているか確認してください。 〔本商品への無線LANカードの取り付け〕（●P6-3） 本商品の「使用するWEPキー（キーインデックス）」がWEPキー1になっていない可能性があります。 ゲーム機（無線LAN端末）でWEPキー2～4は対応していない場合があります。設定を確認してください。 本商品と接続する無線LAN機器で使用可能な暗号方式や暗号化強度が一致していない可能性があります。 ゲーム機の取扱説明書などで確認し、本商品にゲーム機で使用可能な暗号化設定を行ってください。 （●詳細取扱説明書「設定項目説明-無線LAN設定-暗号化設定」） MACアドレスフィルタリングテーブルのすべてのエントリが登録済みになっている可能性があります。 本商品のMACアドレスフィルタリングを有効にしている場合、フィルタリングするMACアドレスの情報が32個設定されていると、「無線LAN簡単セットアップ」を実行することはできません。MACアドレスフィルタリングの設定を確認してください。 （●詳細取扱説明書「設定項目説明-無線LAN設定-MACアドレスフィルタリング」） TEL1／TEL2ポートに接続された電話機の内線種別が「PB」になっていない可能性があります。 電話機の内線種別が「PB」になっているか確認してください。

症状	原因と対策
「らくらく無線スタート」が成功しない	インターネットに接続できていない可能性があります。 本商品正面のPPPランプが消灯している場合は、インターネットに接続できません。「無線LAN簡単セットアップ」で無線LAN設定後、ゲーム機（無線LAN端末）からのインターネット接続の確認に失敗する場合は、「トラブルや疑問点がある場合」（●P8-4）を参照して、本商品の接続や設定を確認してください。 本商品の暗号化設定がされていない可能性があります。 「らくらく無線スタート」は「暗号化設定」画面の「暗号方式」が「OFF」の場合は動作しません。本商品の暗号化設定を行ってください。 （●詳細取扱説明書「設定項目説明-無線LAN設定-暗号化設定」） 「無線動作モード」が「11a」になっている可能性があります。 ゲーム機が「11a」に対応していない場合があります。「基本設定」画面の「無線動作モード」で本商品の「無線動作モード」を確認してください。 （●詳細取扱説明書「設定項目説明-無線LAN設定-基本設定」） 本商品の暗号化設定がWPA2-PSK に設定されている可能性があります。 本商品の無線の暗号化がWPA2-PSKに設定された状態で「らくらく無線スタート」を実行すると設定に失敗します。無線動作モードがIEEE802.11g/IEEE802.11b互換またはIEEE802.11a固定のゲーム機と接続する場合は、本商品のSSID-1の無線の暗号化設定を確認してください。無線動作モードがIEEE802.11b固定のゲーム機と接続する場合は、本商品のSSID-2の無線の暗号化設定を確認してください。

装置状態表示（状態表示）を確認する

本商品の装置状態を表示することができます。（30秒ごとに最新の情報を表示します。）

1 メニューから「状態表示」－
「装置状態表示」をクリックしま
す

2 「装置状態表示」画面が表示され
ます

装置状態表示

ヘルプ？

バージョン

現在のバージョン	最新のバージョン
ファームウェアバージョン	
ファームウェアリリース日	新しい更新はありません。
ファームウェア手動アップデート	

ファームウェア更新

更新確認

ダウンロード

PCカード情報

無線LANの状態	通信中
動作モード	11b/g
使用チャンネル	12(auto)

無線LAN規格(SSID-1)

無線ネットワーク名(SSID-1)	RT200K1-XXXXXXXXXX-1
MACアドレス(無線)	00:00:00:00:00:00
MACアドレスフィルタリング	使用しない
無線の暗号化	WPA-PSK(TKIP)
加入台数	0

無線LAN規格(SSID-2)

無線ネットワーク名(SSID-2)	RT200K2-XXXXXXXXXX-2
MACアドレス(無線)	00:00:00:00:00:00
MACアドレスフィルタリング	使用する
無線の暗号化	WEP
加入台数	0

動作状態

WANポートの状態	異常	SSIDの状態	正常
LAN1ポートの状態	正常	SSID1の状態	正常
LAN2ポートの状態	未接続	SSID2の状態	正常
LAN3ポートの状態	正常	WiFi電話の状態	利用可
LAN4ポートの状態	未接続		

DHCPクライアント取得状況

最初/再取得	成功
ネットワーク情報設定状態	設定が完了しました。
アドレス/マスク長	
リース期間	無限
ブライダル(DNSサーバ)アドレス	
セカンダリ(DNSサーバ)アドレス	
DNS検索パスアドレス	
無線端末登録ボタン	

運用設定値

無線LANのアドレス	00:00:00:00:00:00
無線LANのMACアドレス	00:00:00:00:00:00
無線LANの取得アドレス/マスク長	00:00:00:00:00:00
無線LANの取得デフォルトゲートウェイ	00:00:00:00:00:00

SSID-1の状態

有効/無効	状態	取得IPアドレス/マスク長	ブライダル/DNS セカンダリ/DNS
接続先1	有効	異常	
接続先2	有効	未使用	
接続先3	有効	異常	
接続先4	有効	未使用	
接続先5	有効	未使用	



お知らせ

- Bフレッツをご利用の際は、「DHCPクライアント取得状況」が表示されない場合がございます。詳しくは詳細取扱説明書「装置状態表示」をご参照ください。

(1) バージョン

本商品のファームウェアの状態を表示します。

項 目	内 容
ファームウェアバージョン	現在のバージョン 現在のファームウェアバージョンです。 最新のバージョン アップデートサーバにあるファームウェアバージョンです。
アップデート状態	本商品のファームウェアのアップデート状態を表示します。 ①「新しい更新はありません」 本商品に最新版のファームウェアが登録されている状態です。通常はこの表示になります。 ②「更新を確認しています」 サーバへファームウェアの登録情報を確認している状態です。 ③「新しい更新があります。ダウンロードを実行すると、ファームウェアが更新されます」 サーバに最新のファームウェアが登録された状態です。本商品のファームウェアを更新してください。 ④「更新の確認に失敗しました」 サーバのファームウェア登録状況確認が正常終了しなかった状態です。 ⑤「ファームウェアをダウンロード中です」 サーバのファームウェアを本商品にダウンロードしている状態です。 ⑥「ファームウェアのダウンロードに失敗しました」 サーバから本商品へのファームウェアダウンロードが正常に終了しなかった状態です。 ⑦「ファームウェアの更新に失敗しました」 ファームウェアの更新が正常終了しなかった状態です。 ⑧「電話機設定中です」 電話機（アナログ端末）にてプッシュボタンによる設定またはバージョンアップ操作中の状態です。

(2) ファームウェア手動アップデート

ファームウェア手動アップデートについては、「バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする（●P7-6）」を参照してください。

8
故障かな？と
思ったらな？と

（次ページに続く）

装置状態表示（状態表示）を確認する

(3) PCカード情報

本商品のカードスロットに装着されている無線LANカードの情報を表示します。

項 目	内 容
無線LAN状態	無線LAN状態を表示します。
動作モード	無線LANの種別を表示します。 「11b+g」：IEEE802.11b & IEEE802.11g 「11g」：IEEE802.11g 「11a」：IEEE802.11a
使用チャンネル	無線LANの使用チャンネルを表示します。

(4) 無線LAN情報（SSID-1／SSID-2）

各SSIDの設定状態を表示します。

項 目	内 容
無線ネットワーク名（SSID）	無線ネットワーク名（SSID）を表示します。
MACアドレス（無線）	無線LANインタフェースのMACアドレスを表示します。
MACアドレスフィルタリング	MACアドレスフィルタリング機能の使用有無を表示します。
無線の暗号化	設定されている暗号化方式を表示します。
加入台数	接続している無線LAN端末の台数を表示します。

(5) 動作状態

各所の状態を表示します。

項 目	内 容
WANポート状態	WAN側インタフェースのリンク状態を表示します。 「正常」：回線が正常に接続されています。 「異常」：回線の接続が未接続または異常の状態です。 WAN側接続ポートのLANケーブルの接続に間違いがないか、奥まできちんと差し込まれているかを（1回抜き差しして）確認してください。（「回線を接続する」(●P2-2)）
LAN1～4ポート状態	LAN1～LAN4側インタフェースの各リンク状態を表示します。 「正常」：回線が正常に接続されています。 「未接続」：回線の接続が未接続または異常の状態です。 LAN側接続ポートのLANケーブルの接続に間違いがないか、奥まできちんと差し込まれているかを（1回抜き差しして）確認してください。（「回線を接続する」(●P2-2)）
DSP状態	本商品のハードウェア（信号変換部）の状態を表示します。 「正常」：通常は「正常」と表示します。 「異常」：いったん、本商品の電源を切り、TELポートと電話機コードの接続に間違いがないか、奥まで差し込まれているかを（1回抜き差しして）確認してください。（「回線を接続する」(●P2-2)） そのあと、再度電源を入れてください。それでも「正常」とならない場合は、当社のお問い合わせ先窓口までお問い合わせください。
SLIC（1）の状態 SLIC（2）の状態	本商品のハードウェア（TEL制御部）の状態を表示します。 「正常」：通常は「正常」と表示します。 「異常」：いったん、本商品の電源を切り、TELポートと電話機コードの接続に間違いがないか、奥まで差し込まれているかを（1回抜き差しして）確認してください。（「回線を接続する」(●P2-2)） そのあと、再度電源を入れてください。それでも「正常」とならない場合は、当社のお問い合わせ先窓口までお問い合わせください。
ひかり電話状態	ひかり電話のサービス状況を表示します。 「利用可」：ひかり電話がご利用可能な状態です。 「利用不可」：ひかり電話がご利用いただけない状態です。

装置状態表示（状態表示）を確認する

(6) 運用設定値

装置情報を表示します。

項 目	内 容
WAN側MACアドレス	本商品のWAN側のMACアドレスを表示します。
LAN側MACアドレス	本商品のLAN側のMACアドレスを表示します。
WAN側取得IPアドレス/ マスク長	本商品のWAN側が取得しているIPアドレスおよびサブ ネットマスクを表示します。
WAN側取得デフォルト ゲートウェイ	本商品のWAN側が取得しているデフォルトゲートウェイ を表示します。

(7) PPPoE状態

PPPoEセッションの有効／無効設定を行います。

「PPPoE設定」画面の「セッション設定」で指定した接続先の「有効」／「無効」を指示することができます。

項 目	内 容
有効／無効	有効：接続完了： 「接続モード」を「常時接続」として、PPPの接続が正常に行われました。 接続失敗： ネットワークに問題があるため、PPPの接続が行えませんでした。しばらく待ってもう一度お試しください。この問題が続くときは、当社のお問い合わせ先窓口までお問い合わせください。 認証エラー： 「PPPoE設定」画面の「セッション設定」で指定した接続先の情報が正しく設定されていません。認証内容をご確認の上、もう一度お試しください。 PPPoE処理中： 現在、PPPoE処理を実行しています。しばらく待って装置状態表示画面のPPPoE状態をご確認ください。 既に接続中： 既にPPPが接続されています。 エラー： PPPの接続中または接続先情報が設定されていません。「PPPoE設定」画面の「セッション設定」と「接続先」の情報を設定してください。 設定完了： 「接続モード」を「要求時接続」としてPPPoEの設定が完了しました。 本商品に接続しているパソコンなどから通信が要求されるなど、PPPの接続は必要に応じて自動的に行われます。 「自動切断までの時間」に設定した時間、接続先との通信がない場合は、セッションは切断されます。

項 目	内 容
有効／無効（つづき）	無効：切断完了： 「接続モード」が「常時接続」の場合、PPPの切断が正常に行われました。 「接続モード」が「要求時接続」の場合、PPPは切断され、「要求時接続」は無効となり、接続は自動的には行われなくなりました。 未接続： PPPは切断状態です。 「接続モード」が「要求時接続」の場合、設定は無効となっているため、接続は自動的には行われません。 通話中： 通話中のため、PPPの切断を行うことができません。通話を終了してから、もう一度実行してください。 PPPoE処理中： 現在、PPPoE処理を実行しています。しばらく待って装置状態表示画面のPPPoE状態をご確認ください。
状態	各接続先の状態を表示します。
取得IPアドレス／マスク長	本商品のPPPoEが取得しているIPアドレスおよびマスク長を表示します。
プライマリDNS セカンダリDNS	本商品のPPPoEが取得しているプライマリDNSおよびセカンダリDNSのIPアドレスを表示します。

内線端末状態表示（状態表示）を確認する

1 メニューから「状態表示」－「内線端末状態表示」をクリックします

2 「内線端末状態表示」画面が表示されます

内線端末状態表示 ヘルプ

ファログ端末状態			
ファログ端末TEL1			
内線端末の状態	利用不可		
内線番号 / 着信音	1		/着信音2(SIR)
通話番号	03-6699-0000		
着信番号1 / 着信音	03-6699-0000		/着信音1(SIR)
着信番号2 / 着信音	03-6699-0001		/着信音1(SIR)
着信番号3 / 着信音	03-6699-0002		/着信音1(SIR)
着信番号4 / 着信音	03-6699-0003		/着信音1(SIR)
着信番号5 / 着信音	03-6699-0004		/着信音1(SIR)
デジタルホンディスプレイ	使用する		
キャッチホンディスプレイ	使用しない		
モデムダイヤルイン	使用しない		
着信音選択	使用する		
ダイヤル和音タイマ	4 秒		
エコーキャンセル	使用する		
ファログ端末TEL2			
内線端末の状態	利用不可		
内線番号 / 着信音	2		/着信音2(SIR)
通話番号	03-6699-0000		
着信番号1 / 着信音	03-6699-0000		/着信音1(SIR)
着信番号2 / 着信音	03-6699-0001		/着信音1(SIR)
着信番号3 / 着信音	03-6699-0002		/着信音1(SIR)
着信番号4 / 着信音	03-6699-0003		/着信音1(SIR)
着信番号5 / 着信音	03-6699-0004		/着信音1(SIR)
デジタルホンディスプレイ	使用する		
キャッチホンディスプレイ	使用しない		
モデムダイヤルイン	使用しない		
着信音選択	使用する		
ダイヤル和音タイマ	4 秒		
エコーキャンセル	使用する		
IP端末状態			
IP-端末1			
内線端末の状態	利用不可		
内線番号	3		
通話番号	03-6699-0000		
着信番号1	03-6699-0000		
着信番号2	03-6699-0001		
着信番号3	03-6699-0002		
着信番号4	03-6699-0003		
着信番号5	03-6699-0004		
着信音選択	着信専用端末		
MACアドレス			
ユーザ名	0003		
IPアドレス	010.0.0		
IP宛先ID			
IP-端末2			
内線端末の状態	利用不可		
内線番号	4		
通話番号	03-6699-0000		
着信番号1	03-6699-0000		
着信番号2	03-6699-0001		
着信番号3	03-6699-0002		
着信番号4	03-6699-0003		
着信番号5	03-6699-0004		
着信音選択	着信専用端末		
MACアドレス			
ユーザ名	0004		
IPアドレス	010.0.0		
IP宛先ID			
IP-端末3			
内線端末の状態	利用不可		
内線番号	5		
通話番号	03-6699-0000		
着信番号1	03-6699-0000		
着信番号2	03-6699-0001		
着信番号3	03-6699-0002		
着信番号4	03-6699-0003		
着信番号5	03-6699-0004		
着信音選択	着信専用端末		
MACアドレス			
ユーザ名	0005		
IPアドレス	010.0.0		
IP宛先ID			

■アナログ内線端末状態

(1) アナログ端末TEL1／アナログ端末TEL2

アナログ端末TEL1（TEL1ポート）/TEL2（TEL2ポート）の状態を表示します。

項 目	内 容
アナログ端末の状態	アナログ端末の状態を表示します。 「利用可」：利用可能状態です。 「利用不可」：回線が利用できません。「内線番号一覧」画面で登録状態を確認してください。 ・本商品の電源を入れた直後、またはシステム更新直後はこの状態となります。しばらくお待ちください。 ・WAN側接続ポートのLANケーブルの接続に間違いがないか、奥まで差し込まれているかを（1回抜き差しして）確認してください。（「回線を接続する」（P2-2）） ・誤ってハンドセット（受話器）が電話機から外れた場合に表示することがあります。ハンドセット（受話器）を確認してください。 「利用停止」：「内線番号一覧」画面の「収容端末選択」が「無効」に設定されています。「有効」に変更してください。
内線番号／着信音	アナログ端末の内線番号をその着信音を表示します。
通知番号	アナログ端末の発信番号を表示します。
着信番号1／着信音	アナログ端末の着信番号1とその着信音を表示します。
着信番号2／着信音	アナログ端末の着信番号2とその着信音を表示します。
着信番号3／着信音	アナログ端末の着信番号3とその着信音を表示します。
着信番号4／着信音	アナログ端末の着信番号4とその着信音を表示します。
着信番号5／着信音	アナログ端末の着信番号5とその着信音を表示します。
ナンバー・ディスプレイ	アナログ端末のナンバー・ディスプレイ機能の設定状態を表示します。
キャッチホン・ディスプレイ	アナログ端末のキャッチホン・ディスプレイ機能の設定状態を表示します。
モデムダイヤルイン	アナログ端末のモデムダイヤルイン機能の設定状態を表示します。
割込音通知	複数チャンネル（ダブルチャンネル）契約時の割込音通知の設定状態を表示します。
ダイヤル桁間タイマ	アナログ端末のダイヤル桁間タイマの設定状態を表示します。
エコー・キャンセラ	アナログ端末のエコー・キャンセラの設定状態を表示します。

■IP端末状態

(1) IP端末1／IP端末2／IP端末3／IP端末4／IP端末5

IP端末の状態を表示します。

項 目	内 容
IP端末の状態	IP端末の状態を表示します。 「利用可」：利用可能（通話待ち）状態です。 「利用不可」：回線が利用できません。「内線番号一覧」画面で状態を確認してください。 ・本商品の電源を入れた直後、またはシステム更新直後はこの状態となります。しばらくお待ちください。 ・WAN側接続ポートのLANケーブルの接続に間違いがないか、奥まで差し込まれているかを（1回抜き差しして）確認してください。（「回線を接続する」（P2-2）） ・誤ってハンドセット（受話器）が電話機から外れた場合に表示することがあります。ハンドセット（受話器）を確認してください。
内線番号	IP端末の内線番号を表示します。
通知番号	IP端末の発信番号を表示します。
着信番号1	IP端末の着信番号1を表示します。
着信番号2	IP端末の着信番号2を表示します。
着信番号3	IP端末の着信番号3を表示します。
着信番号4	IP端末の着信番号4を表示します。
着信番号5	IP端末の着信番号5を表示します。
端末属性	IP端末の端末属性を表示します。
ユーザ名	IP端末のユーザ名を表示します。
MACアドレス	IP端末のMACアドレスを表示します。
IPアドレス	IP端末のIPアドレスを表示します。
IP端末ID	IP端末の端末IDを表示します。

通信の正常性を確認する

Pingを送信する

相手先装置にPingを送信し、正常に接続できることを確認することができます。

- 1 メニューから「保守」－「Ping送信」をクリックします

- 2 「Ping送信」画面が表示されます

Ping送信

ヘルプ?

Ping送信を実行します

送信先IPアドレス

実行

結果

通信に成功しました。

送信結果

```
PING 192.168.1.1 (192.168.1.1): 56 data bytes
64 bytes from 192.168.1.1: icmp_seq=0 ttl=255 time=0.1 ms
64 bytes from 192.168.1.1: icmp_seq=1 ttl=255 time=0.2 ms
64 bytes from 192.168.1.1: icmp_seq=2 ttl=255 time=0.3 ms

--- 192.168.1.1 ping statistics ---
3 packets transmitted, 3 packets received, 0% packet loss
round-trip min/avg/max = 0.1/0.2/0.3 ms
```

- ①Pingの送信先IPアドレスを入力します。
- ②「実行」をクリックします。
- ③Pingの送信結果が表示されます。

9 付録

パソコンのネットワーク設定	9-2
無線IP端末の設定をする	9-8
本商品の初期化について	9-9
ひかり電話と他のサービスの 同時利用について	9-11
ASCIIコード表	9-14
索引	9-15
仕様	9-17

パソコンのネットワーク設定

Windows® 7およびWindows Vista®以外のパソコンのネットワーク設定について説明します。下記の手順に従って、パソコンを設定してください。設定の流れは次のとおりです。

- Windows® XP の場合 (●下記)
- Mac OS Xの場合 (●P9-5)

設定後は「Webブラウザの設定」(●P4-6)に進んでください。

インターネットプロパティとネットワークの設定 (Windows® XPの場合)

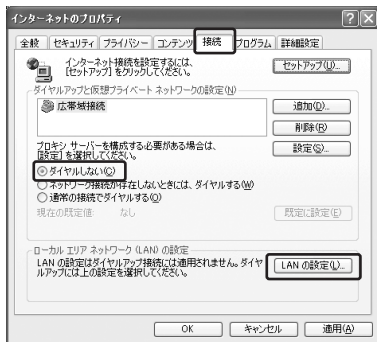
これまでインターネットに接続していた場合は、インターネットプロパティの内容を確認してください。以下の画面例はInternet Explorer 6.0です。その他のブラウザをご利用の場合は、各ブラウザのヘルプを参照してください。

1 「スタート」－「コントロールパネル」をクリックします

2 「ネットワークとインターネット接続」をクリックし、「インターネットオプション」をクリックします

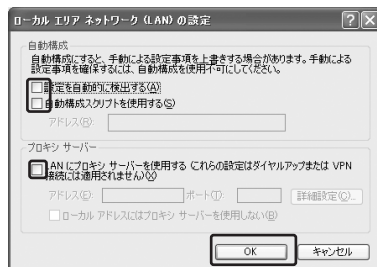
3 「接続」タブをクリックし、「ダイヤルしない」を選択します

※ダイヤルアップを実施していない場合はチェックできないようになっています。「ダイヤルしない」にチェックがついていることを確認してください。



4 「LANの設定」をクリックします

5 「設定を自動的に検出する」、「自動構成スクリプトを使用する」、「LANにプロキシサーバーを使用する」のチェックを外します



6 「OK」をクリックします

7 「OK」をクリックします

8 「ネットワーク接続」をクリックします



お知らせ

- Internet Explorer 6.0 (サービスパック2) 以上がインストールされていることをご確認ください。インストールされていない場合には、雑誌の付録CD-ROMなどからインストールを行ってください。また、インターネット環境が既にある場合は、マイクロソフト社のホームページから最新のブラウザをダウンロードすることができます。
- フレッツ接続ツールを使用する必要はありません。
- Internet Explorerを初めて起動したとき、「インターネット接続ウィザード」が表示されることがあります。この場合「キャンセル」をクリックしてウィザードをいったん終了してください。(「インターネット接続ウィザード」の詳しい設定手順は、Internet Explorerのヘルプなどをご参照ください。)

9 「広帯域」の欄に、PPPoEの設定がされている場合は、「広帯域」に表示されているPPPoEのアイコンを右クリックして、表示されるサブメニューの「既定の接続を解除」を選択し、クリックしてください

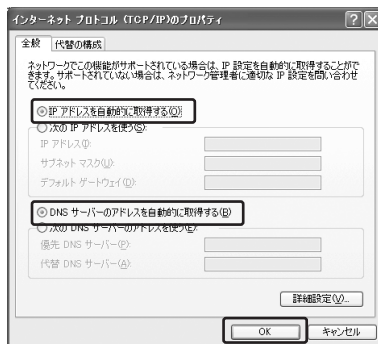
10 「ローカルエリア接続」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします

11 「全般」タブをクリックし、「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択して、「プロパティ」をクリックします

※一覧に表示されているチェックは外さないでください。



12 「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」をチェックします



13 「OK」をクリックします

14 「OK」をクリックします

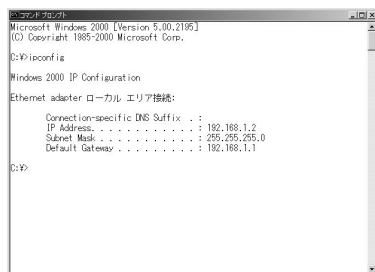
パソコンのネットワーク設定

ネットワークの設定を確認する (Windows® XPの場合)

パソコン(LANカード)と本商品が正しく接続・設定されているか確認したい場合、Windows® XPではコマンドプロンプトを起動して操作します。

1 「スタート」－「プログラム」－「アクセサリ」－「コマンドプロンプト」をクリックします

2 ipconfigコマンドを実行します
 コマンドプロンプトが開いたら、キーボードから半角英数字で「ipconfig」と入力し、「Enter」キーを押します。
 ipconfigコマンドを実行すると、
 ・ IP Address (IPアドレス)
 ・ Subnet Mask (サブネットマスク)
 ・ Default Gateway (デフォルトゲートウェイ)
 などの情報が表示されます。パソコンに各種情報が正しく設定されていることを確認してください。
 IPアドレスは192.168.1.2～192.168.1.11の範囲のいずれかが設定されます。(初期設定状態の場合)



ワンポイント

- IPアドレスとデフォルトゲートウェイが正しく設定されていない場合は、半角英数字で「ipconfig /renew」と入力してください。
 IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの各情報が再度表示されます。
- 各情報が正常に設定されていない場合は、パソコンの電源を切ってから電源やケーブルなどの接続を確認し、再起動してください。

ネットワークの設定 (Mac OS Xの場合)

- 1 「アップル」メニューから「システム環境設定」をクリックします
- 2 「システム環境設定」のウィンドウから「ネットワーク」をクリックします
- 3 「ネットワーク」ウィンドウのタブの上部にある「設定」リストより、「内蔵Ethernet」を選択します
- 4 「TCP/IP」タブをクリックし、「設定」が「DHCPサーバを参照」になっていることと、「DHCPクライアントID」、「ドメインネームサーバ」、「検索ドメイン」が空白になっていることを確認します



- 5 「PPPoE」タブをクリックし、「PPPoEを使って接続する」のチェックを外します



- 6 「AppleTalk」タブをクリックし、「AppleTalk使用」のチェックを外します



パソコンのネットワーク設定

7 「プロキシ」タブをクリックし、チェックをすべて外します



8 「保存」をクリックして、ネットワークの設定を保存します

※「保存」を押さないでほかの設定を行う場合、「設定の変更点を保存しますか?」というメッセージが表示されるので、「保存する」をクリックします。

9 メニューバーの「システム環境設定」－「システム環境設定を終了」をクリックします



お知らせ

- Internet Explorer 5.2.2以上、またはSafari 4.0.5以上がインストールされていることをご確認ください。
- 「フレッツ接続ツール」を使用する必要はありません。

ネットワークの設定を確認する (Mac OS Xの場合)

Mac OS Xでパソコンと本商品が正しく接続されているかどうか確認したい場合には以下のようにしてください。

1 「アップル」メニューから「システム環境設定」をクリックします

2 「システム環境設定」のウィンドウから「ネットワーク」をクリックします

3 「ネットワーク」ウィンドウのタブの上部にある「設定」リストより、「内蔵Ethernet」を選択します

4 「TCP/IP」タブをクリックし、IPアドレスが割り振られているかどうか確認します

IPアドレスは192.168.1.2～192.168.1.11の範囲のいずれかが設定されます (初期設定状態の場合)

5 確認できたら「保存」をクリックして画面を閉じます

6 メニューバーの「システム環境設定」－「システム環境設定を終了」をクリックします



無線IP端末の設定をする

本商品の無線LAN の設定情報を作成し、ひかり電話に対応した無線IP端末などの無線LAN の設定を行うときにご利用になれます。詳細は「超カンタン設定ガイド」をご参照ください。

本商品の初期化について

初期化とは、本商品に設定した内容を消去して設定前の状態に戻すことをいいます。本商品の初期化には、2種類の方法があります。

●Webブラウザによる初期化

Webブラウザを利用して本商品を初期化します。「完全初期化」、「部分初期化」を選択できます。

●Resetスイッチによる初期化

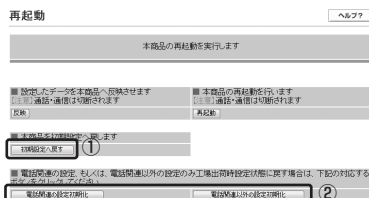
本商品のリセットスイッチで初期化します。「完全初期化」のみ行えます。

Webブラウザによる初期化

Webブラウザを利用して本商品を初期化します。

1 メニューから「再起動」をクリックします

2 「初期設定へ戻す」、「電話関連の設定初期化」、「電話関連以外の設定初期化」のいずれかをクリックします



①「初期設定へ戻す」(完全初期化)

それまでに設定した値はすべて消去され、ご利用前の状態に戻ります。(暗号方式は「WEP (暗号化ビット長128ビット)」になります。また、ログ情報も消去されます。)

②「電話関連の設定初期化」または「電話関連以外の設定初期化」(部分初期化)

・電話関連の設定初期化

「電話設定」で、お客様が設定した値を初期化します。

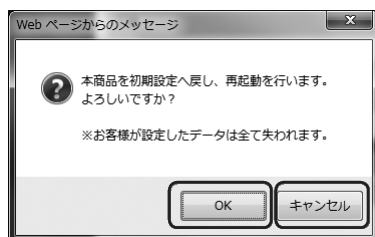
・電話関連以外の設定初期化

「電話設定」以外でお客様が設定した値を初期化します。

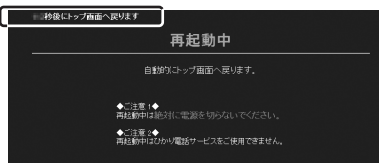
※ ②では、機器設定用パスワードとログ情報は初期化されません。

3 「OK」をクリックします

※ 本商品を初期設定しない場合は「キャンセル」をクリックします



4 残りの待ち時間を表示します。しばらくお待ち願います



5 「初期設定」または「かんたん設定」画面が表示されればシステムの初期設定は成功です

STOP お願い

- 再起動中は、電源を切らないでください。回復不能な故障の原因となることがあります。

本商品の初期化について



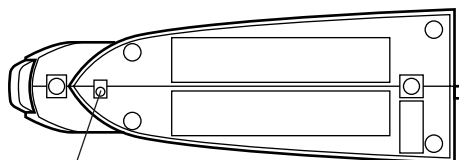
お知らせ

- 「接続回線検索中」画面が表示される場合は、CONFIGランプが緑点灯することを確認したあと、Webブラウザを閉じて、再度ログインし直してください。（「かんたん設定」(P5-2)）

RESETスイッチによる初期化

本商品底面にあるRESETスイッチを、細くて硬いもの（クリップや針金の先など）を使用して押しながら電源を入れ、INITランプが赤（点灯）になるまで押し続けてください。
起動後、INITランプが赤（点灯）になれば、初期化完了です。

〈本商品 底面図〉



RESETスイッチ

本商品に設定する各種のユーザ名 (ID)、パスワードは重要な個人情報です。情報を盗まれると悪用される可能性がありますので、情報の管理には十分お気をつけください。本商品を当社に返却する場合等、本商品の利用をやめるときは、必ず初期化を行い、設定された情報を消去してください。

「050IP電話」との同時利用方法

ひかり電話と050IP電話サービスを同時にご利用いただく場合

プロバイダが提供するIP電話サービス（050番号を利用するIP電話サービス。以下、「050IP電話」と略します）とひかり電話を同時利用する場合、下記の接続構成であればご利用可能です。ただし、ご利用上の注意事項がありますので、必ず次ページの内容をご確認ください。

①IP電話アダプタをご利用の場合

機器構成 ①

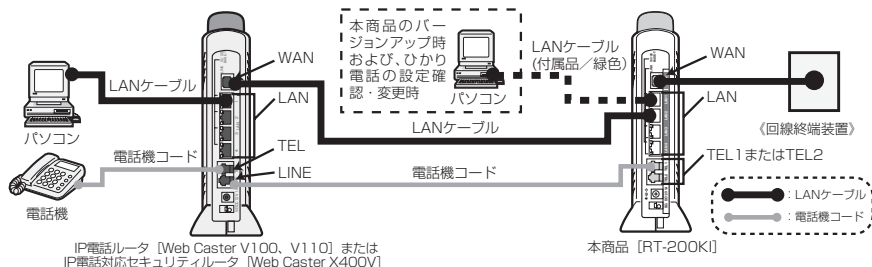
※IP電話アダプタ（VoIPアダプタ）と本商品を下記の機器構成で接続した場合のみ動作確認を行っております。それ以外の機器構成でのご利用は推奨しません。



②IP電話ルータ・IP電話対応セキュリティルータをご利用の場合

機器構成 ②

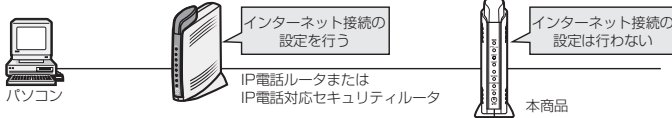
※IP電話ルータ（Web Caster V100/V110）、IP電話対応セキュリティルータ（Web Caster X400V）と本商品を下記の機器構成で接続した場合のみ動作確認を行っております。それ以外の機器構成でのご利用は推奨しません。



ひかり電話と他のサービスの同時利用について

【ご利用上の注意事項】

前ページの構成でひかり電話とO50IP電話をご利用いただく場合、以下の点にご注意ください。ご利用の機器構成ごとにご注意いただく事項が異なりますので、下記「対象となる機器構成」欄にてご利用の機器構成をご確認いただき、「★」が記載されている場合に該当する注意事項をご確認ください。

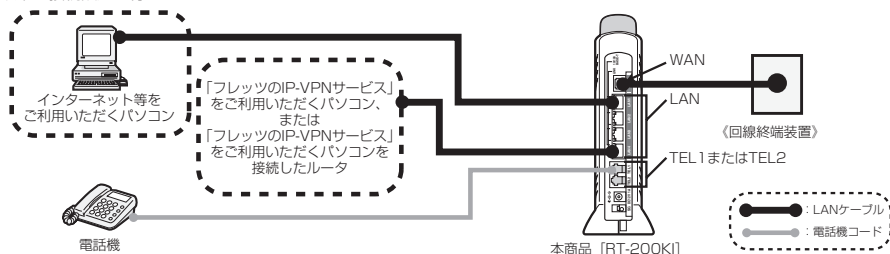
対象となる機器構成		注意事項
①	②	
	★	(1) インターネット接続の設定方法に注意してください。 インターネット接続の設定（プロバイダから提供される接続先ユーザ名・接続パスワードなど）は、IP電話ルータまたはIP電話対応セキュリティルータにて行ってください。本商品には設定しないでください。  ※インターネット接続の方法は、IP電話ルータまたはIP電話対応セキュリティルータの設定ガイドをご覧ください。 ※パソコンはIP電話ルータまたはIP電話対応セキュリティルータに接続してください。（本商品に接続したパソコンからはインターネットに接続できません。）
★	★	(2) 本商品の「バージョンアップお知らせ機能」の一部がご利用いただくことができません。 O50IP電話と同時利用する場合は、電話機から本商品のバージョンアップ通知音は聞こえません。IP電話アダプタおよびIP電話ルータ/IP電話対応セキュリティルータのファームウェアのバージョンアップお知らせのみとなります。 本商品の「ファームウェア更新種別」を「自動更新」に設定するなどしてバージョンアップを実施することをお勧めします。 ※(ロ)の機器構成の場合、IP電話アダプタのファームウェア更新があるときは、更新作業時のみIP電話アダプタにパソコンをつなぎ替えてください。（図の点線部の構成） ※(ハ)の機器構成の場合、パソコンからバージョンアップするときは更新作業時のみ本商品にパソコンをつなぎ替えてください。（図の点線部の構成）
★	★	(3) 「ひかり電話」と「O50IP電話」の使いわけにご注意ください。（O50IP電話ご利用時） O50IP電話で接続できない番号（110・119など）以外は、全てO50IP電話での発信となります。「ひかり電話」からの発信をご希望の場合は、相手先電話番号の前に「0000」をダイヤルして発信してください。その他のO50IP電話ご利用上の注意については、IP電話アダプタおよびIP電話ルータ/IP電話対応セキュリティルータの取扱説明書などをご確認ください。（「加入電話」と記載されている部分を「ひかり電話」と読み替えてください。）
	★	(4) 本商品の「PPPoEブリッジ」の設定変更は行わないでください。 本商品は、初期設定時に「PPPoEブリッジ」が「有効」設定となっております。本機能の設定変更は行わないでください。
★		(5) 本商品の「UPnP機能」の設定変更は行わないでください。 本商品は、初期設定時に「UPnP機能」が「接続先1 有効」設定となっております。前ページの機器構成①にてご利用いただく場合は、本機能の設定変更は行わないでください。

「フレッツのIP-VPNサービス」※との同時利用方法

「フレッツ・グループアクセス（NTT東日本）」を同時にご利用いただく場合、または「フレッツ・オフィス（NTT東日本）」、「フレッツ・アクセスポート（NTT東日本）」、「フレッツ・VPNゲート（NTT東日本／NTT西日本）」、「フレッツ・VPNワイド（NTT東日本／NTT西日本）」に同時に接続する場合、下記の接続構成であればご利用可能です。ただし、ご利用上の注意事項がありますのでご確認ください。

※「フレッツのIP-VPN サービス」とはBフレッツでご利用のお客様専用のサービスの、「フレッツ・グループアクセス（NTT東日本）」、「フレッツ・オフィス（NTT東日本）」、「フレッツ・アクセスポート（NTT東日本）」および、フレッツ光ネクストでご利用のお客様専用サービスの「フレッツ・VPNゲート（NTT東日本／NTT西日本）」、「フレッツ・VPNワイド（NTT東日本／NTT西日本）」の総称です。

「フレッツのIP-VPNサービス」では、セキュリティの高い拠点間通信をサービスコンセプトとしており、1台のルーター・パソコンでVPN接続とインターネット接続を同時に利用しないことを推奨しておりますので、ひかり電話をご利用の場合は、以下の接続設定を行ってください。



◆接続設定について

①「フレッツのIP-VPNサービス」の接続設定を行う

【1台のパソコンで「フレッツのIP-VPNサービス」をご利用の場合】

「フレッツのIP-VPNサービス」をご利用いただくパソコンに接続先を設定してください。

【複数台のパソコンで「フレッツのIP-VPNサービス」をご利用の場合】

「フレッツのIP-VPNサービス」の接続先を設定したブロードバンドルーターを、本商品の下部（LAN側接続ポート）に接続し、そのブロードバンドルーター下部（LANポート）に「フレッツのIP-VPNサービス」ご利用のパソコンを接続してください。

②インターネット等の接続設定を行う

Webブラウザの設定画面から、本商品に接続先を設定してください。

【ご利用上の注意事項】

- ・本商品は初期設定時には「PPPoEブリッジ設定」が「有効」となっておりますので、「無効」への変更は行わないでください。
- ・セッション数の上限は、お客様のご契約状況により異なります。

ASCIIコード表

ASCII (American Standard Code for Information Interchange 情報交換用アメリカ標準コード) とは、1963年にANSI (American National Standards Institute アメリカ規格協会) によって定められた情報交換用の文字コードです。16進数2桁 (7ビット) で34文字の制御コードと94文字の文字コードを構成し、英数字 (a~z、A~Z、0~9) と基本的な記号 (!、#、\$、&など) を表現します。

上位3 ビット 下位4 ビット	0	1	2	3	4	5	6	7
0	NUL	DLE	SP	0	@	P	`	p
1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	q
2	STX	DC2	"	2	B	R	b	r
3	ETX	DC3	#	3	C	S	c	s
4	EOT	DC4	\$	4	D	T	d	t
5	ENQ	NAC	%	5	E	U	e	u
6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v
7	BEL	ETB	'	7	G	W	g	w
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y
A	LF/NL	SUB	*	:	J	Z	j	z
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{
C	FF	FS	,	<	L	\	l	
D	CR	GS	-	=	M	]	m	}
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~
F	SI	US	/	?	O	_	o	DEL

※本書でASCIIコードと記載している場合は上記表の網掛け部分を除いた文字・記号を示します。

アルファベット

10/100BASE-Tランプ	1-6
10BASE-T	9-17
100BASE-TX	9-17
ACアダプタ	1-2,2-2,2-4,2-6
ACアダプタコード端子	1-6
ANY接続	6-19
ASCII	9-14
CD-ROM	19,21
CONFIGランプ	1-4
INITランプ	1-4
IPアドレス	4-4,9-3,9-7
LAN側接続ポート	1-6
LANケーブル	2-2,2-4,2-6
LINKランプ	1-6
Ping	8-27
PPPoE	8-22
PPPランプ	1-4
TCP/IP	4-4,9-3,9-5
TELポート	1-6
TKIP	6-20
VoIPランプ	1-4
WAN側接続ポート	1-6
WANランプ	1-4
Webブラウザ	4-2,4-6

五十音

【ア行】

アース線	1-6
アース端子	1-6
アラームランプ	1-4
暗号化	6-12
インターネット	5-7

【カ行】

カードスロット	1-6
キャッチホン	3-8
キャッチホン・ディスプレイ	3-15

【サ行】

事前共有キー	6-20
指定着信機能	3-13,3-21,3-26
初期化	9-9
接続パスワード	5-4
接続ユーザ名	5-4
設定を確認する	
Mac OS X の場合	9-7
Windows® XPの場合	9-4
Windows® 7/Windows Vista® の場合	4-5
Webブラウザの設定	4-6
セットアップする	1-7

【タ行】

電源ランプ	1-4,2-8
電話	
相手がお話し中のとき	3-2
電話を受ける	3-3
電話をかける	3-2
内線通話	3-4
内線転送	3-5
電話機コード	1-3,2-2,2-4,2-6
トラブルや疑問点がある場合	8-2

【ナ行】

ナンバー・ディスプレイ・・・3-10,3-27,3-29

ネットワークの設定

Mac OS X の場合・・・9-5

Windows® 7/Windows Vista®
の場合・・・4-3

Windows® XPの場合・・・9-2

【ハ行】

バージョンアップ・・・7-1

パソコンと接続・・・2-2,2-4,2-6

発信者番号通知・・・3-11

ファームウェア・・・7-2

複数チャネル（ダブルチャネル）・・・3-6

フッキング・・・3-5,3-9

【マ行】

マイナンバー／追加番号・・・3-7

マルチセッション・・・5-8

無線ネットワーク名（SSID）・・・6-20

無線LAN・・・6-1

無線LANカード・・・1-3

モデムダイヤルイン・・・3-19,3-29

【ヤ行】

優先着信ポート・・・3-20

【ラ行】

らくらく無線スタート・・・6-12

ランプの確認・・・2-8

ランプ表示・・・1-4,1-5,1-6

【ワ行】

割込音通知・・・3-9,3-13,3-29

項 目	仕 様	記 事
WANインタフェース	10BASE-T/100BASE-TX (IEEE802.3/802.3u) X1ポート (RJ-45)	
LANインタフェース	10BASE-T/100BASE-TX (IEEE802.3/802.3u) X4ポート (RJ-45)	
電話機インタフェース	収容回線数：2回線 (RJ-11)	
無線拡張インタフェース	PC Card Standard (Card Bus) TYPE II	SC-32KI専用
使用電源	AC100 V $\pm$ 10 % 50/60 Hz	
消費電力	最大12W	
外形寸法	約70 (W) $\times$ 207 (D) $\times$ 216 (H) mm	突起部を除く
質量	約550 g	商品本体のみ
動作環境	温度：0 $\sim$ 40 $^{\circ}$ C 湿度：20 $\sim$ 85 %	結露しないこと
情報処理装置等電波障害 自主規制協議会 (VCCI)	クラスB情報技術装置	

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：【NTT東日本】<http://web116.jp/ced/>
：【NTT西日本】<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

使い方で不明の点がございましたら、下記へお気軽にご相談ください。

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

●本商品を利用した基本的なインターネット接続設定について

フレッツ光を新規にお申し込んだ際にお送りしております「設定用CD-ROM」のご利用により、本商品の基本的なインターネット接続設定が簡単に実施可能です。ご利用には、「設定用CD-ROM」が添付された冊子「超カンタン設定ガイド」をご覧ください。下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先：☎0120-275466（10:00～18:00 年中無休）

※携帯電話からご利用の場合

0570-064074（通話料金がかかります）

※PHS・050IP電話からはご利用いただけません。

●本商品の詳細なお取り扱いに関するお問い合わせ（9:00～17:00）

お問い合わせ先：☎0120-970413

※携帯電話・PHS・050IP電話からご利用の場合

03-5667-7100（通話料金がかかります）

※年未年始（12月29日～1月3日）は休業とさせていただきます。

●故障に関するお問い合わせ（24時間 年中無休*）

お問い合わせ先：☎0120-242751

※携帯電話・PHSからもご利用可能です。

※17:00～翌日9:00までは、録音にて受付しており順次ご対応いたします。

※故障修理等の対応時間は9:00～17:00です。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

●本商品の取り扱いおよび故障に関するお問い合わせ

お問い合わせ先：☎0120-248995

※携帯電話・PHSからもご利用可能です。

受付時間：

・本商品の取り扱いに関するお問い合わせ：9:00～17:00

※年未年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

・故障に関するお問い合わせ：24時間（年中無休*）

※17:00～翌日9:00までは、録音にて受付しており順次ご対応いたします。

※故障修理等の対応時間は9:00～17:00です。

お問い合わせ時には、フレッツ光を新規にお申し込んだ際にお送りしております「開通のご案内」をご用意ください。

また、インターネット接続の設定をしている場合は、ご契約のプロバイダ資料についてもご用意ください。

なお、電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。